

家政学部専門科目

家 政 学 科

(授業科目名五十音順)

科目名	アパレル造形演習	前期	2 単位
サブタイトル	ジャケット	演習	
担当者	十一 玲子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 表布と裏布、芯地などの扱い方、ジャケットの仕立て方の知識と技術を身につける。</p> <p>[授業概要] 基礎アパレル造形演習(履修のこと)で学習した知識・技術をもとにジャケットの制作を行う。裏地・芯地などの扱い方について学ぶ。機能的で着心地のよい衣服の条件、各素材の特性と有効な使用法などを考慮し、上着の構造を理解し、製作する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] アパレル造形学、基礎アパレル造形演習で履修した内容について復習しておくこと。授業中に行った内容に遅れた場合は、次回までに各自で計画的に学習しておくこと(2時間程度)。</p> <p>[授業計画] 1.オリエンテーション、製図(1/5)(ジャケット後ろ身頃・前身頃)、採寸、型紙作成、布丈見積り 2.表布裁断、標つけ、仮縫い 3.仮縫い、試着・補正、見返し・ポケット裁断、見返しの芯張り、標つけ 4.身頃本縫い、見返し合わせ 5.見返し合わせ 6.製図(1/5)(テーラーカラー・二枚袖) 7.裏布裁断(袖・ポケット)、標付け 8.袖作り 9.ポケット作り・付け 10.袖付け① 11.袖付け②、縫い代始末 12.仕上げ、試着 13.発表(プレゼンテーション)、まとめ</p>			

科目名	アパレル造形演習	前期	2 単位
サブタイトル	ジャケット	演習	
担当者	十一 玲子		
<p>[ 成績評価方法 ] 「作品・製図(80%)、プレゼンテーション(20%)」</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 作品・課題などを提出後、確認作業を行い、コメントをつけて返却する。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]</p>			

科目名	アパレル造形演習	前期	2 単位
サブタイトル	ジャケット	演習	
担当者	十一 玲子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 表布と裏布、芯地などの扱い方、ジャケットの仕立て方の知識と技術を身につける。</p> <p>[授業概要] 基礎アパレル造形演習(履修のこと)で学習した知識・技術をもとにジャケットの制作を行う。裏地・芯地などの扱い方について学ぶ。機能的で着心地のよい衣服の条件、各素材の特性と有効な使用法などを考慮し、上着の構造を理解し、製作する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] アパレル造形学、基礎アパレル造形演習で履修した内容について復習しておくこと。授業中に行った内容に遅れた場合は、次回までに各自で計画的に学習しておくこと(2時間程度)。</p> <p>[授業計画] 1.オリエンテーション、製図(1/5)(ジャケット後ろ身頃・前身頃)、採寸、型紙作成、布丈見積り 2.表布裁断、標つけ、仮縫い 3.仮縫い、試着・補正、見返し・ポケット裁断、見返しの芯張り、標つけ 4.身頃本縫い、見返し合わせ 5.見返し合わせ 6.製図(1/5)(テーラーカラー・二枚袖) 7.裏布裁断(袖・ポケット)、標付け 8.袖作り 9.ポケット作り・付け 10.袖付け① 11.袖付け②、縫い代始末 12.仕上げ、試着 13.発表(プレゼンテーション)、まとめ</p>			

科目名	アパレル造形演習	前期	2 単位
サブタイトル	ジャケット	演習	
担当者	十一 玲子		
<p>[ 成績評価方法 ] 「作品・製図(80%)、プレゼンテーション(20%)」</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 作品・課題などを提出後、確認作業を行い、コメントをつけて返却する。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]</p>			

科目名	アパレル造形学	後期	2 単位
サブタイトル	アパレル、人間の身体、既製品、デザイン、着装	講義	
担当者	十一 玲子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他	○	実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]  人間とアパレルの関わりについて、様々な角度からアパレルの専門に関する基本的知識を学ぶ。平面構成は、長着(きもの)の形態と名称、構成方法について学ぶ。立体構成は、身体への適合性・着心地・安全性など体型に合ったパターン設計に必要な知識、複雑な曲面を持つ人体を覆うために平面的な布地を立体的な衣服にするための技法について学ぶ。人体の曲面に近似するように、布地を立体に変形するために必要な布地の特性、布地の立体化に関する技法について理解する。</p> <p>[授業概要]  被服の形状は様々である。1枚の布と人体との関わりについて着目する。平面構成は、日本の伝統文化「和服」、立体構成は「洋服」で、形状・デザイン性などを把握する。被服に関する基礎知識を学び、既製品の製造工程、形、素材、品質表示などについても広く学ぶ。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]  各回の授業内容を各自ノートにまとめる。  衣服に関心を持ち、世の中の流行などの情報を得る。  各回、予習復習を合わせて1時間程度</p> <p>[授業計画]  1.アパレルとは、衣服の起源、目的と機能  2.アパレルの構成法  3.日本の伝統衣装  4.アパレルデザイン  5.素材と性能  6.自分の魅せ方、センスの磨き方(学外講師)  7.自己分析(未来をプロデュースする)(学外講師)  8.アパレルの生産システム  9.既製品衣料の表示(品質・サイズ)  10.既製衣料の選択・購入上の留意点  11.服飾副資材を取り巻くファッションビジネス  12.健康のために衣服が果たす役割  13.まとめ</p>			

科目名	アパレル造形学	後期	2 単位
サブタイトル	アパレル、人間の身体、既製品、デザイン、着装	講義	
担当者	十一 玲子		
<p>[ 成績評価方法 ] 「理解度確認試験(80%)、レポート(20%)」</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 試験後に解説する。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-1/生活の質の向上と人類の福祉に貢献するための家政学の目的と意義を理解している。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] 書籍名:新版 アパレル構成学 着やすさと美しさを求めて 著者名:富田明美[編著] 出版社名:朝倉書店 ISBN:978-4-254-60631-7</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]</p>			

科目名	衣生活文化論	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	中西 正恵		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他	○※、布や衣服の実物を見る、触れるなど実体験を含む。	実務経験のある教員による授業	

[ 到達目標 ]

1. 基本的な被服関連用語を理解し、原料の繊維から被服ができるまでの流れを説明できる。
2. 古代から現代にいたるまでの服装のデザイン、被服材料、製造技術、社会背景など、衣生活の変遷を理解できる。
3. 環境に負荷が少ない衣生活を考え、自ら工夫して実践できる。

[ 授業概要 ]

被服学の基礎として、被服素材、デザイン、服作り、着装、管理、廃棄や資源活用、衣服が果たす様々な役割、過去から現代への衣生活の変遷などを、幅広く学びます。衣服の取り扱いや手芸等、実演や体験も取り入れ、これからの持続可能な衣生活の実践に向けて役立つ内容です。

[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]

服飾関連のテレビ番組や展覧会などを見る機会を積極的にもってほしい。  
各回、予習・復習・課題を合わせて4時間程度。

[ 授業計画 ]

1. 授業概要説明、神戸のファッション文化、テキスタイル産地等
2. 被服素材①(繊維、糸)
3. 被服素材②(織物)
4. 被服素材③(編物、組物)
5. 衣服の成り立ち①(構造、服作り)
6. 衣服の成り立ち②(立体化の方法)
7. 衣生活の変遷①(古代・中世)
8. 衣生活の変遷②(近世)
9. 衣生活の変遷③(近代)
10. 染織・装飾技法
11. 現代の衣生活
12. 衣服の管理、補修やリメイク
13. まとめ・プレゼンテーション

科目名	衣生活文化論	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	中西 正恵		
<p>[ 成績評価方法 ] 理解度確認試験(70%)、提出物・プレゼン(30%)で評価します。</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 理解度確認試験を回収後、解答を解説します。 課題は授業時間内やmanabaで行います。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。 成績評価方法:理解度確認試験、提出物</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的技能により解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。 成績評価方法:提出物</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-1/社会変化に追隨して受動的になりがちな生活の問題点を指摘し、個人や家族の価値を堅持し、主体的で創造的な生活の実現を目指す意欲や実践力がある。 成績評価方法:理解度確認試験、提出物</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:理解度確認試験、提出物</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:プレゼン</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:提出物</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]</p>			

S70091 [ HHH1-001 ]

科目名	インテリアCAD入門	前期	1 単位
サブタイトル	CADソフトを利用したインテリア設計	演習	
担当者	田中 栄治		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標]</p> <p>目標1: CADソフトの基本操作を理解しいろいろな図形の作図ができる。  目標2: CADソフトを用いて建築図面(平面図、立面図、断面図)の作図ができる。  目標3: インテリア設計におけるCADソフトの役割、メリット・デメリットを説明できる。</p> <p>[授業概要]</p> <p>一級建築士・インテリアプランナー・福祉住環境コーディネーターの資格を持ち、建築設計・インテリアデザインの実務経験のある教員が、建築・インテリア業界で多く利用されているAutoCADを使用して、インテリア設計の作図の基本操作を習得する科目を指導します。  コンピュータによるインテリア設計を、個人単位でソフトを操作して行います。パソコンを利用した設計手法の基礎知識について理解した上で、テキストを用いて作図の基本操作を習得し、課題図面の作図を行います。課題図面は戸建住宅を題材とし、平面図・立面図・断面図の描き方を習得します。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>テキストを基に授業範囲の予習・復習を十分に行うと共に、他の設計ソフトにも関心を持ち、インテリア設計に関する幅広い知識習得に努めてください。各回、予習復習合わせて2時間程度行ってください。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 建築製図・CADの基本知識、AutoCADの基本操作</li> <li>2. 製図の準備</li> <li>3. 平面図の作成1(通り芯、仕上げ壁など)</li> <li>4. 平面図の作成2(躯体壁など)</li> <li>5. 平面図の作成3(建具、造作線などなど)</li> <li>6. 立面図の作成</li> <li>7. 断面図の作成</li> <li>8. 応用平面図の作成1(通り芯、仕上げ壁など)</li> <li>9. 応用平面図の作成2(躯体壁など)</li> <li>10. 応用平面図の作成3(建具、造作線など)</li> <li>11. 応用立面図の作成1(通り芯、屋根など)</li> <li>12. 応用立面図の作成2(外壁、開口部など)</li> <li>13. 印刷・オプションについて</li> </ol>			

科目名	インテリアCAD入門	前期	1 単位
サブタイトル	CADソフトを利用したインテリア設計	演習	
担当者	田中 栄治		
<p>[ 成績評価方法 ]  作図課題1(基本操作による作図):目標1に対応(20%)  作図課題2(建築図面の作成):目標2に対応(60%)  レポート(CADソフトを用いたインテリア製図):目標3に対応(20%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  課題は提出前に添削を行います。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。  成績評価方法:レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的技能により解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。  成績評価方法:作図課題1  作図課題2</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  成績評価方法:作図課題1  作図課題2</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]  書籍名:AutoCADで学ぶ建築製図の基本[AutoCAD 2022対応] 著者名:鳥谷部 真 出版社名:エクスナレッジ  ISBN:9784767829296</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]</p>			

科目名	インテリアCAD入門	前期	1 単位
サブタイトル	CADソフトを利用したインテリア設計	演習	
担当者	田中 栄治		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標]</p> <p>目標1: CADソフトの基本操作を理解しいろいろな図形の作図ができる。  目標2: CADソフトを用いて建築図面(平面図、立面図、断面図)の作図ができる。  目標3: インテリア設計におけるCADソフトの役割、メリット・デメリットを説明できる。</p> <p>[授業概要]</p> <p>一級建築士・インテリアプランナー・福祉住環境コーディネーターの資格を持ち、建築設計・インテリアデザインの実務経験のある教員が、建築・インテリア業界で多く利用されているAutoCADを使用して、インテリア設計の作図の基本操作を習得する科目を指導します。  コンピューターによるインテリア設計を、個人単位でソフトを操作して行います。パソコンを利用した設計手法の基礎知識について理解した上で、テキストを用いて作図の基本操作を習得し、課題図面の作図を行います。課題図面は戸建住宅を題材とし、平面図・立面図・断面図の描き方を習得します。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>テキストを基に授業範囲の予習・復習を十分に行うと共に、他の設計ソフトにも関心を持ち、インテリア設計に関する幅広い知識習得に努めてください。各回、予習復習合わせて2時間程度行ってください。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 建築製図・CADの基本知識、AutoCADの基本操作</li> <li>2. 製図の準備</li> <li>3. 平面図の作成1(通り芯、仕上げ壁など)</li> <li>4. 平面図の作成2(躯体壁など)</li> <li>5. 平面図の作成3(建具、造作線など)</li> <li>6. 立面図の作成</li> <li>7. 断面図の作成</li> <li>8. 応用平面図の作成1(通り芯、仕上げ壁など)</li> <li>9. 応用平面図の作成2(躯体壁など)</li> <li>10. 応用平面図の作成3(建具、造作線など)</li> <li>11. 応用立面図の作成1(通り芯、屋根など)</li> <li>12. 応用立面図の作成2(外壁、開口部など)</li> <li>13. 印刷・オプションについて</li> </ol>			

科目名	インテリアCAD入門	前期	1 単位
サブタイトル	CADソフトを利用したインテリア設計	演習	
担当者	田中 栄治		
<p>[ 成績評価方法 ]  作図課題1(基本操作による作図):目標1に対応(20%)  作図課題2(建築図面の作成):目標2に対応(60%)  レポート(CADソフトを用いたインテリア製図):目標3に対応(20%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  課題は提出前に添削を行います。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。  成績評価方法:レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的技能により解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。  成績評価方法:作図課題1  作図課題2</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  成績評価方法:作図課題1  作図課題2</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]  書籍名:AutoCADで学ぶ建築製図の基本[AutoCAD 2022対応] 著者名:鳥谷部 真 出版社名:エクスナレッジ  ISBN:9784767829296</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]</p>			

科目名	インテリアデザイン実習	後期	1 単位
サブタイトル	飲食店舗のインテリアデザイン	実習	
担当者	田中 栄治		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標]</p> <p>目標1: 課題に関連する事例を調査し、インテリアデザインのコンセプトをつくることができる。</p> <p>目標2: インテリアのプランニングを行い、平面図・立面図・展開図を描くことができる。</p> <p>目標3: インテリアのデザインを行い、透視図を描くことができる。</p> <p>目標4: コンセプト・図面・透視図等をまとめてプランニングボードに表現できる。</p> <p>目標5: プランニングボードを用いてプレゼンテーションができる。</p> <p>[授業概要]</p> <p>一級建築士・インテリアプランナー・福祉住環境コーディネーターの資格を持ち、建築設計・インテリアデザインの実務経験のある教員が、飲食店舗をテーマにしてインテリアデザインの技術を学び、それを応用した作品を制作する科目を指導します。大学周辺の既存施設を題材として、飲食店舗のインテリアデザイン(家具・照明・植栽等を含む)を行います。課題に関連する事例を調査し、インテリアデザインのコンセプトをつくり、アイデアを考えてインテリアのプランニングを行い、平面図・立面図・展開図を描きます。また、インテリアのデザインを行い、透視図を描き、設計作品のプランニングボードを作成してプレゼンテーションを行います。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>授業で作成する課題に関する資料収集や事例研究を行ってください。題材とする既存施設は現地に行って施設や周辺の状況を確認しながらインテリアをデザインしてください。参考になる飲食店に行って実際のインテリアを体験して、自分の作品に活かしてください。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ガイダンス、事例調査・コンセプトメイキング</li> <li>2. ゾーニング・プランニングの検討</li> <li>3. 家具レイアウトの検討、透視図の練習</li> <li>4. 家具レイアウト案のラフパース作成</li> <li>5. 家具レイアウト案のラフパースによりプランニング見直し</li> <li>6. 平面図の作成</li> <li>7. 平面図の仕上げ</li> <li>8. 立面図・展開図の作成・仕上げ</li> <li>9. 透視図の作成</li> <li>10. 透視図の仕上げ</li> <li>11. プランニングボードの作成</li> <li>12. プランニングボードの仕上げ</li> <li>13. 作品プレゼンテーション、講評</li> </ol>			

科目名	インテリアデザイン実習	後期	1 単位
サブタイトル	飲食店舗のインテリアデザイン	実習	
担当者	田中 栄治		
<p>[ 成績評価方法 ]</p> <p>課題1(事例調査シート・コンセプトシート):目標1に対応(10%)          課題2(平面図・立面図・展開図):目標2に対応(20%)          課題3(透視図):目標3に対応(20%)          課題4(プランニングボード):目標4に対応(40%)          課題5(プレゼンテーション):目標5に対応(10%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]          作品はプレゼンテーション後に講評を行います。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]          詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]          詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。          成績評価方法:課題1~5</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的スキルにより解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。          成績評価方法:課題1~5</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢          成績評価方法:課題1~5</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]          書籍名:適宜プリント配 著者名: 出版社名: ISBN:</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]</p>			

科目名	インテリアデザイン論	後期	2 単位
サブタイトル	内部空間デザインの基礎知識	講義	
担当者	田中 栄治		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標]</p> <p>目標1: インテリアの歴史を理解し説明できる。  目標2: 実際のインテリアを体験し特徴を説明できる。  目標3: インテリアデザインに必要な基礎知識を理解し説明できる。</p> <p>[授業概要]</p> <p>一級建築士・インテリアプランナー・福祉住環境コーディネーターの資格を持ち、建築設計・インテリアデザインの実務経験のある教員が、インテリアデザインの仕事や、インテリアの歴史、構成要素、色彩、照明などの基礎知識について講義し、小レポート課題を通してインテリアデザインを体験する科目を指導します。またインテリアコーディネーターなどの試験受験情報についても適宜解説します。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>教科書で次回の授業範囲の内容を確認すると共に、普段からインテリアデザインの雑誌などで実例を見るようにしてください。また、実際のインテリアの実例を見に行き、授業で学んだ内容について理解を深めてください。各回、予習復習合わせて4時間程度行ってください。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. インテリアデザインの仕事、インテリアの歴史 日本</li> <li>2. インテリアの歴史 西洋</li> <li>3. インテリアの歴史 近代</li> <li>4. インテリアを構成する要素</li> <li>5. インテリアの見学1(大学周辺)</li> <li>6. 色彩・照明計画</li> <li>7. 寸法とモジュール</li> <li>8・9. インテリアの見学2(日本と西洋のインテリア比較)※土曜補講日に実施予定</li> <li>10. 構造と仕上げ材料</li> <li>11. インテリアの見学3(大学キャンパスのインテリア)</li> <li>12. 生活デザイン・ロングライフデザイン</li> <li>13. まとめ</li> </ol>			

科目名	インテリアデザイン論	後期	2 単位
サブタイトル	内部空間デザインの基礎知識	講義	
担当者	田中 栄治		
<p>[ 成績評価方法 ]  小レポート1(インテリアの歴史):目標1に対応(20%)  小レポート2(住生活とインテリア):目標2に対応(20%)  総括試験:目標3に対応(60%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  小レポートは評価コメントのフィードバックを行います。  総括試験は授業時間中に解説を行います。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。  成績評価方法:総括試験</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-3/個人、家族、コミュニティ、福祉の視点から、より質の高い生活のありようを提案するためのコミュニケーション能力をもっている。  成績評価方法:小レポート</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  成績評価方法:小レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力  成績評価方法:小レポート</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]  書籍名:【増補改訂版】超図解で全部わかるインテリアデザイン入門 著者名:Aiprah/著 河村容治/監修 出版社名:エクスナレッジ ISBN:9784767825915</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]</p>			

科目名	栄養学総論	後期	2 単位
サブタイトル	栄養素の役割と機能	講義	
担当者	坂元 美子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ]          栄養素の基本概念と、体内での役割、代謝過程が統括的に理解できるよう学習する</p> <p>[ 授業概要 ]          摂取した食品の栄養素が体の構成成分となる経路、エネルギーへの変換にいたる代謝の過程を学び、ヒトの総体レベルで栄養現象を理解する。エネルギー代謝および栄養素の中間代謝経路では栄養素の体内相互変換について理解し、一連の代謝像を体系的に捉える。栄養学の基本理念と意義の理解により、健康の保持・増進、疾病の予防・治療における栄養の役割を解説する。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]          各回、予習で2時間程度次回の教科書を予習する。復習で2時間程度前回のノート・教科書を見直す。</p> <p>[ 授業計画 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 栄養とは</li> <li>2. 健康と栄養、食事摂取基準</li> <li>3. 食物の摂取</li> <li>4. 疾病と栄養</li> <li>5. 栄養素の構造と機能:たんぱく質の栄養と代謝</li> <li>6. 栄養素の構造と機能:たんぱく質の消化と吸収</li> <li>7. 栄養素の構造と機能:糖質の栄養と代謝</li> <li>8. 栄養素の構造と機能:糖質の消化と吸収</li> <li>9. 栄養素の構造と機能:脂質の栄養と代謝</li> <li>10. 栄養素の構造と機能:脂質の消化と吸収</li> <li>11. 栄養素の構造と機能:ビタミン</li> <li>12. 栄養素の構造と機能:ミネラル</li> <li>13. まとめ</li> </ol>			

科目名	栄養学総論	後期	2 単位
サブタイトル	栄養素の役割と機能	講義	
担当者	坂元 美子		
<p>[ 成績評価方法 ] 試験(100%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 課題提出後、解答例をmanabaに掲載する。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。 成績評価方法:試験(100%)</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法:試験(100%)</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的技能により解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。 成績評価方法:試験(100%)</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:試験(100%)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:試験(100%)</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] 書籍名:スポーツ・健康栄養学 著者名:坂元 美子 出版社名:化学同人 ISBN:9784759817096</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]</p>			

科目名	家政学概論		前期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	佐藤 佐織			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	
ディスカッション・ディベート	○		グループワーク	○
プレゼンテーション	○		実習、フィールドワーク	
その他			実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] 家政学の目的や独自性、社会的意義と役割について理解するとともに、生活における課題を設定し問題解決に向けて考察することができる。</p> <p>[授業概要] 家政学の意義や目的、対象領域に関する基礎的事項について概説する。 学校現場における教員経験がある者が、その経験を活かして、家政学の起源と歴史、家庭並びに学校教育としての家政教育について指導する。 各自課題を設定し、レポート作成、発表を行う。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回、復習を4時間程度行うことが必要である。 後半のレポート作成、発表にむけて、各回の授業内容を記録し、まとめておくことが必要である。</p> <p>[授業計画] 1. ガイダンス・家政学と家政学概論 2. 家政学の意義と目的 3. 家政学の歴史①(外国) 4. 家政学の歴史②(日本) 5. 家政学と生活①(家族・家庭) 6. 家政学と生活②(衣食住) 7. 家政学と教育①(家庭科教育) 8. 家政学と教育②(家庭科教育) 9. 家政学とSDGs 10. 課題設定とレポート作成①(レポート作成方法説明) 11. 課題設定とレポート作成②(レポート作成) 12. 発表①(個人発表) 13. 発表②・まとめ(個人発表・試験)</p>				

科目名	家政学概論	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	佐藤 佐織		
<p>[ 成績評価方法 ]  授業態度(20%)、課題(30%)、発表(30%)、試験(20%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  課題へのコメント、発表への指導講評を行う。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-1/生活の質の向上と人類の福祉に貢献するための家政学の目的と意義を理解している。  成績評価方法:試験</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-1/社会全体の発展やグローバルな問題について、生活に基盤を置く地道な視点で考察することができる。  成績評価方法:レポート、試験</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  成績評価方法:授業態度、レポート、発表、試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力  成績評価方法:レポート、発表、試験</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]  書籍名:必要に応じて資料を配布する 著者名:なし 出版社名:なし ISBN:なし</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]  書籍名:家政学概論 著者名:好本照子他 出版社名:朝倉書店 ISBN:9784254605297</p>			

S70010 [ HHI1-002 ]

科目名	家政学を学ぶ	前期	2 単位
サブタイトル	家政学と家政学科での学びを理解するために	講義	
担当者	貝増 匡俊、中西 正恵、梶木 典子、大森 正子、ガンガ 伸子、大淵 裕美、田中 栄治、佐藤 佐織		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家政学の専門領域を理解することができるようになる。</li> <li>・家政学科での学びについて興味を持ち、はげみ、動機付けなど長期的な学習目的を得ることができるようになる。</li> <li>・日本語力を高め、レポート作成法を修得できるようになる。</li> </ul> <p>[授業概要]</p> <p>この講義は、これから家政学科で学ぶ専門科目の魅力を、多角的・総合的に知ってもらい、教員と学生とのコミュニケーションをはかるための導入教育として行うものです。家政学は、さまざまな角度からアプローチすることができるので、各教員の専門に関する内容を少人数のゼミ形式で学んでいきます。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>家政学を幅広く学ぶための科目である。日頃から、家政学に関連するニュース等に興味を持って、情報を収集しておくこと。「レポートを課すため4回目以降予習復習合せて4時間」</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 本講義の目的、家政学科での学びについて(全教員)</li> <li>2. 須磨離宮公園におけるフィールドワーク(全教員)</li> <li>3. レポートの書き方、図書館の活用(1年生担任)</li> <li>4. ~12. 受講生全員を5の小グループに分け、毎週開講される以下の9の講義をひとつずつ順繰りに受講する(受講順は第1回目の講義で通知する)。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・現代社会の家族を考える(大淵裕美)</li> <li>・感性と五感(大森正子)</li> <li>・生活をプロデュースする(貝増匡俊)</li> <li>・起居様式と現代の暮らし(梶木典子)</li> <li>・家計の仕組み(ガンガ伸子)</li> <li>・家庭科教育とは(佐藤佐織)</li> <li>・被服の機能性とTPOを考える(十一玲子)</li> <li>・家族の生活と住まい(田中栄治)</li> <li>・織物のデザイン(中西正恵)</li> </ul> </li> <li>13. まとめ</li> </ol>			

科目名	家政学を学ぶ	前期	2 単位
サブタイトル	家政学と家政学科での学びを理解するために	講義	
担当者	貝増 匡俊、中西 正恵、梶木 典子、大森 正子、ガンガ 伸子、大淵 裕美、田中 栄治、佐藤 佐織		
<p>[ 成績評価方法 ] レポート(100%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] レポートは添削して返却します。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-1/生活の質の向上と人類の福祉に貢献するための家政学の目的と意義を理解している。 成績評価方法:レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。 成績評価方法:レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法:レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-1/社会全体の発展やグローバルな問題について、生活に基盤を置く地道な視点で考察することができる。 成績評価方法:レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的スキルにより解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。 成績評価方法:レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-3/個人、家族、コミュニティ、福祉の視点から、より質の高い生活のありようを提案するためのコミュニケーション能力をもっている。 成績評価方法:レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-1/社会変化に追従して受動的になりがちな生活の問題点を指摘し、個人や家族の価値を堅持し、主体的で創造的な生活の実現を目指す意欲や実践力がある。 成績評価方法:レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-2/よりよい生活の実現に向けて、他者の多様な価値観を理解して尊重し、円満な人間関係を基盤に人々と協調・協働できる。 成績評価方法:レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-3/責任ある消費者市民として環境問題や人権問題に配慮した消費者行動ができ、啓発活動や企業活動に参画することができる。 成績評価方法:レポート</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:レポート</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]</p>			

S70000 [ HHI1-001 ]

科目名	家族関係学	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	大淵 裕美		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <p>家族とは何かについて考えることができる。また、家族に関する基礎的な諸概念や理論を理解し、現実起こっている家族の諸問題について考察することができる。</p> <p>[授業概要]</p> <p>社会の変化に伴い、家族の形態や機能も大きく変化している。出生率の低下、晩婚化・非婚化の進行、離婚の増大、家族をつくらない人々の増加など、家族の多様化が進んでいる。本授業では、このような家族に関する基本理論を、家族社会学の立場から体系的に解説する。</p> <p>家族は誰にとっても身近な存在であるが、それだけに、いざ家族を定義づけようすると難しい。家族の定義からはじめ、次に、結婚、出産、高齢期といったライフサイクル的視点で家族をとらえていく。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日ごろから、新聞やニュースで話題になる現代家族がかかえている諸問題に関心をもつようにする。その上で、毎回の授業のテーマと関連づけて考えてみる。</li> <li>・予習・復習合わせて4時間程度行うこと。</li> </ul> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. イントロダクション: 家族とは? 家族をどうとらえるか。</li> <li>2. 「近代家族」の成立: 家族は歴史的に変化するか</li> <li>3. 家族・貧困・福祉: 家族と貧困</li> <li>4. 家族・貧困・福祉: 日本の生活保障システムと家族</li> <li>5. 結婚: 結婚とは何か。未婚化という変化。</li> <li>6. 結婚: 離婚における変化。パートナーシップの多様化。</li> <li>7. 就業と家族: ワークライフバランスの実現に向けて。</li> <li>8. 妊娠・出産・子育て: 少子化</li> <li>9. 妊娠・出産・子育て: 医療技術と子どもをもつこと</li> <li>10. 妊娠・出産・子育て: 家事と育児の分担</li> <li>11. 親-成人子関係のゆくえ: 親-成人子関係についての理論的枠組み、親-成人子関係の変化</li> <li>12. 個人・家族・親密性のゆくえ: 多様化する家族</li> <li>13. 本授業のまとめと家族関係に関する解説</li> </ol>			

科目名	家族関係学	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	大淵 裕美		
<p>[ 成績評価方法 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業で実施する小テスト、課題 60%</li> <li>・定期試験 40%</li> </ul> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コメントシートについては、確認して次回授業時に返却します。</li> <li>・manabaで実施する小テストは、提出後に解答・解説が閲覧できるように自動採点設定をします。</li> <li>・試験後、問題の解説を行います。</li> </ul> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。 成績評価方法: 授業時の小テスト・課題・定期試験</p> <p>学科DP番号/DP内容: 家政2-1/社会全体の発展やグローバルな問題について、生活に基盤を置く地道な視点で考察することができる。 成績評価方法: 授業時の小テスト・課題・定期試験</p> <p>学科DP番号/DP内容: 家政3-1/社会変化に追従して受動的になりがちな生活の問題点を指摘し、個人や家族の価値を堅持し、主体的で創造的な生活の実現を目指す意欲や実践力がある。 成績評価方法: 授業時の小テスト・課題・定期試験</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 授業時の小テスト・課題・定期試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 授業時の小テスト・課題・定期試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 授業時の小テスト・課題・定期試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 授業時の小テスト・課題・定期試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 授業時の小テスト・課題・定期試験</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]</p>			

S73150 [ HH12-003 ]

科目名	家庭科指導法 I	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	佐藤 佐織		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[ 到達目標 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導要領に示された中学校技術・家庭科(家庭分野)及び高等学校家庭科の目標・内容が説明できる。</li> <li>・家庭科の学習指導計画・方法の基礎・基本を理解している。</li> <li>・家庭科におけるICTの効果的な利用法を理解している。</li> <li>・学習指導案を書き、模擬授業をすることができる。</li> </ul> <p>[ 授業概要 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭科の性格や学習指導要領に示された中学校技術・家庭科(家庭分野)及び高等学校家庭科の目標及び内容、学習評価について概説する。</li> <li>・学校現場における教員経験がある者が、その経験を活かして、家庭科の授業をするための基礎的・基本的事項について指導する。</li> <li>・授業計画を立てて学習指導案を作成し、模擬授業を行う。</li> </ul> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]</p> <p>毎回の授業の予習・復習に4時間程度あてることが必要である。 家庭科指導法Ⅱにむけて、この授業の内容を理解し、記録化、まとめておく必要がある。</p> <p>[ 授業計画 ]</p> <p>第1回: ガイダンス・家庭科教育の意義と家庭科の授業とは  第2回: 中学校家庭分野「A家族・家庭生活」と高等学校家庭科「A家族・家庭及び福祉」の目標及び内容  第3回: 中学校家庭分野「B衣食住の生活」と高等学校家庭科「B衣食住」の目標及び内容①  第4回: 中学校家庭分野「B衣食住の生活」と高等学校家庭科「B衣食住」の目標及び内容②  第5回: 中学校家庭分野「B衣食住の生活」と高等学校家庭科「B衣食住」の目標及び内容③  第6回: 中学校家庭分野「C消費生活・環境」と高等学校家庭科「C消費生活・環境」の目標及び内容  第7回: 指導計画の作成と内容の取扱い・「指導と評価の一体化」のための学習評価  第8回: 家庭科の学習形態とICTの活用・板書方法とワークシートの作成・家庭科教育の実習環境と施設設備  第9回: 模擬授業①  第10回: 模擬授業②  第11回: 模擬授業③  第12回: 模擬授業④  第13回: まとめ</p>			

科目名	家庭科指導法 I	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	佐藤 佐織		
<p>[ 成績評価方法 ]  授業態度(20%)、課題(30%)、模擬授業(30%)、試験(20%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  課題へのコメント、模擬授業への指導講評を行う。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-1/生活の質の向上と人類の福祉に貢献するための家政学の目的と意義を理解している。  成績評価方法:試験</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  成績評価方法:授業態度、レポート、模擬授業</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力  成績評価方法:レポート、試験</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]  書籍名:高等学校学習指導要領 平30告示 家庭編 著者名: 出版社名:教育図書 ISBN:9784877304195  書籍名:中学校学習指導要領(平29 技術・家庭編 著者名: 出版社名:開隆堂出版 ISBN:9784304021541  書籍名:家庭総合 明日の生活を築く(高等学校検定済教科書 家総704) 著者名:大竹美登利他 出版社名:開隆堂 ISBN:978-4-304-08105-7  書籍名:技術・家庭 家庭分野 生活の土台 自立と共生(中学校検定済教科書 家庭009-72) 著者名:綿引伴子他 出版社名:開隆堂 ISBN:978-4-304-08135-4</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]</p>			

S70220 [ HHH2-003 ]

科目名	家庭科指導法Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	佐藤 佐織		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校技術・家庭科(家庭分野)の学習で育成を目指す資質・能力を教育内容に結び付けて理解している。</li> <li>・高等学校家庭科の学習で育成を目指す資質・能力を教育内容に結び付けて理解している。</li> <li>・学習指導案を書き、模擬授業をすることができる。</li> <li>・模擬授業を通して、生徒と授業者の両方の立場から実践上の課題をつかむことができる。</li> </ul> <p>[授業概要]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校現場における教員経験がある者が、その経験を活かして、教材研究と授業づくりについて指導する。</li> <li>・授業の計画、教材研究、実施、評価の流れを理解した上で学習指導案を作成し、模擬授業を行う。模擬授業では、目標に向かって学習過程を展開するための課題、および発問・説明・指示、板書、机間指導等の課題をつかむ。</li> <li>・模擬授業に参加することにより、他の受講生の授業について評価をしながら、授業を改善し、視点と方法について探究する。</li> </ul> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「家庭科指導法Ⅰ」の講義内容は、本授業のベースになるので必ず復習しておく。</li> <li>・指導計画や模擬授業の準備等、授業の課題に積極的に取り組む。</li> <li>・授業内容を理解したり、模擬授業のための学習指導案の作成・教材研究のために4時間程度の時間を充てることが求められる。</li> </ul> <p>[授業計画]</p> <p>第1回: ガイダンス・家庭科の教材研究と授業づくり①(家族・家庭)</p> <p>第2回: 家庭科の教材研究と授業づくり②(食生活)</p> <p>第3回: 家庭科の教材研究と授業づくり③(衣生活)</p> <p>第4回: 家庭科の教材研究と授業づくり④(住生活)</p> <p>第5回: 家庭科の教材研究と授業づくり⑤(消費・環境)</p> <p>第6回: 模擬授業用学習指導案作成・板書計画</p> <p>第7回: 実習教材のねらいと意義①</p> <p>第8回: 実習教材のねらいと意義②</p> <p>第9回: 実習教材のねらいと意義③</p> <p>第10回: 模擬授業①</p> <p>第11回: 模擬授業②</p> <p>第12回: 模擬授業③</p> <p>第13回: 模擬授業④</p>			

科目名	家庭科指導法Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	佐藤 佐織		
<p>[ 成績評価方法 ]  授業態度(20%)、課題(40%)、模擬授業(40%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  課題へのコメント、模擬授業への指導講評を行う。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。  成績評価方法:授業づくり、模擬授業</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-3/個人、家族、コミュニティ、福祉の視点から、より質の高い生活のありようを提案するためのコミュニケーション能力をもっている。  成績評価方法:模擬授業</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-2/よりよい生活の実現に向けて、他者の多様な価値観を理解して尊重し、円満な人間関係を基盤に人々と協調・協働できる。  成績評価方法:授業態度、模擬授業</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力  成績評価方法:レポート、学習指導案作成、模擬授業</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]  書籍名:高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 家庭編 文部科学省 著者名:文部科学省 出版社名:教育図書  ISBN:9784877304195  書籍名:家庭総合 明日の生活を築く(高等学校検定済教科書 家総704) 著者名:大竹美登利他 出版社名:開隆堂  ISBN:9784304081057  書籍名:中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 技術・家庭編 文部科学省 著者名:文部科学省 出版社名:開隆堂  ISBN:9784304021541  書籍名:技術・家庭 家庭分野 自立しともに支え合う生活へ(中学校検定済教科書 家庭703) 著者名:綿引伴子他 出版社名:開隆堂 ISBN:9784304081354</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]</p>			

科目名	家庭電気・機械	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	西崎 敏		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[ 到達目標 ]

- 1 電気、機械の基礎知識について理解できるようになる。
- 2 家庭のエネルギーについて説明ができるようになる。
- 3 家庭電気機器の動作原理、機能、構造、将来展望について理解し、適切に扱えるようになる。

[ 授業概要 ]

私たちは、さまざまな電気機器や家庭用機械を利用しながら生活している。これらの機器は、家事の合理化など、私たちの快適な生活を支えている。また年々機器の性能も向上し、高機能化している。これらの機器についての仕組みや構造等を理解することが望まれる。本講義では、機械、電気、情報についての基礎知識および、エネルギー消費や機械、電気機器のしくみなどを学習する。これらの基礎知識をベースに、関連する最新情報を紹介し、紹介した最新情報をレポートにまとめ、お互いにディスカッションし、毎回の講義を整理することにより学習内容の定着を図る。

[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]

中学理科(電気、磁気)や技術・家庭科の内容が基礎となります。日常生活において電気製品や機器を利用するとき、その機能や環境問題についても意識して講義での質問事項を考えておいてください。各回の講義についての予習復習を、4時間程度行ってください。

[ 授業計画 ]

1. ガイダンス(科学技術の進歩と現代の生活)(ライフラインなど)
2. 機械要素とその働き1 家庭用ミシン、アイロン、自転車の構造としくみ(機構、ねじ、歯車など)
3. 機械要素とその働き2 自動車(エンジン、モーター、バッテリー、燃料電池など)
4. 機械とエネルギー変換(力学とエネルギー変換技術、再生可能エネルギーなど)
5. 電気の基礎1 発電(水力、火力、原子力、太陽光など)
6. 電気の基礎2(電子、電流と電圧、磁気、磁界、電気の単位など)
7. 電気の基礎3(直流と交流、周波数、直列と並列、電力と電力量、ジュールの法則など)
8. 家庭用機器(電熱機器、照明機器、動力機器、音声映像機器など)
9. 家庭用屋内配線(送電、変圧、電力など)
10. これからの住居と家庭用電気機器(スマートハウス、スマート家電など)
11. エネルギー事情と対策(これからの日本のエネルギーの現状と課題)
12. 家庭生活と情報機器(機器操作と情報リテラシー)
13. 全体のまとめ

科目名	家庭電気・機械	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	西崎 敏		
<p>[ 成績評価方法 ]  授業中の課題・レポートなど(30%) 試験(記述式)(40%) 学習態度 (30%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  講義途中の課題・レポートについては、次の講義でコメントしフィードバックする。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。  成績評価方法:授業中の課題・レポートなど(30%) 試験(記述式)(40%) 学習態度 (30%)</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的スキルにより解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。  成績評価方法:授業中の課題・レポートなど(30%) 試験(記述式)(40%) 学習態度 (30%)</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-1/社会変化に追従して受動的になりがちな生活の問題点を指摘し、個人や家族の価値を堅持し、主体的で創造的な生活の実現を目指す意欲や実践力がある。  成績評価方法:授業中の課題・レポートなど(30%) 試験(記述式)(40%) 学習態度 (30%)</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力  成績評価方法:授業中の課題・レポートなど(30%) 試験(記述式)(40%) 学習態度 (30%)</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]</p>			

S70310 [ HHS3-001 ]

科目名	家庭福祉論	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	大淵 裕美		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ]  社会環境の変化や家族の多様化にともなう様々な家庭と福祉に関する現状や課題を理解し、より良いあり方を検討・提示できる。</p> <p>[ 授業概要 ]  社会環境は歴史的・社会的に変化しており、それに伴い家庭のあり方や福祉のあり方も多様化している。本授業では、福祉の基盤となる社会保障について学習するとともに、様々な家族形態における福祉的課題について検討・解説する。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]  新聞やニュースには、毎日のように家族にかかわる様々な問題が報告されている。これらに関心をもつようにする。その上で、毎回の授業のテーマと関連づけて考えてみる。  予習・復習合わせて4時間程度行うこと。</p> <p>[ 授業計画 ]  1. ガイダンス・家族を取り巻く社会環境の変化と福祉  &lt;福祉の基盤としての社会保障&gt;  2. 医療保険  3. 生活保護と社会福祉  4. 年金  5. 介護保険  6. 雇用保険  7. 労働者災害補償保険  8. 社会保険と民間保険  &lt;家庭福祉の諸課題&gt;  9. 母子保健  10. 社会的養護  11. 虐待・非行  12. DV・依存症と家庭  13. 本授業のまとめ</p>			

科目名	家庭福祉論	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	大淵 裕美		
<p>[ 成績評価方法 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業で実施する小テスト、課題 60%</li> <li>・定期試験 40%</li> </ul> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回提出するコメントシートについては、確認して次回授業時に返却します。</li> <li>・毎授業時にmanabaにて実施する小テストは、自動採点時に解答・解説が閲覧できるように設定します。</li> <li>・試験後、解答の解説を行います。</li> </ul> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。 成績評価方法:課題・小テスト・定期試験</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-1/社会全体の発展やグローバルな問題について、生活に基盤を置く地道な視点で考察することができる。 成績評価方法:課題・小テスト・定期試験</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-1/社会変化に追隨して受動的になりがちな生活の問題点を指摘し、個人や家族の価値を堅持し、主体的で創造的な生活の実現を目指す意欲や実践力がある。 成績評価方法:課題・小テスト・定期試験</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-2/よりよい生活の実現に向けて、他者の多様な価値観を理解して尊重し、円満な人間関係を基盤に人々と協調・協働できる。 成績評価方法:課題・小テスト・定期試験</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:課題・小テスト・定期試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:課題・小テスト・定期試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:課題・小テスト・定期試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:課題・小テスト・定期試験</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]</p>			

S73190 [ HHI3-019 ]

科目名	基礎アパレル造形演習	前期	2 単位
サブタイトル	製図、パターン、立体構成	演習	
担当者	十一 玲子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ]  被服のパターンに関するパーツなどを総合的に理解し、被服に必要な基本的な知識および技術を身につける。創造力と感性の養成を目指し、パターンの作成、展開などの理論について学ぶ。基礎縫いを実施し、基本的なスカートを製作できるようになる。</p> <p>[ 授業概要 ]  衣服がどのようなパーツからできているのかを理解し、製図に必要な知識を身につける。デザイン画、写真、雑誌などを見て製図ができることが理想である。  縫製の基本的な部分を学び、自分のサイズの作品(スカート)を製作する。自分で最初から最後まで完成するまでの力を身につける。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]  市場には多くの既製服が販売されている。常に関心、好奇心を持って、見るようにする。授業中に行った課題に遅れた場合、次回までに各自で計画を立てて、学習しておくこと2時間程度。</p> <p>[ 授業計画 ]  1.オリエンテーション、採寸、型紙作成、布丈の見積り  2.製図(1/5)(原型・タイトスカート)、展開(スカート)  3.基礎縫い(手縫い)  4.基礎縫い(手縫い)  5.基礎縫い(ミシン縫い)  6.裁断、標付け、ミシン使用方法の説明  7.本縫い、ギャザーミシン、脇縫い、脇・裾オーバーロックミシン  8.ベルト作り、ベルト付け  9.ベルト付け、ゴム通し、渡しまつり  10.裾始末  11.製図(1/5)(ブラウス)、展開(袖)  12.仕上げ、完成  13.まとめ、発表(プレゼンテーション)</p>			

科目名	基礎アパレル造形演習	前期	2 単位
サブタイトル	製図、パターン、立体構成	演習	
担当者	十一 玲子		
<p>[ 成績評価方法 ]  作品・製図(70%),プレゼンテーション(30%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  作品・課題などを提出後、確認を行い、コメントをつけて返却する。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]  書籍名:洋裁研究 基礎編 著者名:十一玲子 他3名 出版社名:学校法人 行吉学園 ISBN:</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]</p>			

科目名	基礎アパレル造形演習	後期	2 単位
サブタイトル	製図、パターン、立体構成	演習	
担当者	十一 玲子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ]  被服のパターンに関するパーツなどを総合的に理解し、被服に必要な基本的な知識および技術を身につける。創造力と感性の養成を目指し、パターンの作成、展開などの理論について学ぶ。基礎縫いを実施し、基本的なスカートを製作できるようになる。</p> <p>[ 授業概要 ]  衣服がどのようなパーツからできているのかを理解し、製図に必要な知識を身につける。デザイン画、写真、雑誌などを見て製図ができることが理想である。  縫製の基本的な部分を学び、自分のサイズの作品(スカート)を製作する。自分で最初から最後まで完成するまでの力を身につける。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]  市場には多くの既製服が販売されている。常に関心、好奇心を持って、見るようにする。授業中に行った課題に遅れた場合、次回までに各自で計画を立てて、学習しておくこと2時間程度。</p> <p>[ 授業計画 ]  1.オリエンテーション、採寸、型紙作成、布丈の見積り  2.製図(1/5)(原型・タイトスカート)、展開(スカート)  3.基礎縫い(手縫い)  4.基礎縫い(手縫い)  5.基礎縫い(ミシン縫い)  6.裁断、標付け、ミシン使用方法の説明  7.本縫い、ギャザーミシン、脇縫い、脇・裾オーバーロックミシン  8.ベルト作り、ベルト付け  9.ベルト付け、ゴム通し、渡しまつり  10.裾始末  11.製図(1/5)(ブラウス)、展開(袖)  12.仕上げ、完成  13.まとめ、発表(プレゼンテーション)</p>			

科目名	基礎アパレル造形演習	後期	2 単位
サブタイトル	製図、パターン、立体構成	演習	
担当者	十一 玲子		
<p>[ 成績評価方法 ]  作品・製図(70%),プレゼンテーション(30%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  作品・課題などを提出後、確認を行い、コメントをつけて返却する。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]  書籍名:洋裁研究 基礎編 著者名:十一玲子 他3名 出版社名:学校法人 行吉学園 ISBN:</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]</p>			

科目名	基礎製図演習	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	梶木 典子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 製図の基礎を学び、住宅の基礎図面である平面図・断面図等を理解し、描画できるようになること。</p> <p>[授業概要] 基礎製図演習では、住宅図面を理解したうえで、自ら考え、表現する力を養うことを目的としている。製図用具の使用法、製図法、文字の表現方法について学習し、図面表現の約束ごとを理解する。そして、木造住宅の平面図、断面図等の基本的な図面の役割や表現方法の決まりを学び、自分で図面を読み、表現できるように演習を行う。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回の授業についての予習・復習4時間程度。 図面を読むために必要となる縮尺を理解できるようになっておくこと。実際の住宅内部にあるものをよく観察しておくこと。</p> <p>[授業計画] 1. ガイダンス: 製図用具の説明、製図とは 2. 線の練習、文字の練習 3. 平面図の練習(1) 4. 平面図の練習(2) 5. 展開図の練習 6. 住宅内のモデルプランの計画(1) 7. 住宅内のモデルプランの計画(2) 8. 住宅内のモデルプランの計画(3) 9. 住宅内のモデルプランの設計(1) 10. 住宅内のモデルプランの設計(2) 11. 住宅内のモデルプランの設計(3) 12. 住宅内のモデルプランの提案(1) 13. 住宅内のモデルプランの提案(2)</p>			

科目名	基礎製図演習	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	梶木 典子		
<p>[ 成績評価方法 ] 課題への取組み度と提出状況 (15%)、成果品 (85%) により評価</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 成果品は、コメントを付す。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。 成績評価方法:課題への取組み度と提出状況 (15%)、成果品 (85%)</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-3/個人、家族、コミュニティ、福祉の視点から、より質の高い生活のありようを提案するためのコミュニケーション能力をもっている。 成績評価方法:課題への取組み度と提出状況 (15%)、成果品 (85%)</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:課題への取組み度と提出状況 (15%)、成果品 (85%)</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] 書籍名:改訂版 建築製図 基本の基本 著者名:櫻井 良明 出版社名:学芸出版社 ISBN:9784761532963 書籍名:一生使えるサイズ事典 住宅のリアル寸法 完全版 著者名: 出版社名:エクスマレッジ ISBN:9784767829784</p>			

科目名	基礎調理学実習	後期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	清水 典子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ] 調理に関する知識と基礎的な調理技術を習得する。安全面や衛生面についても留意しながら、実習を通して健康で豊かな食生活を実践する能力を養うことを目標とする。</p> <p>[ 授業概要 ] 健康な食生活を送るためには、自らの手で食事を整えていくことが重要となるので、基本的な調理技術を習得し、食品の調理性を理解する。 日本料理、西洋料理、中国料理、韓国料理の様式別に実習を行い、その国の食文化についても学び、変化を楽しめる食事作りができるようになる。 また、食品の安全性や衛生管理の重要性を理解し、実践することを学ぶ。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ] 前回実習の復習(出来れば実際に調理を行う、栄養計算、食材調べなど)と今回実習のタイムテーブル(実習計画)を作成し、実習献立を限られた時間内に効率的にかつおいしく調理出来るように準備する。各回、予習復習合わせて2時間程度。</p> <p>[ 授業計画 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション</li> <li>2. 日本料理1</li> <li>3. 日本料理2</li> <li>4. 日本料理3</li> <li>5. 西洋料理1</li> <li>6. 西洋料理2</li> <li>7. 中国料理1</li> <li>8. 中国料理2</li> <li>9. 韓国料理</li> <li>10. 行事食(西洋料理)</li> <li>11. 行事食(日本料理)</li> <li>12. 災害時の料理</li> <li>13. 実習のまとめ・掃除</li> </ol>			

科目名	基礎調理学実習	後期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	清水 典子		
<p>[ 成績評価方法 ] 実習態度(40%)、レポート(40%)、実習のまとめ(20%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] レポート添削後、コメントして返却</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-1/生活の質の向上と人類の福祉に貢献するための家政学の目的と意義を理解している。 成績評価方法:レポート・実習のまとめ</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-3/個人、家族、コミュニティ、福祉の視点から、より質の高い生活のありようを提案するためのコミュニケーション能力をもっている。 成績評価方法:実習態度・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-1/社会変化に追従して受動的になりがちな生活の問題点を指摘し、個人や家族の価値を堅持し、主体的で創造的な生活の実現を目指す意欲や実践力がある。 成績評価方法:実習態度・レポート・実習のまとめ</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-2/よりよい生活の実現に向けて、他者の多様な価値観を理解して尊重し、円満な人間関係を基盤に人々と協調・協働できる。 成績評価方法:実習態度・レポート</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:実習態度・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:実習態度・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:レポート・実習のまとめ</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] 書籍名:調理の基本 まるわかり便利帳 著者名:松本 仲子 出版社名:女子栄養大学出版部 ISBN:9784789505239 書籍名:八訂準拠 ビジュアル食品成分表 著者名:・ 出版社名:大修館書店 ISBN:9784469270129</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] 書籍名:調理のためのベーシックデータ 著者名:松本仲子 監修 出版社名:女子栄養大学出版部 ISBN:978-4-7895-0323-5 書籍名:新・ベターホームのお料理新一年生 著者名:ベターホーム協会 出版社名:ベターホーム協会 ISBN:978-4-86586-015-3</p>			

科目名	空間デザイン演習	前期	2 単位
サブタイトル	住まいの空間デザイン	演習	
担当者	田中 栄治		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標]</p> <p>目標1: 課題に関連する事例を調査し、住まいの空間デザインのコンセプトをつくることができる。  目標2: 住まいの空間のプランニングを行い、平面図・展開図を描くことができる。  目標3: 住まいの空間のデザインを行い、透視図を描くことができる。  目標4: コンセプト・図面・透視図等をまとめてプランニングボードに表現できる。  目標5: プランニングボードを用いてプレゼンテーションができる。</p> <p>[授業概要]</p> <p>一級建築士・インテリアプランナー・福祉住環境コーディネーターの資格を持ち、建築設計・インテリアデザインの実務経験のある教員が、戸建て住宅をテーマにして空間デザインの技術を学び、それを応用した作品を制作する科目を指導します。既存の戸建て住宅を題材として、住まいの空間デザイン(家具・照明・植栽等を含む)を行います。課題に関連する事例を調査し、空間デザインのコンセプトをつくり、アイデアを考えて住まいの空間のプランニングを行い、平面図・展開図を描きます。また、住まいの空間のデザインを行い、透視図を描き、設計作品のプランニングボードを作成してプレゼンテーションをおこないます。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>授業で作成する課題に関する資料収集や事例研究を行ってください。関連する書籍や雑誌などを参考にし、家族の生活をイメージして住まいの空間をデザインしてください。各回、予習復習合わせて2時間程度行ってください。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ガイダンス、事例調査・コンセプトメイキング</li> <li>2. ゾーニング・プランニングの検討</li> <li>3. 家具レイアウトの検討、透視図の練習</li> <li>4. 家具レイアウト案のラフパース作成</li> <li>5. 家具レイアウト案のラフパースによりプランニング見直し</li> <li>6. 平面図の作成</li> <li>7. 平面図の仕上げ</li> <li>8. 展開図の作成・仕上げ</li> <li>9. 透視図の作成</li> <li>10. 透視図の仕上げ</li> <li>11. プランニングボードの作成</li> <li>12. プランニングボードの仕上げ</li> <li>13. 作品プレゼンテーション、講評</li> </ol>			

科目名	空間デザイン演習	前期	2 単位
サブタイトル	住まいの空間デザイン	演習	
担当者	田中 栄治		

[ 成績評価方法 ]

課題1(事例調査シート・コンセプトシート):目標1に対応(10%)  
 課題2(平面図・展開図):目標2に対応(20%)  
 課題3(透視図):目標3に対応(20%)  
 課題4(プランニングボード):目標4に対応(40%)  
 課題5(プレゼンテーション):目標5に対応(10%)

[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  
 演習作品は、プレゼンテーション後に講評を行います。

[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  
 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ メールアドレス ]  
 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]

学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。  
 成績評価方法:課題1~5

学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的スキルにより解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。  
 成績評価方法:課題1~5

[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容\_:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  
 成績評価方法:課題1~5

[ 教科書(ISBN) ]

書籍名:適宜プリント配布 著者名: 出版社名: ISBN:

[ 参考書(ISBN) ]

科目名	くらしの経済学	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	ガンガ 伸子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <p>私たちの暮らしに関わる経済について学んでいく。具体的には、ミクロ経済学(消費者行動、生産者行動、市場均衡、独占と寡占、外部経済・外部不経済等)とマクロ経済学(国民経済、経済成長、財政等)の基礎知識を習得できるようになる。</p> <p>[授業概要]</p> <p>ミクロ経済学(消費者行動、生産者行動、市場均衡、独占と寡占、外部経済・外部不経済等)とマクロ経済学(国民経済、経済成長、財政等)の基礎知識について、学んでいく。  各回の授業テーマに沿って、講義とそれに関するWork Shopで展開していく。  講義で学んだ知識をもとに、自らが調べたり、分析したり、比べたりする力を身につけていく。  授業日程は、次のとおりである。7月25日(金)1-4限、7月31日(木)1-4限、8月1日(金)1-4限、8月4日(月)1限</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>各回の授業についての予習・復習4時間程度。  各回の課題(Work)のため、新聞記事の検索や図書館の活用方法、インターネットでの情報収集の仕方も学ぶこと。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. イントロダクション、経済とは何か①(経済活動)</li> <li>2. 経済とは何か②(消費①②)</li> <li>3. 経済とは何か④(生産、資本)</li> <li>4. 経済とは何か⑤(貨幣の役割、所得)</li> <li>5. 市場について①(消費行動の原理、生産者行動の原理)</li> <li>6. 市場について②(価格決定のメカニズム)</li> <li>7. 市場について③(外部効果:外部経済、外部不経済)</li> <li>8. 市場について④(公共財、独占と寡占)</li> <li>9. 経済の大きさを測る①(国の豊かさと景気、付加価値、国内総生産)</li> <li>10. 経済の大きさを測る②(経済成長、三面等価の原理、物価、為替)</li> <li>11. 政府の役割①(政府の役割、社会保障政策、裁量的財政政策)</li> <li>12. 政府の役割②(租税対策、債務残高、中央銀行の役割、金融政策)</li> <li>13. まとめ</li> </ol>			

科目名	くらしの経済学	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	ガンガ 伸子		
<p>[ 成績評価方法 ]  30分以上の遅刻は欠席とみなす。  授業時における課題提出 (50%)  定期試験 (50%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  授業時に解答のポイントを解説する。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]  書籍名:Primary大学テキスト これだけはおさえたい経済学 学びのガイダンス 著者名:山田久・半谷俊彦他 出版社名:実教出版 ISBN:</p>			

科目名	くらしの社会学	前期	2 単位
サブタイトル		メディア(講義)	
担当者	大淵 裕美		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他	<small>manabaを用いたオンデマンド授業</small>	実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

・社会学の基本的知識を修得することができる。また、日常生活における違和感や疑問に対して、社会的なものの方や基礎的知識を活用して分析することができる。

[授業概要]

【メディア授業】

本授業では、社会学なものの見方の基礎的な事柄について学修する。具体的には、くらしの様々な現象を対象に、違和感や課題の発見し、社会学の視点で物事をとらえ分析する力量の形成を目指す。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

授業内容に関連するニュースや身近な問題などを予習して、授業に臨むこと(各講義の予習復習は4時間程度)

[授業計画]

1. 社会を学ぶための学びとは—社会とは、社会学とは
2. 自己、インタラクション—自分って何だろう?
3. 家族・親密圏、—標準世帯はどの程度当たり前?
4. 文化・家族・階層—文化的再生産とは?
5. 教育・学校—スクールカーストの中でどうサバイブする?
6. デートDV講座(学外講師)
7. ジェンダー・セクシュアリティ—多様な性って何だろう?
8. 情報・メディア—メディアは誰のもの?
9. 消費・流行—億総中流から格差社会へ
10. 文化・表象・観光—伝統が創られるとは何か?
11. 都市、コミュニティー—都市への集住と、都市での分断
12. グローバリゼーション、エスニシティ—内なる国際化について考える
13. まとめ

科目名	くらしの社会学	前期	2 単位
サブタイトル		メディア(講義)	
担当者	大淵 裕美		
<p>[ 成績評価方法 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各回の授業課題・授業内容に関する小テスト(60%)</li> <li>・最終試験(40%)</li> </ul> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回提出する課題・コメントシートについては、確認してmanabaにて返却します。</li> <li>・manabaにて実施する小テスト・最終試験は、自動採点時に解答・解説が閲覧できるように設定します。</li> </ul> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法:小テスト・課題・定期試験</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-1/社会全体の発展やグローバルな問題について、生活に基盤を置く地道な視点で考察することができる。 成績評価方法:小テスト・課題・定期試験</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-1/社会変化に追隨して受動的になりがちな生活の問題点を指摘し、個人や家族の価値を堅持し、主体的で創造的な生活の実現を目指す意欲や実践力がある。 成績評価方法:小テスト・課題・定期試験</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:小テスト・課題・定期試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:小テスト・課題・定期試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:小テスト・課題・定期試験</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]</p>			

科目名	公衆衛生学	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	井村 聡子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[ 到達目標 ] 公衆衛生の現状と問題について、理解し、自身の意見を述べるようになる。</p> <p>[ 授業概要 ] 本科目は国際協力機構(JICA)の委託事業の経験を有する教員が、公衆衛生学を指導します。 公衆衛生学では全ての人を対象とした健康の保持・増進、寿命の延伸、疾病の予防について扱います。 具体的には、全住民を対象とした健康増進と生活の質(QOL)の向上や、それに向けて地域社会の住民や行政が実施するヘルスプロモーション活動について学習します。加えて、地球環境、社会・疾病構造の変化、医療の現状と課題、世界の保健医療問題など、現在起こっている日本および世界の問題を取り上げ、地域や文化の異なる人間集団の相違点を比較し考察します。 授業は教科書および配布資料を中心に進めますので、各回それらを持参するようにしてください。また、新聞記事、映像等身近にある公衆衛生の問題を積極的に取り入れ、知識の習得を目指します。受講生のみなさんにも意見や考えを積極的に述べてもらい理解を深めます。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ] 日頃からニュースや新聞を精読し、現代社会の現状と保健医療の動向を把握しておくとともに各回の講義についての予習・復習を行うようにしてください。(各回、予習・復習合わせて4 時間程度)。</p> <p>[ 授業計画 ] 1.健康の概念 2.人口静態統計 3.人口動態統計 4.社会保障 5.高齢者保健 6.地域保健 7.成人保健 8.疫学 9.感染症 10.学校保健・環境保健 11.母子保健 12.国際保健 13.まとめ</p>			

科目名	公衆衛生学	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	井村 聡子		
<p>[ 成績評価方法 ]  筆記試験(90%)と課題の提出(10%)で評価します。筆記試験は得られた得点で評価します。課題の提出は課題が提出されなかった場合や記述事項が十分に記載されていない場合には評価を下げます。</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  各回、配布する課題には記述欄を設け、回収後次回の講義内で各自の意見の共有を図ります。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-1/社会全体の発展やグローバルな問題について、生活に基盤を置く地道な視点で考察することができる。  成績評価方法:試験および課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的スキルにより解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。  成績評価方法:試験および課題</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力  成績評価方法:試験および課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力  成績評価方法:試験および課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力  成績評価方法:試験および課題</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]  書籍名:よくわかる専門基礎講座公衆衛生学2025年版 著者名:松秀明編 出版社名:金原出版株式会社 ISBN:978-4-307-70246-</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]</p>			

S70320 [ HHB3-001 ]

科目名	公衆衛生学	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	井村 聡子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[ 到達目標 ] 公衆衛生の現状と問題について、理解し、自身の意見を述べるようになる。</p> <p>[ 授業概要 ] 本科目は国際協力機構(JICA)の委託事業の経験を有する教員が、公衆衛生学を指導します。 公衆衛生学では全ての人を対象とした健康の保持・増進、寿命の延伸、疾病の予防について扱います。 具体的には、全住民を対象とした健康増進と生活の質(QOL)の向上や、それに向けて地域社会の住民や行政が実施するヘルスプロモーション活動について学習します。加えて、地球環境、社会・疾病構造の変化、医療の現状と課題、世界の保健医療問題など、現在起こっている日本および世界の問題を取り上げ、地域や文化の異なる人間集団の相違点を比較し考察します。 授業は教科書および配布資料を中心に進めますので、各回それらを持参するようにしてください。また、新聞記事、映像等身近にある公衆衛生の問題を積極的に取り入れ、知識の習得を目指します。受講生のみなさんにも意見や考えを積極的に述べてもらい理解を深めます。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ] 日頃からニュースや新聞を精読し、現代社会の現状と保健医療の動向を把握しておくとともに各回の講義についての予習・復習を行うようにしてください。(各回、予習・復習合わせて4 時間程度)。</p> <p>[ 授業計画 ] 1.健康の概念 2.人口静態統計 3.人口動態統計 4.社会保障 5.高齢者保健 6.地域保健 7.成人保健 8.疫学 9.感染症 10.学校保健・環境保健 11.母子保健 12.国際保健 13.まとめ</p>			

科目名	公衆衛生学	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	井村 聡子		
<p>[ 成績評価方法 ]  筆記試験(90%)と課題の提出(10%)で評価します。筆記試験は得られた得点で評価します。課題の提出は課題が提出されなかった場合や記述事項が十分に記載されていない場合には評価を下げます。</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  各回、配布する課題には記述欄を設け、回収後次回の講義内で各自の意見の共有を図ります。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-1/社会全体の発展やグローバルな問題について、生活に基盤を置く地道な視点で考察することができる。  成績評価方法:試験および課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的スキルにより解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。  成績評価方法:試験および課題</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力  成績評価方法:試験および課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力  成績評価方法:試験および課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力  成績評価方法:試験および課題</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]  書籍名:よくわかる専門基礎講座公衆衛生学2025年版 著者名:松秀明編 出版社名:金原出版株式会社 ISBN:978-4-307-70246-</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]</p>			

S70320F [ HHB3-001 ]

科目名	色彩論	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	大森 正子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・色を正しく区別し、再現する能力を養う</li> <li>・色を活用する能力を養う</li> <li>・色彩検定2級の合格を目指す内容とする。</li> </ul> <p>[ 授業概要 ]</p> <p>色彩は、光学や生理学、心理学などの学問との関連が深く、“学際的”であるのが特徴である。また、わたしたちの生活の中で、色彩は情報の伝達手段として重要な機能を持っている。それだけでなく、わたしたちを取り巻く環境の媒質・背景として心理的効用を持っているといえる。本講義では、人間の感覚・知覚、色彩の理論、色彩の調和、色彩の認知、環境における色彩の役割、色彩の好みといった知識を学ぶ。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]</p> <p>前回の授業内容を復習し理解して、次回の授業の予習をしておく。(予習復習含めて4時間程度)</p> <p>[ 授業計画 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生活と色</li> <li>2. 光と色</li> <li>3. 色の生理</li> <li>4. 色の測定</li> <li>5. 色の表示</li> <li>6. 色の調和と配色技法</li> <li>7. 色の心理的効果</li> <li>8. 色材の基礎</li> <li>9. 色と文化</li> <li>10. 生活における色彩計画</li> <li>11. 色相・明度による配色</li> <li>12. トーンによる配色</li> <li>13. 色彩配色テストとまとめ</li> </ol>			

科目名	色彩論	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	大森 正子		
<p>[ 成績評価方法 ] 授業中に課す課題(60%)、配色テスト(40%)を総合的に評価する。</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 課題提出物は、授業中に返却します。最終課題(配色テスト)については後日返却。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ] 学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ] 教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] 書籍名:生活の色彩学 著者名:橋本 令子 出版社名:朝倉書店 ISBN:9784254600247</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]</p>			

科目名	室内環境学	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	青山 有希		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] 室内環境についての科学的基礎である光、熱、空気、音の現象と作用を説明できる。</p> <p>[授業概要] 住まいのづくりに対し、光、熱、空気、音といった環境要素がどのようにかかわっているかを知るとともに、環境工学的な視点から説明、ならびに具体的改善を加えることができるように学びます。 その際、住まいのあり方を決める重要な要素である、エネルギー資源、環境負荷、ライフサイクルなど地球環境を考慮して、室内環境とのバランスのとりを生活科学として実学的に学び、持続可能型社会を構築する住まいを理解します。 状況に応じてPBLを行います。 一級建築士である教員が、この授業で学習する内容について、実際のプロジェクトにどのように関連しているかなどを具体的に提示して理解を深めます。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 一般的な環境問題に関心を払うとともに、住まいにおける環境(光、熱、空気、音)に対して、絶えず具体的な疑問を持つように心がけてください。後期の室内環境学実験では自ら実験を企画し、遂行することになるため、そうした実験に於いて活用できる知識を身に付けておけるよう、各回、予習復習をしてください。(合わせて4時間程度)</p> <p>[授業計画] 1.住まいを取り巻く自然環境／地球環境と生活技術 2.住まいの日照と日射 3.生活にもたらされる光の性質 4.住まいと自然照明の計画 5.住まいと人工照明の計画 6.住まいと空気 7.住まいと換気 8.人と温熱感覚 9.住まいと熱 10.住まいの湿気と結露 11.住まいと音 12.騒音と振動／響きと吸音 13.プレゼンテーション</p>			

科目名	室内環境学	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	青山 有希		
<p>[ 成績評価方法 ] 理解度確認試験(50%)・レポート(30%)・小テスト(30%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 採点後の授業および、KISSシステムによるフィードバック</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的スキルにより解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] 書籍名:住まいと環境 住まいのつくりを環境から考える 著者名:大内孝子 出版社名:彰国社 ISBN:</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]</p>			

科目名	室内環境学演習		後期	1 単位
サブタイトル			演習	
担当者	青山 有希			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業		
<p>[到達目標]          室内環境についての科学的基礎である光、熱、空気、音の現象と作用を理解したうえで、これからの地球環境問題のなかで前述の4項目について身近な室内環境についての調査ができ、導かれた問題の解決案を提案できる。</p> <p>[授業概要]          室内環境学で学んだ内容に関する各種実験課題を設定し、物理的環境を実験器具を用いて計測して考察を行います。実験は、グループワークによる特定課題を設定したPBLを実施します。実験を通じて環境工学的な知識を経験的に体得することで、将来にせまる室内環境問題に対して、ライフスタイルに合わせた有効な提案ができるようになるようになります。一級建築士である教員が、この授業で学習する内容について、実際のプロジェクトにどのように関連しているかなどを具体的に提示して理解を深めます。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]          前期の室内環境学で学んだことを復習しておいてください。また、住まいでの環境(熱、光、空気、音)について疑問をもつように心がけてください。各回、予習復習を行ってください。(合わせて2時間程度)</p> <p>[授業計画]          1.室内環境学実験のガイダンスと計測機器          2.赤外線放射温度計を用いた熱環境実験          3.照度計を用いた光環境実験          4.紫外線強度計を用いた光環境実験          5.風速計を用いた空気環境実験          6.CO2濃度計を用いた空気環境実験          7.騒音計を用いた音環境実験          8.放射線強度計を用いた放射線測定実験          9.PBLによる実験1 課題設定、実験の企画          10.PBLによる実験2 計測の実施          11.PBLによる実験3 計測の実施、データ整理          12.PBLによる実験4 プレゼンボード作成          13.PBLによる実験5 プレゼンテーションと討論、まとめ</p>				

科目名	室内環境学演習	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	青山 有希		
<p>[ 成績評価方法 ]  レポート(50%)・プレゼンテーション(20%)・実験実施状況(30%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  授業内コメント及びKISSシステム</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的スキルにより解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-1/社会変化に追従して受動的になりがちな生活の問題点を指摘し、個人や家族の価値を堅持し、主体的で創造的な生活の実現を目指す意欲や実践力がある。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-2/よりよい生活の実現に向けて、他者の多様な価値観を理解して尊重し、円満な人間関係を基盤に人々と協調・協働できる。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]</p>			

S72290 [ HHI3-012 ]

科目名	社会組織論	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	貝増 匡俊		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[ 到達目標 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・組織の役割や機能などを理解できるようになる。</li> <li>・イノベーションやSDGsなど新しい流れの中で分析手法について理解できるようになる。</li> <li>・組織の中で個人がどのように振る舞っていくのか説明できるようになる。</li> </ul> <p>[ 授業概要 ]</p> <p>民間企業、NGO、独立行政法人など様々な組織で勤務経験を持つ教員が、その経験を活かして社会組織について指導します。この授業では、組織全般について学びます。私たちは何らかの組織に所属し、経済的な活動や社会的な活動を行っています。組織は家庭や地域だけでなく、学校や企業など様々な場面で存在し、人が集まれば必ず組織が形成されます。インターネットの発展や急速な少子高齢化など、現在日本国内外では社会の大きな変化が進行しています。このような状況の中で、組織について学ぶことは非常に重要です。社会における組織を理解するために、事例を踏まえながら組織の分析を行い、理論的な枠組みについて学んでいきます。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]</p> <p>事前に教科書を読んで予習を行って下さい。授業後は振り返り、復習を行って下さい。各回、予習復習合わせて4時間程度</p> <p>[ 授業計画 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第1回:ガイダンス</li> <li>第2回:組織の定義</li> <li>第3回:組織の目的</li> <li>第4回:ステークホルダーとコミュニケーション</li> <li>第5回:組織の中の個人と動機付け(モチベーション)</li> <li>第6回:組織の形態</li> <li>第7回:組織文化</li> <li>第8回:リーダーシップ</li> <li>第9回:イノベーション</li> <li>第10回:組織戦略</li> <li>第11回:変化する組織</li> <li>第12回:新しい潮流(SDGs、ESG経営など)</li> <li>第13回:まとめ</li> </ul>			

科目名	社会組織論	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	貝増 匡俊		
<p>[ 成績評価方法 ]  試験(記述式)60%、宿題30%、manaba上での参加(授業への貢献度)(10%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  宿題は返却します。  試験後、解答の解説を行います。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。  成績評価方法:宿題、授業への貢献度、試験</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。  成績評価方法:宿題、試験</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-1/社会全体の発展やグローバルな問題について、生活に基盤を置く地道な視点で考察することができる。  成績評価方法:宿題、試験</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-3/個人、家族、コミュニティ、福祉の視点から、より質の高い生活のありようを提案するためのコミュニケーション能力をもっている。  成績評価方法:宿題、授業への貢献度</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-2/よりよい生活の実現に向けて、他者の多様な価値観を理解して尊重し、円満な人間関係を基盤に人々と協調・協働できる。  成績評価方法:宿題、授業への貢献度</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-3/責任ある消費者市民として環境問題や人権問題に配慮した消費者行動ができ、啓発活動や企業活動に参画することができる。  成績評価方法:宿題、授業への貢献度、試験</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢  成績評価方法:宿題、授業への貢献度、試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢  成績評価方法:宿題、授業への貢献度、試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢  成績評価方法:宿題、授業への貢献度、試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力  成績評価方法:宿題、授業への貢献度、試験</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]  書籍名:はじめての経営組織論 著者名:高尾義明 著 出版社名:有斐閣 ISBN:9784641150683</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]</p>			

S73130 [ HHH2-001 ]

科目名	社会組織論	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	貝増 匡俊		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[ 到達目標 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・組織の役割や機能などを理解できるようになる。</li> <li>・イノベーションやSDGsなど新しい流れの中で分析手法について理解できるようになる。</li> <li>・組織の中で個人がどのように振る舞っていくのか説明できるようになる。</li> </ul> <p>[ 授業概要 ]</p> <p>民間企業、NGO、独立行政法人など様々な組織で勤務経験を持つ教員が、その経験を活かして社会組織について指導します。この授業では、組織全般について学びます。私たちは何らかの組織に所属し、経済的な活動や社会的な活動を行っています。組織は家庭や地域だけでなく、学校や企業など様々な場面で存在し、人が集まれば必ず組織が形成されます。インターネットの発展や急速な少子高齢化など、現在日本国内外では社会の大きな変が進行しています。このような状況の中で、組織化について学ぶことは非常に重要です。社会における組織を理解するために、事例を踏まえながら組織の分析を行い、理論的な枠組みについて学んでいきます。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]</p> <p>事前に教科書を読んで予習を行って下さい。授業後は振り返り、復習を行って下さい。各回、予習復習合わせて4時間程度</p> <p>[ 授業計画 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第1回:ガイダンス</li> <li>第2回:組織の定義</li> <li>第3回:組織の目的</li> <li>第4回:ステークホルダーとコミュニケーション</li> <li>第5回:組織の中の個人と動機付け(モチベーション)</li> <li>第6回:組織の形態</li> <li>第7回:組織文化</li> <li>第8回:リーダーシップ</li> <li>第9回:イノベーション</li> <li>第10回:組織戦略</li> <li>第11回:変化する組織</li> <li>第12回:新しい潮流(SDGs、ESG経営など)</li> <li>第13回:まとめ</li> </ul>			

科目名	社会組織論	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	貝増 匡俊		
<p>[ 成績評価方法 ] 試験60%、宿題30%、manaba上での参加(授業への貢献度)10%</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 宿題は返却します。 試験後、解答の解説を行います。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 宿題、授業の貢献度、試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 宿題、授業への貢献度、試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 宿題、授業への貢献度、試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 宿題、授業への貢献度、試験</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] 書籍名: はじめての経営組織論 著者名: 高尾義明 著 出版社名: 有斐閣 ISBN: 9784641150683</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]</p>			

S73130F [ HHH2-001 ]

科目名	社会調査法	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	大淵 裕美		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ]  社会調査の基礎的な考え方やさまざまな調査方法について理解する。さらに、実際に各自の問題関心に基づきデータを収集し、分析した図表を読むことができる。</p> <p>[ 授業概要 ]  この授業では、社会調査の全体について、その概要を説明する。社会調査の意義と諸類型に関する基本的事項を理解し、資料やデータの収集から分析までの諸過程に関する基礎的な事項について学習する。社会調査を実際に行うためのスキルを養うとともに、データを正しく理解し利用するための調査リテラシーを身につけることを目指す。なお、この授業は、2023年度入学生までは、社会調査士資格科目のA科目(社会調査の基本的事項に関する科目)に該当する。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]  新聞やニュースには、毎日のように社会調査の結果が報告されている。これらに関心をもつようにする。その上で、毎回の授業のテーマと関連づけて考えてみる。  予習・復習を4時間程度行うこと。</p> <p>[ 授業計画 ]  1. イントロダクションー社会調査の目的と意義  2. 社会調査とはなにか1ー社会調査史  3. 社会調査とはなにか2ー社会とのかかわりと調査目的による分類  4. 日本における官公庁統計  5. 社会調査のプロセスー構想からデータ管理まで  6. 問題関心と仮説の設定  7. 量的調査1ー量的調査の種類と特徴  8. 量的調査2ー量的調査の実施プロセス  9. 質的調査1ー質的調査とはなにか  10. 質的調査2ー質的調査の種類と特徴  11. 質的調査3ー質的調査の実施プロセス  12. 調査倫理と社会調査の諸問題  13. 講義のまとめ</p>			

科目名	社会調査法	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	大淵 裕美		
<p>[ 成績評価方法 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題・小テスト(60%)</li> <li>・定期試験(40%)</li> </ul> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業課題は、確認して次回授業時に共有します。</li> <li>・授業時にmanabafにて実施する小テストは、自動採点時に解答・解説が閲覧できるように設定します。</li> <li>・試験後、解答の解説を行います。</li> </ul> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。 成績評価方法:課題・小テスト・定期試験</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法:課題・小テスト・定期試験</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的技能により解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。 成績評価方法:課題・小テスト・定期試験</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:課題・小テスト・定期試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:課題・小テスト・定期試験</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]</p>			

科目名	住居計画学	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	梶木 典子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[ 到達目標 ]

住居に関する基礎的な知識を習得できる。  
 快適な住環境の条件について理解できる。  
 住居計画や設計を行うための基本的なスキルを習得できる。

[ 授業概要 ]

豊かな生活は、人々が住む建物の周辺ばかりでなく、その地域(都市、農山村)が健康的で、安全性が確保され、より快適に暮らせるように計画された居住環境が整えられてはじめて実現できるといえる。本講義では、人間と自然環境の関係、より快適な住まい環境を実現するための設備機器、快適な人工環境による居住空間から生まれた新たな問題の発生、高齢化社会に対応するための環境要因、人工環境から環境共生に視点が向けられている現状など、住まいに関わる事柄を包括的に論じる。

[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]

各回の授業についての予習・復習4時間程度。  
 住まいに関する文献を読んだり講演会を聞きに行ったり、国内外の住まいの事例を見に各地へ出かけ、住まい・暮らしへの関心を深めるようにする。

[ 授業計画 ]

1. 住居計画学について、住まいとは
2. 住まいの歴史・間取りの変遷
3. 現代のライフスタイルと住まい
4. 人間工学・人体寸法
5. 人間工学・人間の行動特性
6. 西洋のインテリアの歴史
7. 西洋のインテリアの歴史:近代以降
8. 気候と暮らし、災害と暮らし
9. 住教育と自然災害
10. 住まいの管理
11. 住まいと環境:温熱環境・空気環境・視環境・音環境
12. 住まいの材料と構造
13. 設計:製図の基本
14. 設計:平面図の描き方

科目名	住居計画学	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	梶木 典子		
<p>[ 成績評価方法 ] 授業中の小課題(40%)および小試験(50%)、製図(10%)で評価します。</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 試験終了後に、適宜解説を行う。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ] 学科DP番号/DP内容:家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。 成績評価方法:授業中の小課題(40%)および小試験(50%)、製図(10%)で評価します。</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ] 教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:授業中の小課題(40%)および小試験(50%)、製図(10%)で評価します。 教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:授業中の小課題(40%)および小試験(50%)、製図(10%)で評価します。</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] 書籍名:住まいのデザイン 著者名:北村 薫子 出版社名:朝倉書店 ISBN:9784254630053</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] 書籍名:住まいの百科事典 著者名:一般社団法人 日本家政学会 出版社名:丸善出版 ISBN:9784621305812</p>			

科目名	住空間設計実習	前期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	梶木 典子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ] 生活に対応した住宅設計の基礎を、課題として提示した平面図の作成と模型製作を通して具体的に理解する。</p> <p>[ 授業概要 ] 生活は、そこに住む人のライフステージ、家族構成、趣味や生活スタイルによって大きく変わる。その生活を入れる器である住居について、住む人に合わせた住居を設計することが大切である。本授業では、その設計を平面図、展開図で表し、あわせてその内容を模型で表現することを学ぶ。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ] 平面図・断面図・展開図を読み取れるようになっておくこと。住宅設計の事例を学んでおくこと。 授業の前後に各回2時間程度の学習を要する。</p> <p>[ 授業計画 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業の趣旨説明、住居設計の考え方、各室設計をする際の要点</li> <li>2. 設定した家族の住宅設計①(家づくりシート)</li> <li>3. 設定した家族の住宅設計②(家づくりコンセプト、イメージ、ゾーニング)</li> <li>4. 設定した家族の住宅設計③(平面図)</li> <li>5. 設定した家族の住宅設計④(平面図)</li> <li>6. 設定した家族の住宅設計⑤(平面図、プランニングボードの完成)</li> <li>7. 室内模型作製①(模型作製の基礎)</li> <li>8. 室内模型作製②(躯体)</li> <li>9. 室内模型作製③(躯体、家具)</li> <li>10. 室内模型作製④(家具)</li> <li>11. 室内模型作製⑤(家具)</li> <li>12. 室内模型作製⑥(家具、組み立て)</li> <li>13. プレゼンテーション、講評</li> </ol>			

科目名	住空間設計実習	前期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	梶木 典子		
<p>[ 成績評価方法 ] 提出された図面と模型 (80%)、プレゼンテーション内容 (20%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] プレゼンテーションにおいて作品の講評を行う。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。 成績評価方法:提出された図面と模型 (80%)、プレゼンテーション内容 (20%)</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-3/個人、家族、コミュニティ、福祉の視点から、より質の高い生活のありようを提案するためのコミュニケーション能力をもっている。 成績評価方法:提出された図面と模型 (80%)、プレゼンテーション内容 (20%)</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-1/社会変化に追隨して受動的になりがちな生活の問題点を指摘し、個人や家族の価値を堅持し、主体的で創造的な生活の実現を目指す意欲や実践力がある。 成績評価方法:提出された図面と模型 (80%)、プレゼンテーション内容 (20%)</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:提出された図面と模型 (80%)、プレゼンテーション内容 (20%)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:提出された図面と模型 (80%)、プレゼンテーション内容 (20%)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:提出された図面と模型 (80%)、プレゼンテーション内容 (20%)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:提出された図面と模型 (80%)、プレゼンテーション内容 (20%)</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ] 書籍名:一生使えるサイズ事典 住宅のリアル寸法 完全版 著者名: 出版社名:エクスナレッジ ISBN:9784767829784</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ]</p>			

科目名	住生活文化論	前期	2 単位
サブタイトル	日本と世界の住宅とくらし	講義	
担当者	梶木 典子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 世界と日本の住生活の多様性と歴史的展開を、生活文化のあり様に即して理解し、説明ができる。また、住まいのかたちが生活様式、ひいては社会を作り出しているありようも説明できる。</p> <p>[授業概要] 世界と日本の住まいの多様な拡がりや歴史的展開について、生活文化のあり様と対応させて住まいのかたちを学んでいく。また、身近な住まいについても生活様式の器としてあることを理解できるようにする方法論を学ぶ。さらに、現代における課題や将来に向けての展望についても幅広く考察し、今後の家政学科における学修の基礎的な知見を備える。また、理解を深めるために学外での見学を行う場合がある。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 日頃から世界や日本各地の住まいと生活のさまについて、関心を持っておくこと。図書館などで住まいにかかわる図録や写真集を見て知識を増やし、自身の生まれたところや旅先の住まいと生活についてどのようなものか意識して考えておくこと。各回、予習復習合わせて4時間程度します。</p> <p>[授業計画] 1.住まいとは 2.住まいの種類 3.住まいの多様性と地域性1&lt;世界の住まい&gt; 4.住まいの多様性と地域性2&lt;日本の住まい&gt; 5.原始時代の暮らし&lt;竪穴住居&gt;&lt;高床建物&gt;&lt;平地住居&gt; 6.古代の住まいと暮らし&lt;寝殿造&gt; 7.中世の住宅とその暮らし&lt;主殿造&gt;&lt;書院造&gt; 8.近世の住宅とその暮らし&lt;武家住宅&gt;&lt;町家&gt;&lt;農家&gt; 9.近代の住宅とその暮らし&lt;サラリーマンの住宅&gt;&lt;田園都市&gt;&lt;集合住宅&gt; 10.現代の住宅とその暮らし1&lt;住まいの機能と計画&gt; 11.現代の住宅とその暮らし2&lt;住まいの空間構成&gt; 12.現代の住宅とその暮らし3&lt;生活に対応した住まい&gt; 13.地域生活と住まい(社会環境と住居)と住生活文化論のまとめ</p>			

科目名	住生活文化論	前期	2 単位
サブタイトル	日本と世界の住宅とくらし	講義	
担当者	梶木 典子		
<p>[ 成績評価方法 ]  試験(60%)、レポート(40%)  試験とレポートについては、実施後に適宜解説を行います。</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  課題については授業中に紹介するなどして、適宜フィードバックをします。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-1/生活の質の向上と人類の福祉に貢献するための家政学の目的と意義を理解している。  成績評価方法:試験(60%)、レポート(40%)</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。  成績評価方法:試験(60%)、レポート(40%)</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-1/社会全体の発展やグローバルな問題について、生活に基盤を置く地道な視点で考察することができる。  成績評価方法:試験(60%)、レポート(40%)</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢  成績評価方法:試験(60%)、レポート(40%)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力  成績評価方法:試験(60%)、レポート(40%)</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]</p>			

S70080 [ HHH1-002 ]

科目名	食生活文化論	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	安原 美帆		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	○
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 食生活における文化面(人文・社会的側面)を学び、食の多様性を理解することをめざします。</p> <p>[授業概要] 食を人文・社会的側面から学び、食生活における文化の役割と価値を理解し、食の多様性を尊重できる力を養うことを目的として講義します。そして、自身の食への取り組みに結びつけて考察し、説明できる能力を養います。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 毎回の授業内容をよく理解しておいてください。特に、新しく学んだ用語や名称は、整理してまとめておいてください。各回の授業についての予習・復習を行うこと(各回、予習・復習合わせて4時間程度)。</p> <p>[授業計画] 1. 食生活と生活文化 2. 日本の食生活の変遷(1)古代から現代 3. 日本の食生活の変遷(2)食物選択の影響 4. 世界の食生活(1)世界の主食類型 5. 世界の食生活(2)世界の食事文化 6. 日本の食の多様性(1)小麦の利用と応用 7. 日本の食の多様性(2)和食(Washoku) 8. 日本の食の多様性(3)菓子からスイーツへの展開 9. 日本の食の多様性(4)飲み物の多様性 10. 食生活の道具(食具と食器) 11. 食生活と伝統文化(1)行事食(ハレの食) 12. 食生活と伝統文化(2)郷土食と郷土料理 13. 食のブランド化</p>			

科目名	食生活文化論	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	安原 美帆		
<p>[ 成績評価方法 ] 小テスト(40%)、課題発表(20%)、レポート(40%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 小テストは回収後、模範解答を配布またはmanabalに掲載します。 レポートは、後日添削して返却します。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法:小テスト、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-3/個人、家族、コミュニティ、福祉の視点から、より質の高い生活のありようを提案するためのコミュニケーション能力をもっている。 成績評価方法:課題発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-2/よりよい生活の実現に向けて、他者の多様な価値観を理解して尊重し、円満な人間関係を基盤に人々と協調・協働できる。 成績評価方法:小テスト、レポート</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:課題発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:小テスト、レポート</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] 書籍名:プリントを配布 著者名:なし 出版社名:なし ISBN:なし</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] 書籍名:改定 食生活論 著者名:川端晶子他 出版社名:建帛社 ISBN:978-4-7679-0237-1 書籍名:秘められた和食史 著者名:カタジーナ・チフィエルトカ&amp;安原美帆 出版社名:新泉社 ISBN:978-4-7877-1601-1 書籍名:Branding Japanese Food: From Meibutsu to Washoku (Food in Asia and the Pacific) 著者名:Katarzyna J.Cwierka with Yasuhara Miho 出版社名:University of Hawaii Press ISBN:978-0824881221</p>			

S70020 [ HHS1-004 ]

科目名	食品学総論	前期	2 単位
サブタイトル	食と健康	講義	
担当者	細見 和子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 食品の本質について理解し、基礎知識を習得することにより、心身ともに健康な生活が実践できるようになることを目指します。</p> <p>[授業概要] 科学技術や流通機構の発展により、手に入る食品の種類や量は今日非常に増加しており、豊かで健康な食生活を送るために、食品に関する正確な知識を持つことが重要になってきています。そこで、この食品学総論では、食品がどのような成分からできているか、栄養とのかかわりはどうか、食品の物性など食品の品質と食品成分との関わりはどうか、また、調理、加工、保存中にこれら食品成分がどのように変化するかなど、食品の本質について学びます。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 「食品」に関連する情報に関心を持ち、資料として集積しておいてください。 講義内容の指定箇所の復習や次の授業の質問事項を考えておいてください。 各回講義について予習・復習を行うこと(各回、予習・復習合わせて4時間程度)。</p> <p>[授業計画] 1. 人間と食品(食生活、食文化、健康、食料と環境) 2. 食品の成分(水分、炭水化物、たんぱく質、脂質) 3. 食品の分類(植物性食品 穀類・いも類・豆类・種実類) 4. 食品の分類(動物性食品 食肉類・魚介類・卵類・乳類) 5. 食品の成分(無機質・ビタミン) 6. 食品の分類(植物性食品 野菜類・果実類・きのこ類・藻類) 7. 食品の分類(微生物利用食品) 8. 食品の分類(調味料、香辛料、嗜好飲料) 9. 食品の嗜好成分、物性 10. 食品成分の変化 11. 食品の機能性 12. 理解度確認テスト 13. 食品を取りまく現状について(課題レポート) * 講義の順序は進行状況により変更することがあります。</p>			

科目名	食品学総論	前期	2 単位
サブタイトル	食と健康	講義	
担当者	細見 和子		

[ 成績評価方法 ]

課題レポート30%、理解度確認テスト70%で評価します。

[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]

後日、解説を行います。

[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ メールアドレス ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]

学科DP番号/DP内容:家政1-1/生活の質の向上と人類の福祉に貢献するための家政学の目的と意義を理解している。

成績評価方法:課題レポート

学科DP番号/DP内容:家政2-1/社会全体の発展やグローバルな問題について、生活に基盤を置く地道な視点で考察することができる。

成績評価方法:課題レポート、理解度確認テスト

[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容\_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力

成績評価方法:課題レポート、理解度確認テスト

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容\_:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力

成績評価方法:課題レポート

[ 教科書(ISBN) ]

書籍名:三訂 マスター食品学 I 著者名:小関 正道 出版社名:建帛社 ISBN:9784767907482

[ 参考書(ISBN) ]

書籍名:最新食品学—総論・各論— 著者名:甲斐達男・石川洋哉 出版社名:講談社 ISBN:978-4-06-522469-4

科目名	生活科学基礎演習	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	谷 明日香		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[ 到達目標 ]

家政学を学ぶ上で最低限必要な科学的な考え方を体得することを目標とする。

[ 授業概要 ]

生活を取り巻く事象を科学的な視点で捉え、原理を理解する能力を養う。また、水・溶液・洗浄・染色・繊維の製造などの演習を通して、問いをたて、得られた結果から論考する力を修得する。演習は、4～5人のグループを組んで実施し、各自レポートを提出する。

[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]

- ・授業までに実施する項目を精読し、実験目的や方法を理解しておいてください。
- ・項目ごとに提出するレポートは、次回までの授業時間までに仕上げてください。

[ 授業計画 ]

1. 容積の測定、質量の測定
2. 水・溶液の性質
3. 界面張力について
4. せっけんの合成
5. 洗剤と洗浄力測定
6. 糊付けおよび柔軟仕上げ
7. しみ抜き
8. 草木染めによる染色
9. インジゴによる染色: 試料準備(絞り染め)
10. インジゴによる染色: 染色
11. 繊維の製造1: キュプラの紡糸
12. 繊維の製造2: ナイロンの合成
13. まとめ

科目名	生活科学基礎演習	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	谷 明日香		
<p>[ 成績評価方法 ]  授業への参加および態度(20%)・レポートの提出(50%)・小テスト(30%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  提出されたレポートへのフィードバック</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。  成績評価方法:上記、成績評価方法による。</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的スキルにより解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による。</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-3/責任ある消費者市民として環境問題や人権問題に配慮した消費者行動ができ、啓発活動や企業活動に参画することができる。  成績評価方法:上記、成績評価方法による。</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力  成績評価方法:上記、成績評価方法による。</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]  書籍名:衣服管理の科学 著者名:片山倫子 出版社名:建帛社 ISBN:978-4-7679-1048-2  書籍名:被服管理学 著者名:増子富美 出版社名:朝倉書店 ISBN:978-4-254-60632-4</p>			

S70101 [ HHI1-007 ]

科目名	生活環境学	後期	2 単位
サブタイトル	環境とエネルギーそして社会のあり方	講義	
担当者	貝増 匡俊		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	○
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境やエネルギーに関する知識が増えていく。(家政2-1、家政3-3)</li> <li>・環境とエネルギーが関連付けられ、これからの私たちの生活がどのようにすべきなのかについて多面的に考えることができるようになる。(家政3-2)</li> <li>・コモンズなどの概念を実際の事例に適用して考えることができようになる。(家政3-3)</li> </ul> <p>[授業概要]</p> <p>国際協力でインフラ開発の案件に関わり、環境アセスメントの実務を経験し、現在、JICA環境社会配慮助言委員会の委員でもある教員が環境について指導します。</p> <p>私たちの生活では社会的・経済的な活動を行うために資源やエネルギーを使っており、必要不可欠な財です。しかし、1990年に入り、地球の温暖化(気候変動)による異常気象などが頻繁に起こるようになり、環境面を考慮した持続可能な(サステナブル)な資源やエネルギーの利用を行っていく必要が出てきました。パリ協定などに見られるように世界的に温室効果ガスの排出量を削減するなどの動きが見られるので、私たちの生活にも大きな影響を与えています。本授業では、環境、資源やエネルギーの利用、エネルギー政策及び資源・エネルギーに関する諸問題について議論するための基礎的知識を学んでいきます。その上で、資源・エネルギーの利用に関する現状と持続可能な社会における資源・エネルギーの選択・利用のあり方について考えていきます。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>レジュメ及び資料は事前配布するので、授業前には必ず読んでおいて下さい。また専門用語も多いことから、予習でわからない用語があれば事前に調べておいて下さい。授業後は一度は振り返りの復習は必ずして下さい。(予習、復習、宿題を含めて毎回4時間程度)</p> <p>[授業計画]</p> <p>第1回:身の回りの環境(イントロダクション)</p> <p>第2回:コモンズとは(反転授業)</p> <p>第3回:コモンズの悲劇(反転授業)</p> <p>第4回:気候変動(温暖化)(1)</p> <p>第5回:気候変動(温暖化)(2) ~世界のトレンド(京都議定書、パリ協定)~</p> <p>第6回:神戸市の環境政策(神戸市環境マスタープラン)</p> <p>第7回:気候変動(電力政策(3S+E))</p> <p>第8回:気候変動(省エネ・再生可能エネルギー)</p> <p>第9回:循環型社会(廃棄物)(1)</p> <p>第10回:循環型社会(廃棄物)(2)</p> <p>第11回:生物多様性&amp;アパレル産業と環境問題</p> <p>第12回:企業や大学の環境会計</p> <p>第13回:まとめ</p>			

科目名	生活環境学	後期	2 単位
サブタイトル	環境とエネルギーそして社会のあり方	講義	
担当者	貝増 匡俊		

[ 成績評価方法 ]

宿題 2回(40%)、manabaへの書き込み(授業での貢献度)(10%)、試験(50%)

[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]

宿題は返却します。  
試験後、解答の解説を行います。

[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ メールアドレス ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]

学科DP番号/DP内容:家政1-1/生活の質の向上と人類の福祉に貢献するための家政学の目的と意義を理解している。  
成績評価方法:授業での貢献度

学科DP番号/DP内容:家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。  
成績評価方法:宿題、試験

学科DP番号/DP内容:家政2-1/社会全体の発展やグローバルな問題について、生活に基盤を置く地道な視点で考察することができる。  
成績評価方法:宿題、授業での貢献度、試験

学科DP番号/DP内容:家政3-2/よりよい生活の実現に向けて、他者の多様な価値観を理解して尊重し、円満な人間関係を基盤に人々と協調・協働できる。  
成績評価方法:宿題、授業での貢献度、試験

学科DP番号/DP内容:家政3-3/責任ある消費者市民として環境問題や人権問題に配慮した消費者行動ができ、啓発活動や企業活動に参画することができる。  
成績評価方法:宿題、授業での貢献度、試験

[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容\_: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢  
成績評価方法:宿題、授業での貢献度

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容\_: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢  
成績評価方法:宿題、授業での貢献度、試験

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容\_: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢  
成績評価方法:宿題、授業での貢献度、試験

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容\_: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  
成績評価方法:宿題、授業での貢献度、試験

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容\_: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力  
成績評価方法:宿題、試験

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容\_: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力  
成績評価方法:宿題、授業での貢献度、試験

[ 教科書(ISBN) ]

[ 参考書(ISBN) ]

科目名	生活環境学	後期	2 単位
サブタイトル	環境とエネルギーそして社会のあり方	講義	
担当者	貝増 匡俊		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	○
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境やエネルギーに関する知識が増えていく。</li> <li>・環境とエネルギーが関連付けられ、これからの私たちの生活がどのようにすべきなのかについて多面的に考えることができるようになる。</li> <li>・commonsなどの概念を実際の事例に適用して考えることができるようになる。</li> </ul> <p>[授業概要]</p> <p>国際協力でインフラ開発の案件に関わり、環境アセスメントの実務を経験し、現在、JICA環境社会配慮助言委員会の委員でもある教員が環境について指導します。</p> <p>私たちの生活では社会的・経済的な活動を行うために資源やエネルギーを使っており、必要不可欠な財です。しかし、1990年に入り、地球の温暖化(気候変動)による異常気象などが頻繁に起こるようになり、環境面を考慮した持続可能な(サステイナブル)な資源やエネルギーの利用を行っていく必要が出てきました。パリ協定などに見られるように世界的に温室効果ガスの排出量を削減するなどの動きが見られるので、私たちの生活にも大きな影響を与えています。本授業では、環境、資源やエネルギーの利用、エネルギー政策及び資源・エネルギーに関する諸問題について議論するための基礎的知識を学んでいきます。その上で、資源・エネルギーの利用に関する現状と持続可能な社会における資源・エネルギーの選択・利用のあり方について考えていきます。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>レジュメ及び資料は事前配布するので、授業前には必ず読んでおいて下さい。また専門用語も多いことから、予習でわからない用語があれば事前に調べておいて下さい。授業後は一度は振り返りの復習は必ずして下さい。(予習、復習、宿題を含めて毎回4時間程度)</p> <p>[授業計画]</p> <p>第1回::身の回りの環境(イントロダクション)</p> <p>第2回::commonsとは(反転授業)</p> <p>第3回::commonsの悲劇(反転授業)</p> <p>第4回:気候変動(温暖化)(1)</p> <p>第5回:気候変動(温暖化)(2)～世界のトレンド(京都議定書、パリ協定)～</p> <p>第6回:神戸市の環境政策(神戸市環境マスタープラン)</p> <p>第7回:気候変動(電力政策(3S+E))</p> <p>第8回:気候変動(省エネ・再生可能エネルギー)</p> <p>第9回:循環型社会(廃棄物)(1)</p> <p>第10回:循環型社会(廃棄物)(2)</p> <p>第11回:生物多様性&amp;アパレル産業と環境問題</p> <p>第12回:企業や大学の環境会計</p> <p>第13回:まとめ</p>			

科目名	生活環境学	後期	2 単位
サブタイトル	環境とエネルギーそして社会のあり方	講義	
担当者	貝増 匡俊		
<p>[ 成績評価方法 ] 宿題 2回(40%)、manabaへの書き込み(授業での貢献度)(10%)、試験(50%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 宿題は返却します。 試験後、解答の解説を行います。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 宿題、授業での貢献度</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 宿題、授業での貢献度、試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 宿題、授業での貢献度、試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 宿題、授業での貢献度、試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 宿題、試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容: 問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 宿題、授業での貢献度、試験</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]</p>			

科目名	生活経営学	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	ガンガ 伸子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]  生活を経営(マネジメント)することの意味を理解できるようになる。  家族関係と生活経済に関する基礎的内容を理解できるようになる。</p> <p>[授業概要]  私たちは、ヒト、モノ、ココロ、時間などの生活資源をもっており、それらを活用して幸福な生活を送りたいと願っている。本授業では、社会とのかかわり中で、生活をマネジメントするというのはどういうことかを考えていく。具体的には、家族・家庭や個人のあり方、生活経済のしくみ、さらにリスクや生活保障に関する内容を学習することから、生活経営の課題について解説する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]  各回の授業についての予習・復習4時間程度。  生活経営の内容は、家族、家庭、生活経済、生活保障等多岐にわたる。日ごろから、生活経営に関する話題に関心をもつこと。</p> <p>[授業計画]  1. イントロダクション、家族を考える:変容する家族  2. 家族を考える:ゆるる男女の役割と家族、これからの家族を考える  3. 女性の就労  4. 国民経済の中の家計  5. 家計のしくみ  6. ライフステージの各段階での家計  7. 現在と将来の生活バランス  8. 社会の変化と家庭経済の変容  9. 消費社会を生きる(消費者問題の現在、コンシューマリズムの確立と消費者の権利)  10. 消費社会を生きる(消費者の行動と消費者主権:市場経済と消費者主権、購入と消費者行動)  11. 生活におけるリスクと生活保障「学外特別講師」(予定)  12. 子どもと育つ  13. 老いを生きる、まとめ</p>			

科目名	生活経営学	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	ガンガ 伸子		
<p>[ 成績評価方法 ]  30分以上の遅刻は欠席とみなす。  授業時における小テストと課題評価(30%)、定期試験(70%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  授業時に、小テストと課題のポイントを解説する。  定期試験は授業時の解説をもとに、自己採点すること。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-1/生活の質の向上と人類の福祉に貢献するための家政学の目的と意義を理解している。  成績評価方法:授業時における小テスト・課題および定期試験により総合的に評価する。</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。  成績評価方法:授業時における小テスト・課題および定期試験により総合的に評価する。</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。  成績評価方法:授業時における小テスト・課題および定期試験により総合的に評価する。</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-1/社会全体の発展やグローバルな問題について、生活に基盤を置く地道な視点で考察することができる。  成績評価方法:授業時における小テスト・課題および定期試験により総合的に評価する。</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-3/個人、家族、コミュニティ、福祉の視点から、より質の高い生活のありようを提案するためのコミュニケーション能力をもっている。  成績評価方法:授業時における小テスト・課題および定期試験により総合的に評価する。</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-1/社会変化に追隨して受動的になりがちな生活の問題点を指摘し、個人や家族の価値を堅持し、主体的で創造的な生活の実現を目指す意欲や実践力がある。  成績評価方法:授業時における小テスト・課題および定期試験により総合的に評価する。</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-2/よりよい生活の実現に向けて、他者の多様な価値観を理解して尊重し、円満な人間関係を基盤に人々と協調・協働できる。  成績評価方法:授業時における小テスト・課題および定期試験により総合的に評価する。</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-3/責任ある消費者市民として環境問題や人権問題に配慮した消費者行動ができ、啓発活動や企業活動に参画することができる。  成績評価方法:授業時における小テスト・課題および定期試験により総合的に評価する。</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢  成績評価方法:授業時における小テスト・課題および定期試験により総合的に評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力  成績評価方法:授業時における小テスト・課題および定期試験により総合的に評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力  成績評価方法:授業時における小テスト・課題および定期試験により総合的に評価する。</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]</p>			

S70070 [ HHS1-001 ]

科目名	生活経済学	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	ガンガ 伸子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]          経済社会の中で個人や家族の位置づけ、家計のしくみを理解し、家計や消費者に関する経済学の基礎概念を習得できるようになる。また、家計に関する統計資料の解析ができ、家計の実態や課題をみつけるための手法も身につけるようになる。さらに、現状を踏まえ社会とのかかわりにおいて、家計の課題について考えることができるようになる。</p> <p>[授業概要]          はじめに、家計に関する経済学の基礎概念について学ぶ。次に、経済社会における生活者や家計の役割、家計や消費者に関する経済学の基礎理論について理解し、統計資料の読み取りから家計の実態を把握する。また、家計費分析を実際に行い、家計の実態や課題について考察できるような分析力を身につける。さらに、家計の時系列変化から、私たちの暮らしがどのように変わってきたかを知り、将来はどのような方向に進むかについても考えてみる。自分自身の生活デザインのためにも、生活設計の考え方や手法についても学習する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]          「生活経営学」を履修していること。          各回の授業についての予習・復習4時間程度。          日々行っている経済活動について、関心をもってみること。          新聞等の経済ニュースを読むこと。</p> <p>[授業計画]          1. イントロダクション、生活の経済(生活経済の構造、国民経済と家計、ゆたかさを測る、生活の単位)          2. 消費者の行動(満足と効用の最大化)          3. 消費者の行動(無差別曲線)          4. 所得・価格に対する反応          5. 家計に関する基礎概念と家計調査(収入と支出)、家計に関する基礎概念と家計調査(フローとストック)、家計に関する基礎概念と家計調査(物価の変動-名目値と実質値-)、家計の統計(生活経営学の復習)          6. 家計にみるくらしの変化(収入の変化、支出の変化)          7. 家計にみるくらしの変化(平均消費性向の推移、ストックの変化)          8. 生活の設計とリスク          9. 賃金と所得格差・貧困、家計にみる地域差          10. 消費社会と家計-消費行動          11. 消費社会と家計問題          12. 生活と金融          13. まとめ</p>			

科目名	生活経済学	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	ガンガ 伸子		
<p>[ 成績評価方法 ] 30分以上の遅刻は欠席とみなす。 授業時の小テストと課題評価(30%)、定期試験(70%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 授業時の小テストと課題については、授業時間内に解答のポイントを解説する。 定期試験は授業時の解説をもとに、自己採点すること。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-1/生活の質の向上と人類の福祉に貢献するための家政学の目的と意義を理解している。 成績評価方法:授業時における小テスト・課題および定期試験により総合的に評価する。</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。 成績評価方法:授業時における小テスト・課題および定期試験により総合的に評価する。</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法:授業時における小テスト・課題および定期試験により総合的に評価する。</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-1/社会全体の発展やグローバルな問題について、生活に基盤を置く地道な視点で考察することができる。 成績評価方法:授業時における小テスト・課題および定期試験により総合的に評価する。</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的スキルにより解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。 成績評価方法:授業時における小テスト・課題および定期試験により総合的に評価する。</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-1/社会変化に追従して受動的になりがちな生活の問題点を指摘し、個人や家族の価値を堅持し、主体的で創造的な生活の実現を目指す意欲や実践力がある。 成績評価方法:授業時における小テスト・課題および定期試験により総合的に評価する。</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-2/よりよい生活の実現に向けて、他者の多様な価値観を理解して尊重し、円満な人間関係を基盤に人々と協調・協働できる。 成績評価方法:授業時における小テスト・課題および定期試験により総合的に評価する。</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-3/責任ある消費者市民として環境問題や人権問題に配慮した消費者行動ができ、啓発活動や企業活動に参画することができる。 成績評価方法:授業時における小テスト・課題および定期試験により総合的に評価する。</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:授業時における小テスト・課題および定期試験により総合的に評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:授業時における小テスト・課題および定期試験により総合的に評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:授業時における小テスト・課題および定期試験により総合的に評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:授業時における小テスト・課題および定期試験により総合的に評価する。</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] 書籍名:改訂新版 生活経済学 著者名:重川純子 出版社名:NHK出版 ISBN:978-4595321962</p>			

S73100 [ HHS2-005 ]

科目名	生活材料学	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	谷 明日香		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他	授業内小テストとそのディスカッション	実務経験のある教員による授業	

[ 到達目標 ]

本授業では、人の暮らしとともにある生活材料について科学的な視点で捉え、生活の質向上(QOL)や社会的課題や環境問題の改善に向けて探究する力を養うことを目標とする。

[ 授業概要 ]

私たちの生活は、科学の発展により便利で快適になりました。しかし、大量生産・大量消費の波は、大量廃棄を生み出し、環境への影響が問題視されています。身の回りの素材の構造やその特性について理解することは、モノの正しい活用や管理、廃棄や循環方法を知り、工夫する思考を養うことにつながります。本授業では、衣食住に関連する生活材料に焦点を当て、素材の構造や特性を学びます。また、Society 5.0に向かう社会の中で変わりゆく生活を想像し、科学的視点から社会課題や環境問題、自然災害への備えについて考えていきます。

[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]

日常より暮らしの中にある科学に関心を持ち、着目しておきましょう。

[ 授業計画 ]

1. 生活材料の概説
2. 衣生活材料(天然繊維)
3. 衣生活材料(再生繊維)
4. 衣生活材料(合成繊維)
5. 住生活材料(木材)
6. 住生活材料(プラスチック)
7. 住生活材料(金属)
8. 食生活材料(脂質)
9. 食生活材料(炭水化物)
10. 食生活材料(タンパク質)
11. 生活材料と環境問題
12. 災害時に役立つ生活材料
13. まとめ

科目名	生活材料学	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	谷 明日香		
<p>[ 成績評価方法 ]  まとめテストやレポートなどの提出物にて、課題に関する理解度や知識の定着度をみます。  ・まとめテスト(40点)、レポート(20点)</p> <p>授業に対する意欲は、以下の基準にて評価します。  ・授業内で実施する小テストやふりかえりシート(40点)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  ・特に多かった質問や視点の明確な感想は、次週の授業でフィードバックします。  ・授業の振り返りは、manabaの小テスト(自動採点機能)を用います。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。  成績評価方法:上記、成績評価方法による。</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的スキルにより解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。  成績評価方法:上記、成績評価方法による。</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-1/社会変化に追従して受動的になりがちな生活の問題点を指摘し、個人や家族の価値を堅持し、主体的で創造的な生活の実現を目指す意欲や実践力がある。  成績評価方法:上記、成績評価方法による。</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力  成績評価方法:上記、成績評価方法による。</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]</p>			

科目名	生活情報処理	後期	1 単位
サブタイトル	情報機器の操作と活用	演習	
担当者	大淵 裕美		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

・パソコンの基礎的な知識及び基本操作と情報処理、情報倫理などに関する学習を総合的に身につける。

[授業概要]

フィールドワークや現地調査に基づく論文、公的な統計や調査などの報告書が理解できるように、基礎的な統計を学ぶ。度数分布、クロス集計等の記述統計データやグラフの読み方、計算法や作成法を学ぶと共に基本的なまとめができるようになる。なお、この授業は、2023年度入学生までは、社会調査士資格科目のC科目に該当する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

・予習・復習を2時間程度行うこと。

[授業計画]

パソコンの基本操作

1. ガイダンス・パソコンの基本操作・タッチタイピング・電子メール、インターネットの仕組みと理論

レポート作成の技法

2. 文書作成(入力・編集・罫線・図形入力・総合)

データ収集と分析方法

3. 公式統計データの検索方法及び収集と読み方
4. 確率的な考え方・標本調査の基本
5. データの種類①(質的変数・量的変数)
6. データの種類②(尺度(名義・順序・間隔・比率))
7. グラフの作成(度数分布・バレット図・棒グラフ・折れ線グラフ)
8. データ(記述統計)の読み方①(平均値・中央値・最頻値)
9. データ(記述統計)の読み方②(分散・標準偏差とクロス集計)
10. データ(記述統計)の読み方③(クロス集計)
11. データ分析(相関関係)
12. データ分析(因果関係)
13. 本授業のまとめ

科目名	生活情報処理	後期	1 単位
サブタイトル	情報機器の操作と活用	演習	
担当者	大淵 裕美		

[ 成績評価方法 ]

授業内課題(70%)、レポート課題(30%)

[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]

レポートや課題については、個別に直接問題点等を指摘し改善を求めます。

[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ メールアドレス ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]

学科DP番号/DP内容: 家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的技能により解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。

成績評価方法: 課題 レポート

学科DP番号/DP内容: 家政3-3/責任ある消費者市民として環境問題や人権問題に配慮した消費者行動ができ、啓発活動や企業活動に参画することができる。

成績評価方法: 課題 レポート

[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容\_: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢

成績評価方法: 課題 レポート

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容\_: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力

成績評価方法: 課題 レポート

[ 教科書(ISBN) ]

[ 参考書(ISBN) ]

科目名	生活統計学	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	大淵 裕美		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[ 到達目標 ]

様々なデータをネットや書籍等から収集し、整理や管理ができるようなスキルを身につける。そして、そのデータから統計的手法を用いた基本的な分析ができるようになる。なお、本講義は社会調査士カリキュラム【D科目】に該当する。

[ 授業概要 ]

世の中は多種多様なデータで溢れている。身近なところでは学校の成績や摂取カロリー、スポーツの記録、テレビの視聴率等々。データの一つひとつは何の変哲もない数値だとしても、それらが集まることで意味を持ち、傾向や特性を読み取ることができる。私たちは、データを主観で捉えがちなので、様々な場面での判断基準を明確にするためには、客観性を伴った説得力のある分析が不可欠となる。統計学とは、そのために必要な手法や理論を学ぶ学問である。この授業では、主にHADを使いながら基本的な統計学を学習することに重きを置く。データの整理から始め、記述統計学、推測統計学、推定、仮説検定、相関分析、回帰分析と進めていく。

[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]

毎回の予習として、教科書の該当範囲を読み、分からないことをまとめておくこと(2時間程度)。  
日頃からExcelの操作に慣れるために、必ず前回の例題や課題を復習すること(2時間程度)。

[ 授業計画 ]

1. 度数分布とヒストグラム
2. 記述統計学の基礎(1) 代表値
3. 記述統計学の基礎(2) 分散と標準偏差
4. 推測統計学の基礎(1) 確率と確率変数、確率分布
5. 推測統計学の基礎(2) 母集団分布と標本分布、正規分布
6. 推定 点推定と区間推定
7. 仮説検定 平均と比率の検定
8. 相関分析(1) 相関係数とクロス集計表
9. 相関分析(2) 属性相関係数と独立性の検定
10. 回帰分析(1) 単回帰と決定係数
11. 回帰分析(2) 重回帰とt検定、F検定
12. 回帰分析(3) ダミー変数
13. 本授業のまとめ

科目名	生活統計学	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	大淵 裕美		
<p>[ 成績評価方法 ] 授業内課題(70%)、最終レポート(30%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 課題の提出と採点結果の提示にはmanabaを利用し、詳しい解説は次回授業冒頭で行う。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法: 授業内課題・最終レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 家政2-1/社会全体の発展やグローバルな問題について、生活に基盤を置く地道な視点で考察することができる。 成績評価方法: 授業内課題・最終レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的スキルにより解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。 成績評価方法: 授業内課題・最終レポート</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 授業内課題・最終レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 授業内課題・最終レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 授業内課題・最終レポート</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]</p>			

S70130 [ HHS2-006 ]

科目名	生活プロジェクト応用演習		後期	2 単位
サブタイトル			演習	
担当者	大淵 裕美			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	
ディスカッション・ディベート	○		グループワーク	
プレゼンテーション	○		実習、フィールドワーク	
その他			実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家族関係学分野に関する知識を活用し、それに関連する具体的なテーマを設定し、実証的な方法を用いて分析・考察することができる。</li> <li>・社会調査の全過程(企画、設計、実施、分析・考察、報告書作成)に関わることで、質的調査に必要な知識とスキルを獲得することができる。</li> </ul> <p>[授業概要]</p> <p>家族関係学分野に関する具体的な研究課題を設定し、質的調査の手法を用いて、調査の企画から報告書作成といった全過程を体系的に学習する。本授業では、家族関係学分野の中でも「大学生の生活文化と家族関係の影響」という共通テーマのもと、受講者の関心(生活文化の種類、文化的活動歴、文化的活動への時間的・金銭的投資度、家族の文化的活動の有無、生活文化の世代間伝達の程度、文化的活動への家族の理解度、居住地域と文化的活動拠点へのアクセスの程度など)に基づいて、問いを設定する。本学学生の生活文化と家族関係を多角的に把握することを念頭に置きつつ、調査の準備、企画・設計、実施、分析、考察、成果報告書の作成まで行う。なお、社会調査士資格のG科目に該当する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「社会調査法」「生活プロジェクト基礎演習」で学習した内容を復習しておくこと。</li> <li>・「大学生の趣味と家族関係」というテーマについて、自身の関心事を明確にしたうえで、授業に臨むこと。</li> <li>・予習・復習合わせて2時間程度行うこと。</li> </ul> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.イントロダクション／問題意識の明確化とブレインストーミング</li> <li>2.テーマの決定と先行研究の調査(1)／テーマの決定と先行研究の調査(2)</li> <li>3.仮説構成(1)／仮説構成(2)</li> <li>4.インタビューの設計(1)／インタビューの設計(2)</li> <li>5.インタビューの練習／インタビュー対象者の選定</li> <li>6.調査準備(1)／調査準備(2)</li> <li>7.調査要領・実施上の注意／調査実施(1)</li> <li>8.調査実施(2)／トランスクリプトの作成(1)</li> <li>9.トランスクリプトの作成(2)／インタビューデータ分析(1)</li> <li>10.分析結果の中間発表とディスカッション／インタビューデータ分析(2)</li> <li>11.考察(1)／考察の中間発表とディスカッション</li> <li>12.考察(2)／報告書原稿作成(1)</li> <li>13.報告書原稿作成(2)／報告書作成、総括</li> </ol>				

科目名	生活プロジェクト応用演習	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	大淵 裕美		
<p>[ 成績評価方法 ] 毎回の授業課題・プレゼンテーション・ディスカッション(40%)、最終レポート(60%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] ・課題、コメントシート、レポートは、提出後にフィードバックを行う。 ・プレゼンテーションは、実施直後にフィードバックを行う。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。 成績評価方法:課題・プレゼンテーション・ディスカッション・最終レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法:課題・プレゼンテーション・ディスカッション・最終レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-1/社会全体の発展やグローバルな問題について、生活に基盤を置く地道な視点で考察することができる。 成績評価方法:課題・プレゼンテーション・ディスカッション・最終レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的スキルにより解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。 成績評価方法:課題・プレゼンテーション・ディスカッション・最終レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-3/個人、家族、コミュニティ、福祉の視点から、より質の高い生活のありようを提案するためのコミュニケーション能力をもっている。 成績評価方法:課題・プレゼンテーション・ディスカッション・最終レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-1/社会変化に追従して受動的になりがちな生活の問題点を指摘し、個人や家族の価値を堅持し、主体的で創造的な生活の実現を目指す意欲や実践力がある。 成績評価方法:課題・プレゼンテーション・ディスカッション・最終レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-2/よりよい生活の実現に向けて、他者の多様な価値観を理解して尊重し、円満な人間関係を基盤に人々と協調・協働できる。 成績評価方法:課題・プレゼンテーション・ディスカッション・最終レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-3/責任ある消費者市民として環境問題や人権問題に配慮した消費者行動ができ、啓発活動や企業活動に参画することができる。 成績評価方法:課題・プレゼンテーション・ディスカッション・最終レポート</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:課題・プレゼンテーション・ディスカッション・最終レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:課題・プレゼンテーション・ディスカッション・最終レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:課題・プレゼンテーション・ディスカッション・最終レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:課題・プレゼンテーション・ディスカッション・最終レポート</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]</p>			

S73170 [ HHI3-018 ]

科目名	生活プロジェクト応用演習	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	貝増 匡俊		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>与えられた課題に対する理解が深まり、ロジカルな分析ができるようになる。</li> <li>具体的な解決策を複数考えることができるようになり、複眼的な視点から課題を考えることができるようになる。</li> <li>プロジェクトの計画立案手法が習得できるようになる。</li> <li>具体的な解決策や目標などを設定して作成した計画に基づき実行する実行力を身につけることができるようになる。</li> <li>グループワークを通して、チームワーク、リーダーシップやフォローシップ等が求められるため個々の倫理観、責任感などが強化されるようになる。</li> </ul> <p>[授業概要]</p> <p>プロジェクトサイクルマネジメント(PCM)手法を適用した数多くのプロジェクトを経験した教員が、デザイン思考やロジカルシンキングの手法を使った問題分析や計画作成について指導します。本演習ではこれまでの演習や社会調査法などで学んだ事を実践する場とし、履修生が主体的に演習を進めます。予め設定したテーマに沿って、問題分析、計画立案を行いながらプロジェクトを実施して、振り返りを行います。状況によっては学外で協働する場合があります。前半は分析手法として、①フィールドワークでの観察②SWOT分析③問題ツリー④関係者分析など生活プロジェクト論で学んだ手法を使って、計画立案します。後半は、提案したプロジェクトを実施します。最後にプロジェクトのモニタリング、評価を行います。なお、グループの中での役割、責任、コミュニケーションは重要になります。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>レポートなどがあり、宿題や調査文献を読んで事前事後に学習してください。事後はルーブリックを使って振り返りを行って下さい。授業外での作業が場合によりあります。(各回予習復習合わせて4時間程度)</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>ガイダンス</li> <li>テーマ設定</li> <li>目標設定</li> <li>学外研修事前学習(1)</li> <li>学外研修事前学習(2)</li> <li>フィールド調査(1)</li> <li>フィールド調査(2)</li> <li>フィールド調査のまとめ</li> <li>事例調査とSWOT分析</li> <li>関係者分析</li> <li>問題分析(1)</li> <li>問題分析(2)</li> <li>プロジェクト企画案</li> <li>中間発表の準備</li> <li>中間発表</li> <li>計画書作成</li> <li>関係者との調整</li> <li>グループ毎での活動1</li> <li>グループ毎での活動2</li> <li>グループ毎での活動3</li> <li>途中経過報告</li> <li>グループ毎での活動4</li> <li>グループ毎での活動5</li> <li>レポート・評価方法</li> <li>グループ報告書作成</li> <li>発表&amp;ふりかえりのレポート作成</li> </ol> <p>※進行状況を確認しながら、演習を進めるため内容に変更が生じることがあります。</p>			

科目名	生活プロジェクト応用演習	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	貝増 匡俊		
<p>[ 成績評価方法 ] manabaへの書き込み(40%)、最終レポート(グループ及び個人レポート)や発表用スライド(50%)、発表(10%)※</p> <p>※ルーブリックに基づく</p> <p>なお、グループワークを基本とするので欠席するとグループのメンバーの作業が増えるため、必ず出席すること。3回以上休むと単位は認められないこととします。また病気等で欠席した場合はかならず別日に教員に作業内容や課題の確認を行うこと。</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 提出物及び課題は返却します。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。 成績評価方法:manabaへの書き込み、グループ及び個人レポート、発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法:manabaへの書き込み、グループ及び個人レポート、発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-1/社会全体の発展やグローバルな問題について、生活に基盤を置く地道な視点で考察することができる。 成績評価方法:manabaへの書き込み、グループ及び個人レポート、発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的スキルにより解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。 成績評価方法:manabaへの書き込み、グループ及び個人レポート、発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-3/個人、家族、コミュニティ、福祉の視点から、より質の高い生活のありようを提案するためのコミュニケーション能力をもっている。 成績評価方法:manabaへの書き込み、グループ及び個人レポート、発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-1/社会変化に追従して受動的になりがちな生活の問題点を指摘し、個人や家族の価値を堅持し、主体的で創造的な生活の実現を目指す意欲や実践力がある。 成績評価方法:manabaへの書き込み、グループ及び個人レポート、発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-2/よりよい生活の実現に向けて、他者の多様な価値観を理解して尊重し、円満な人間関係を基盤に人々と協調・協働できる。 成績評価方法:manabaへの書き込み、グループ及び個人レポート、発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-3/責任ある消費者市民として環境問題や人権問題に配慮した消費者行動ができ、啓発活動や企業活動に参画することができる。 成績評価方法:manabaへの書き込み、グループ及び個人レポート、発表</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:manabaへの書き込み、グループ及び個人レポート、発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:manabaへの書き込み、グループ及び個人レポート、発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:manabaへの書き込み、グループ及び個人レポート、発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:manabaへの書き込み、グループ及び個人レポート、発表</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ]</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ]</p>			

科目名	生活プロジェクト応用演習	後期	2 単位
サブタイトル	生活経済学分野	演習	
担当者	ガンガ 伸子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[ 到達目標 ]

生活経済学の課題に関して、先行研究のサーベイ、公的資料等の分析、分析方法の選定と分析の実施、結果と考察ができるようになる。最後に、成果を発表し報告書にまとめることができるようになる。

[ 授業概要 ]

「生活プロジェクト基礎演習」(生活経済学分野)履修者を対象に、統計学を用いた生活経済学の分析手法に関して、応用的な内容の演習を行う。

[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]

「生活経済学」および「生活プロジェクト基礎演習」(生活経済学分野)を履修していること。  
 統計学の基礎を習得しておく。  
 コンピュータの操作に習熟しておく。  
 予習・復習5時間程度。

[ 授業計画 ]

1. イントロダクション
2. 生活経済に関わる課題
3. 先行研究のサーベイ
4. 資料分析①(家計の収入と支出)
5. 資料分析②(貯蓄と負債)
6. 中間発表
7. 家計費分析に関する分析方法①(相関分析、回帰分析)
8. 家計費分析に関する分析方法②(意思決定法)
9. 分析①(EXCELを用いた分析)
10. 分析②(SAS、JMPを用いた分析)
11. 結果と考察
12. まとめ
13. 発表

科目名	生活プロジェクト応用演習	後期	2 単位
サブタイトル	生活経済学分野	演習	
担当者	ガンガ 伸子		
<p>[ 成績評価方法 ] 30分以上の遅刻は欠席とみなす。 ディスカッション・プレゼンテーション(40%)、報告書作成(60%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 演習時にフィードバックする。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。 成績評価方法:授業時に課す課題、ディスカッション・プレゼンテーションより総合的に評価する。</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法:授業時に課す課題、ディスカッション・プレゼンテーションより総合的に評価する。</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-1/社会全体の発展やグローバルな問題について、生活に基盤を置く地道な視点で考察することができる。 成績評価方法:授業時に課す課題、ディスカッション・プレゼンテーションより総合的に評価する。</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的スキルにより解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。 成績評価方法:授業時に課す課題、ディスカッション・プレゼンテーションより総合的に評価する。</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-3/個人、家族、コミュニティ、福祉の視点から、より質の高い生活のありようを提案するためのコミュニケーション能力をもっている。 成績評価方法:授業時に課す課題、ディスカッション・プレゼンテーションより総合的に評価する。</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-1/社会変化に追隨して受動的になりがちな生活の問題点を指摘し、個人や家族の価値を堅持し、主体的で創造的な生活の実現を目指す意欲や実践力がある。 成績評価方法:授業時に課す課題、ディスカッション・プレゼンテーションより総合的に評価する。</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-2/よりよい生活の実現に向けて、他者の多様な価値観を理解して尊重し、円満な人間関係を基盤に人々と協調・協働できる。 成績評価方法:授業時に課す課題、ディスカッション・プレゼンテーションより総合的に評価する。</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-3/責任ある消費者市民として環境問題や人権問題に配慮した消費者行動ができ、啓発活動や企業活動に参画することができる。 成績評価方法:授業時に課す課題、ディスカッション・プレゼンテーションより総合的に評価する。</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:授業時に課す課題、ディスカッション・プレゼンテーションより総合的に評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:授業時に課す課題、ディスカッション・プレゼンテーションより総合的に評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:授業時に課す課題、ディスカッション・プレゼンテーションより総合的に評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:授業時に課す課題、ディスカッション・プレゼンテーションより総合的に評価する。</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]</p>			

科目名	生活プロジェクト基礎演習		前期	2 単位
サブタイトル			演習	
担当者	大淵 裕美			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	
ディスカッション・ディベート	○		グループワーク	
プレゼンテーション	○		実習、フィールドワーク	
その他			実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家族関係学分野に関する知識を活用し、それに関連する具体的な研究テーマを発見・設定し、実証するための基本的な方法を身に付けることができる。</li> <li>・社会調査によって資料やデータを収集し、分析しうる形にまで整理していく具体的な方法を習得することができる。</li> </ul> <p>[授業概要]</p> <p>本演習は、家族関係学分野の中でも「文化と家族」というテーマを事例としてとりあげながら、社会調査の企画・設計から実施までのプロセスと方法を具体的に学び、実際に調査を行うための知識と技能の基礎を習得することを目的とする。また、それらを通じて、社会科学によるものの見方・考え方を理解し、社会現象にアプローチするための視座を培うことを目指す。なお、本授業は社会調査士資格B科目・C科目に該当する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会調査法で学習した内容を復習しておくこと。</li> <li>・「文化と家族」というテーマについて、自身の関心事を明確にしたうえで、授業に臨むこと。</li> <li>・予習・復習合わせて2時間程度行うこと。</li> </ul> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.イントロダクション:社会調査の目的とプロセス/調査の企画と設計(1):調査企画のための準備―「文化と家族」に関する調査を計画してみよう</li> <li>2.調査の企画と設計(2):「問い」と仮説・仮説に応じた調査方法の決め方/調査の企画と設計(3):「文化と家族」に関する「問い」の検討・作成</li> <li>3.調査の企画と設計(4):「文化と家族」に関する先行研究の検討と既存統計資料の整理・収集/調査の企画と設計(5):「文化と家族」に関する仮説の検討・作成</li> <li>4.調査票の構成と作成(1)調査票の構成要素・質問文作成の留意点(ワーディング問題)/調査票の構成と作成(2)「文化と家族」に関する調査票の検討・作成</li> <li>5.量的調査での対象の選定(1):全数調査と標本調査/量的調査での対象の選定(2):サンプリングの考え方と方法</li> <li>6.量的調査の方法(1):調査の種類と方法/量的調査の方法(2):調査票の配布と回収方法(アンケートの実施)</li> <li>7.量的調査データの整理(1):エディティング/量的調査データの整理(2):コーディング</li> <li>8.量的調査データの整理(3):クリーニング/データの種類と分析の仕方(質的変数・量的変数・尺度)</li> <li>9.データ分析(1):度数分布表/データ分析(2):平均値・中央値・最頻値</li> <li>10.データ分析(3)分散と標準偏差/データ分析(4)散布度</li> <li>11.データ分析(5)クロス集計/データ分析(6)相関関係・相関分析・疑似相関</li> <li>12.データ分析(7)因果関係(回帰分析)/分析結果に基づくレポート作成(1)</li> <li>13.分析結果に基づくレポート作成(2)/本授業のまとめ</li> </ol>				

科目名	生活プロジェクト基礎演習	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	大淵 裕美		
<p>[ 成績評価方法 ] 毎回の授業課題・ディスカッション・プレゼンテーション(40%)、最終レポート(60%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] レポートおよび課題・コメントシートについては提出後にフィードバックする。 また、プレゼンテーションについては、プレゼンテーション終了後にその場でフィードバックする。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。 成績評価方法: 授業課題・ディスカッション・プレゼンテーション・最終レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法: 授業課題・ディスカッション・プレゼンテーション・最終レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的スキルにより解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。 成績評価方法: 授業課題・ディスカッション・プレゼンテーション・最終レポート</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 授業課題・ディスカッション・プレゼンテーション・最終レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 授業課題・ディスカッション・プレゼンテーション・最終レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 授業課題・ディスカッション・プレゼンテーション・最終レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 授業課題・ディスカッション・プレゼンテーション・最終レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: 授業課題・ディスカッション・プレゼンテーション・最終レポート</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]</p>			

科目名	生活プロジェクト基礎演習		前期	2 単位
サブタイトル			演習	
担当者	貝増 匡俊			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク		○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		○
その他		実務経験のある教員による授業		○
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループワークを通じて、課題発見力、情報収集・分析力を身につけることができるようになる。</li> <li>・具体的な解決策を複数考えることができるようになり、複眼的な視点から課題を考えることができるようになる。</li> <li>・プロジェクト設計手法を使って企画案の作り方を理解することができるようになる。</li> <li>・プロジェクトの目標が設定できるようになる。</li> <li>・プロジェクトの計画立案手法が習得できるようになる。</li> <li>・グループワークでの数多くの発表／討論の機会を通して、プレゼンテーション能力、質問力、異なる意見をもった人と対話するコミュニケーション力を身につけることができるようになる。</li> </ul> <p>[授業概要]</p> <p>プロジェクトサイクルマネジメント(PCM)手法を適用した数多くのプロジェクトを経験した教員が、デザイン思考やロジカルシンキングの手法を使った問題分析や計画作成について指導します。テーマに関連する分野全般を理解するために調査レポートをグループ単位で作成し、俯瞰的に理解を図ります。また、ペルソナ設定やカスタマージャーニーマップを作成し、課題改善のための本質的なニーズを明らかにする手法を実際に学んでいきます。学外でのフィールドワークを実施し、関連した事項に関する動画作成するとともにプレゼンテーションを行なっていきます。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>ワークブックを配布するので、予習として翌週の学習する箇所や授業後の振り返りをしてください。場合によっては授業外での作業等も生じます。(各回予習復習合わせて4時間程度)</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ガイダンス、グループ分け</li> <li>2. ガイダンス、グループ分け</li> <li>3. テーマ設定の決定</li> <li>4. テーマ設定の決定</li> <li>5. 各グループ内でテーマに沿ったレポート作成準備(1)</li> <li>6. 各グループ内でトピックに沿ったレポート作成準備(2)</li> <li>7. 各グループ内でトピックに沿ったレポート作成準備(3)及び学外研修事前学習</li> <li>8. 各グループ内でトピックに沿ったレポート作成準備(4)及び学外研修事前学習</li> <li>9. 学外研修事後学習</li> <li>10. 学外研修事後学習</li> <li>11. 学外研修</li> <li>12. 学外研修</li> <li>13. ペルソナの設定</li> <li>14. ペルソナの設定</li> <li>15. カスタマージャーニーマップ</li> <li>16. カスタマージャーニーマップ</li> <li>17. ストーリーを作る(1)</li> <li>18. ストーリーを作る(1)</li> <li>19. ストーリーを作る(2)</li> <li>20. ストーリーを作る(2)</li> <li>21. 動画作成準備</li> <li>22. 動画作成準備</li> <li>23. 動画作成</li> <li>24. 動画作成</li> <li>25. 演習成果の発表準備</li> <li>26. 総括:演習成果の発表</li> </ol> <p>なお、進行状況を確認しながら、演習を進めるため内容に変更が生じることがあります。</p>				

科目名	生活プロジェクト基礎演習	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	貝増 匡俊		
<p>[ 成績評価方法 ]  演習への取組態度(40%)、レポート(60%)※  ※ルーブリックに基づく</p> <p>なお、グループワークを基本とするので欠席するとグループのメンバーの作業が増えるため、必ず出席すること。3回以上休むと単位は認められないこととします。また病気等で欠席した場合はかならず別日に教員に作業内容や課題の確認を行うこと。</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  レポートは状況に応じて個別指導します。また最終的に提出を受けたレポートやプレゼンスライドは返却し解説します。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 家政1-2/ 家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。  成績評価方法: 演習への取組態度、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 家政1-3/ 人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。  成績評価方法: 演習への取組態度、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 家政2-2/ 社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的スキルにより解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。  成績評価方法: 演習への取組態度、レポート</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  成績評価方法: 演習への取組態度、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢  成績評価方法: 演習への取組態度、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力  成績評価方法: 演習への取組態度、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力  成績評価方法: 演習への取組態度、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力  成績評価方法: 演習への取組態度、レポート</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]</p>			

科目名	生活プロジェクト基礎演習	前期	2 単位
サブタイトル	生活経済学分野	演習	
担当者	ガンガ 伸子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

本演習の前半の目標は、生活経済学分野の課題に取り組むために、公的統計や簡単な調査報告・フィールドワーク論文が読めるための基本的知識を習得し、そうしたスキルを身につけることである。後半には、前半の演習で身につけたことを用いて家計の経済行動に関する分析を行うことができるようになる。

[授業概要]

本演習の前半では、公的統計や簡単な調査報告、さらにはフィールドワーク論文が読めるための基本的知識について学び、そうしたスキルを身につけるために、(1)単純集計、度数分布、代表値、クロス集計などの記述統計の読み方や算出方法、(2)グラフの読み方および特性、さらに作成の仕方、(3)質的データの読み方と基本的なまとめ方について学習する。また、相関係数などの基礎的統計概念だけでなく、「関係がある」とはどのような意味なのかなどについても学び、本演習の後半の本格的な家計の経済行動の分析に発展させていく。

本演習の後半では、意思決定法や計量経済学的手法を用いて、家計行動の分析を行う。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

「生活経済学」を履修していること。  
統計学の基礎を習得しておく。  
コンピュータの操作に習熟しておく。  
予習・復習5時間程度。

[授業計画]

1. イントロダクション、生活経済に関する基本的な資料とデータ分析について、公的統計資料収集とデータの読み方・利用のしかた
2. 記述統計データの読み方①:単純集計、度数分布と代表値(ヒストグラム)
3. 記述統計データの読み方②:平均値の見方(平均値、メジアン、モード)
4. 記述統計データの読み方③:データの散らばり(分散、標準偏差)
5. 記述統計データの読み方④:クロス集計、相関係数
6. 記述統計データの読み方⑤:因果関係と相関関係、疑似相関
7. さまざまな質的データの読み方、中間まとめ(プレゼンテーション)
8. 家計データの特徴をとらえる:時系列データ(時系列プロット、指数化、変化率、寄与度、寄与率)
9. 家計データの分析(収入階級別の比較、地域間の比較、世帯属性間の比較)
10. 回帰分析①(単回帰分析:所得と家計支出の関係)
11. 回帰分析②(重回帰分析:所得・価格と家計支出の関係)
12. 回帰分析③(重回帰分析:データ収集と推計)、回帰モデルの仮説と検定
13. 本授業のまとめ(プレゼンテーション)

科目名	生活プロジェクト基礎演習	前期	2 単位
サブタイトル	生活経済学分野	演習	
担当者	ガンガ 伸子		
<p>[ 成績評価方法 ] 30分以上の遅刻は欠席とみなす。 授業時に課す課題(70%)、ディスカッション・プレゼンテーション(30%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 演習時にフィードバックする。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。 成績評価方法:授業時に課す課題、ディスカッション・プレゼンテーションより総合的に評価する。</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法:授業時に課す課題、ディスカッション・プレゼンテーションより総合的に評価する。</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的スキルにより解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。 成績評価方法:授業時に課す課題、ディスカッション・プレゼンテーションより総合的に評価する。</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:授業時に課す課題、ディスカッション・プレゼンテーションより総合的に評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:授業時に課す課題、ディスカッション・プレゼンテーションより総合的に評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:授業時に課す課題、ディスカッション・プレゼンテーションより総合的に評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:授業時に課す課題、ディスカッション・プレゼンテーションより総合的に評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:授業時に課す課題、ディスカッション・プレゼンテーションより総合的に評価する。</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]</p>			

科目名	生活プロジェクト論	後期	2 単位
サブタイトル	プロジェクトマネジメント概論	講義	
担当者	貝増 匡俊		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私たちの生活の中でプロジェクト的な要素を理解できるようになる。(家政1-2)</li> <li>・プロジェクト(企画)を立ち上げるために問題発見や分析手法について理解できるようになる。(家政2-2)</li> <li>・プロジェクトが立ち上がる際、計画立案手法、スケジュール、リスク計画を作成することができるようになる。(家政2-2)</li> </ul> <p>[授業概要]</p> <p>日本国内外で様々なプロジェクトを実務として経験してきた教員が、プロジェクトマネジメント概論を指導します。本授業では、プロジェクトと聞くと特別なものを想像しがちですが、身の回りには様々なプロジェクト的な要素が存在します。例えば、高校の文化祭などの活動もその一例です。文化祭で模擬店を出す際、私たちは多くの場合、勘や経験に頼っています。本授業では、勘や経験に頼らず、体系的にプロジェクトマネジメントを学び、効果的かつ効率的な活動を目指します。身近な事例とプロジェクトマネジメントを関連付けて学んでいきます。</p> <p>授業は前半と後半に分かれます。前半では、企画やプロジェクトを立ち上げるための手法を学びます。アイデアの創出や企画書作成の観点から、SWOT分析、デザイン思考、ロジカルシンキングなどの方法論を学びます。後半では、プロジェクトマネジメントとして、計画の立案、モニタリング、評価について学びます。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>教科書の該当ページなども示します。レジュメは事前に示すので、講義の前には読んでください。講義で学んだことを定着するために復習してください。8回程度は授業終了後にふりかえり問題を提示するので、併せて取り組んで下さい。各回、予習復習合わせて4時間程度</p> <p>[授業計画]</p> <p>第1回:コースガイダンス及びプロジェクトの定義  第2回:プロジェクトの設計手法(1)(ペルソナ)  第3回:プロジェクトの設計手法(2)(デザイン思考)  第4回:プロジェクトの設計手法(3)(サービスデザイン)  第5回:プロジェクトの設計手法(4)(ロジカルシンキング)  第6回:プロジェクトマネジメント手法  第7回:プロジェクトの立上げと計画  第8回:プロジェクトの計画(1) スコープとWBS(ワークブレイクダウンストラクチャー)  第9回:プロジェクトの計画(2)プロジェクトスケジュール作成手法  第10回:プロジェクトの計画(3)リスクマネジメント  第11回:プロジェクトの計画(4)プロジェクト組織とコミュニケーションマネジメント  第12回:ふりかえり(まとめ)  第13回:モニタリングと評価手法</p>			

科目名	生活プロジェクト論	後期	2 単位
サブタイトル	プロジェクトマネジメント概論	講義	
担当者	貝増 匡俊		
<p>[ 成績評価方法 ] 小テスト3回(30%)、manabaへの書き込み(10%)、試験(60%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 小テストは終了後に解説します。 試験は終了後に解説します。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。 成績評価方法:小テスト、manabaへの書き込み、試験</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的技能により解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。 成績評価方法:小テスト、manabaへの書き込み、試験</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:小テスト、manabaへの書き込み、試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:小テスト、manabaへの書き込み、試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:小テスト、manabaへの書き込み、試験</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] 書籍名:担当になったら知っておきたい「プロジェクトマネジメント」実践講座 著者名:伊藤大輔/著 出版社名:日本実業出版社 ISBN:9784534054692</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]</p>			

科目名	繊維材料学	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	中西 正恵		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 生活材料学で学んだ繊維素材の知見をもとに、繊維を集合させた糸や布の製造方法や構造、様々な特性、衣服等の繊維製品の性能について理解できる。</p> <p>[授業概要] 被服やインテリア材料として用いられる布の最も基本的構成単位は、高分子であり、それが凝集して繊維となるが、ここまでは、1回生前期の生活材料学で学修済みです。繊維材料学では、より製品側に位置する、繊維の集合構造体である糸および布について学びます。糸や布を被服やインテリアの材料として使いこなすには、糸・布を単に感覚的に理解するだけでなく、構造や性質を科学的に理解しておく必要があります。この授業では糸・布の種類や製造法、着心地に関わる力学特性や熱・水分・空気の移動特性、耐久性、審美性などを解説します。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回、予習復習合わせて4時間程度。 1回生前期の衣生活文化論、生活材料学の内容の復習をしておいて下さい。</p> <p>[授業計画] 1. 授業概要の説明、繊維や糸の種類 2. 繊維や糸の製造法、構造、性質 3. 織物の種類や構造 4. 織物の製造法 5. 編物の種類や構造、製造法 6. 不織布、充填材料(中わた)等の繊維材料 7. 布の力学的性質Ⅰ(KES、ドレープ性他) 8. 布の力学的性質Ⅱ(引張、引裂き、摩耗他) 9. 布の外観的な性質Ⅰ(しわ、プリーツ保持性他) 10. 布の外観的な性質Ⅱ(ピリング、スナッグ、中わたの吹き出し他) 11. 縫製に関する性質(縫い目強度・滑脱、シームパッカリング他) 12. 布の着心地や快適さに関する性質 13. まとめ・布の試験方法についての復習</p>			

科目名	繊維材料学	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	中西 正恵		
<p>[ 成績評価方法 ] 理解度確認試験(80%)、提出課題(10%)、授業態度(10%)で評価します。</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 理解度確認試験を回収後、解答の解説を行います。 課題は授業時間内での解説やmanabaを通じて行います。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ] 学科DP番号/DP内容: 家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。 成績評価方法: 理解度確認試験、提出課題</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ] 教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 提出課題</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]</p>			

S71110 [ HHS1-002 ]

科目名	繊維製品品質管理	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	春元 隆		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他	授業内課題実施とディスカッション	実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]

繊維製品関連の一般知識からそれらを取り巻く各種環境を習得し、衣料品の品質問題や消費者クレーム分析などの幅広い知識を通して、その検証方法や再発防止策を身につけながら繊維製品の品質管理の重要性について理解することを目標とします。

そして繊維製品の品質管理資格試験にもチャレンジできるレベルになることを目指します。

[授業概要]

本科目は現在企業で繊維製品等の品質管理に従事している講師が担当します。

本科目は繊維製品に関する基礎的な専門知識を身につけ、繊維製品の品質管理・消費者苦情事例や不良品の現状を把握して原因究明や再発防止対策を取得する科目であり、同時に繊維業界の最新情報を知り、アパレルなど繊維業界での活躍や繊維製品品質管理士(TES)資格取得を目指す方々への能力向上を目指す科目でもあります。

企業の現場で実際に行なわれている各種繊維製品試験や評価の仕方の講義のほか、実際の不良品やクレーム品などを見たり苦情解析演習も取り入れながら、繊維製品の品質管理の理解を深めてもらいます。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

1回生で学んだ「繊維材料学」、2回生前期で学ぶ「被服管理学」「被服科学実験」なども復習しておいてください。

また授業内容の理解度深化のために、日頃から繊維製品に関係するニュースや情報にもアンテナを立てて、社会における繊維製品に対する興味軸を育てておいてください。

そのためにも毎回、予習復習を合わせて4時間程度行い、知識・技量を確実なものにするようにしておいてください。

[授業計画]

1. 講義の概要、繊維・糸・布の種類と性質、染色加工工程
2. 各種機能加工、衣料品の企画・設計・製造
3. 衣料品の品質要求項目と消費性能、繊維・糸・布・製品の試験方法及び品質管理
4. 消費者調査、消費者問題・政策
5. 衣料品の流通・消費
6. 衣料品の表示と消費者苦情・環境問題
7. 損傷に関するトラブル事例
8. 形態変化・外観変化に関するトラブル事例
9. 色の関するトラブル事例
10. 風合い変化、加工低下、安全・衛生・表示に関するトラブル事例
11. 繊維製品の品質問題、業界の課題について(論文など)
12. 総合まとめ1(トラブル事例、繊維製品の課題の解説)
13. 総合まとめ2(人と社会と衣生活の解説)

科目名	繊維製品品質管理	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	春元 隆		
<p>[ 成績評価方法 ]  授業時のレポート課題(理解度確認)(40%)、 期末試験(60%)で評価します。</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  レポート課題(理解度確認)の解答・解説は原則次の授業で行います</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]  学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的スキルにより解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。  成績評価方法:レポート課題と試験で評価します。</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]  教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力  成績評価方法:レポート課題と試験で評価します。</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]  書籍名:繊維製品の品質問題研究ガイド 一消費者苦情の原因究明・再発防止策一 著者名:(一社)日本衣料管理協会刊行委員会編 出版社名:(一社)日本衣料管理協会 ISBN:なし</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]  書籍名:新改訂版 繊維製品の基礎知識(2023年11月発行) 著者名:(一社)日本衣料管理協会刊行委員会編 出版社名:(一社)日本衣料管理協会 ISBN:なし</p>			

S71130 [ HHS2-001 ]

科目名	卒業研究	前期～後期	8 単位
サブタイトル		演習	
担当者	大淵 裕美		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 卒業論文を提出し、卒業研究発表会で口頭発表をする。</p> <p>[授業概要] 家族社会学・ジェンダー論・文化社会学に関連する問題を設定し、調査・研究する。研究内容および成果を卒業論文として完成させる。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]  <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究テーマに関係する先行研究の整理しておく。</li> <li>・教養科目、専門科目の中で取り上げられた文献や資料を整理しておく。</li> <li>・テーマに関連した文献・資料をまとめたノートを作成する。</li> <li>・予習・復習を含め8時間程度行う。</li> </ul> </p> <p>[授業計画]  <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 問題関心の確認と研究テーマの設定について</li> <li>2. 研究テーマと研究方法について</li> <li>3. 先行研究の収集と分析①</li> <li>4. 先行研究の収集と分析②</li> <li>5. 研究テーマの選定①</li> <li>6. 研究テーマの選定②</li> <li>7. 研究計画の作成①</li> <li>8. 研究計画の作成②</li> <li>9. 研究テーマ・計画にそって、適切な方法で研究を進める①</li> <li>10. 研究テーマ・計画にそって、適切な方法で研究を進める②</li> <li>11. 研究テーマ・計画にそって、適切な方法で研究を進める③</li> <li>12. 研究テーマ・計画にそって、適切な方法で研究を進める④</li> <li>13. 研究テーマ・計画にそって、適切な方法で研究を進める⑤</li> <li>14. 研究テーマ・計画にそって、適切な方法で研究を進める⑥</li> <li>15. 論文の執筆①</li> <li>16. 論文の執筆②</li> <li>17. 論文の執筆③</li> <li>18. 論文の執筆④</li> <li>19. 論文の執筆⑤</li> <li>20. 論文の執筆⑥</li> <li>21. 論文の執筆⑦</li> <li>22. 論文の執筆⑧</li> <li>23. 提出</li> <li>24. 修正</li> <li>25. 卒業論文の提出</li> <li>26. 卒業研究発表</li> </ol> </p>			

科目名	卒業研究	前期～後期	8 単位
サブタイトル		演習	
担当者	大淵 裕美		
<p>[ 成績評価方法 ]  家政学科の卒業研究評価ルーブリックに従い、成績評価する。</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  適宜添削し後日返却する。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 家政1-2/ 家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。  成績評価方法: 卒論執筆に至る全プロセス・卒業論文・卒論発表会でのプレゼンテーション</p> <p>学科DP番号/DP内容: 家政1-3/ 人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。  成績評価方法: 卒論執筆に至る全プロセス・卒業論文・卒論発表会でのプレゼンテーション</p> <p>学科DP番号/DP内容: 家政2-1/ 社会全体の発展やグローバルな問題について、生活に基盤を置く地道な視点で考察することができる。  成績評価方法: 卒論執筆に至る全プロセス・卒業論文・卒論発表会でのプレゼンテーション</p> <p>学科DP番号/DP内容: 家政2-2/ 社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的スキルにより解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。  成績評価方法: 卒論執筆に至る全プロセス・卒業論文・卒論発表会でのプレゼンテーション</p> <p>学科DP番号/DP内容: 家政2-3/ 個人、家族、コミュニティ、福祉の視点から、より質の高い生活のありようを提案するためのコミュニケーション能力をもっている。  成績評価方法: 卒論執筆に至る全プロセス・卒業論文・卒論発表会でのプレゼンテーション</p> <p>学科DP番号/DP内容: 家政3-1/ 社会変化に追従して受動的になりがちな生活の問題点を指摘し、個人や家族の価値を堅持し、主体的で創造的な生活の実現を目指す意欲や実践力がある。  成績評価方法: 卒論執筆に至る全プロセス・卒業論文・卒論発表会でのプレゼンテーション</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  成績評価方法: 卒論執筆に至る全プロセス・卒業論文・卒論発表会でのプレゼンテーション</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢  成績評価方法: 卒論執筆に至る全プロセス・卒業論文・卒論発表会でのプレゼンテーション</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  成績評価方法: 卒論執筆に至る全プロセス・卒業論文・卒論発表会でのプレゼンテーション</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力  成績評価方法: 卒論執筆に至る全プロセス・卒業論文・卒論発表会でのプレゼンテーション</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力  成績評価方法: 卒論執筆に至る全プロセス・卒業論文・卒論発表会でのプレゼンテーション</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力  成績評価方法: 卒論執筆に至る全プロセス・卒業論文・卒論発表会でのプレゼンテーション</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]</p>			

S79400 [ HHH4-001 ]

科目名	卒業研究		前期～後期	8 単位
サブタイトル			演習	
担当者	大森 正子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業		
<p>[到達目標] 実験計画のたてかた、実験手法の修得、実験結果の解析を学び、卒業論文として最終的にまとめ提出する。</p> <p>[授業概要] 外界からの情報は8割以上を視覚から得ているといわれている。加齢に伴い視覚機能は低下が認められ、色彩や文字表示についての安全で快適な視環境整備は重要である。そこで、視覚機能と快適な視環境について、人間工学的に明らかにするため、立体認知と視機能、高齢者の視環境と快適性、最適表示文字サイズとフォントデザイン、色の見えと加齢影響、手指運動の習熟と脳機能、快適なパンプス開発のための歩行動作解析、といったテーマで実験を行い研究をすすめていくこととする。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 卒業研究に関する文献を調査しまとめる。</p> <p>[授業計画] 1. 卒業研究のためのオリエンテーション 2. 文献検索のための図書館利用について 3. 卒論テーマ決定1 4. 卒論テーマ決定2 5. 卒論テーマ決定3 6. 卒論テーマ決定4 7. 調査・実験方法の検討1 8. 調査・実験方法の検討2 9. 調査・実験方法の検討3 10. 解析方法についての検討1 11. 解析方法についての検討2 12. 実験準備1 13. 実験準備2 14. 本実験1 15. 本実験2 16. 本実験3 17. データ解析1 18. データ解析2 19. データ解析3 20. データ解析4 21. データ解析5 22. データ解析6 23. 卒業論文作成1 24. 卒業論文作成2 25. 卒業論文作成3 26. 卒業論文作成・提出</p>				

科目名	卒業研究	前期～後期	8 単位
サブタイトル		演習	
担当者	大森 正子		

[ 成績評価方法 ]

実験に対する取り組み方と分析結果のまとめ、中間報告、卒業論文、卒論発表など、ルーブリック評価に基づき総合的に評価する。

[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]

基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。

[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ メールアドレス ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]

学科DP番号/DP内容:家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。

成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。

成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:家政2-1/社会全体の発展やグローバルな問題について、生活に基盤を置く地道な視点で考察することができる。

成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的スキルにより解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。

成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:家政2-3/個人、家族、コミュニティ、福祉の視点から、より質の高い生活のありようを提案するためのコミュニケーション能力をもっている。

成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:家政3-1/社会変化に追隨して受動的になりがちな生活の問題点を指摘し、個人や家族の価値を堅持し、主体的で創造的な生活の実現を目指す意欲や実践力がある。

成績評価方法:上記、成績評価方法による

[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容\_:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢

成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容\_:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢

成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容\_:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢

成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容\_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力

成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容\_:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力

成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容\_:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力

成績評価方法:上記、成績評価方法による

[ 教科書(ISBN) ]

[ 参考書(ISBN) ]

科目名	卒業研究	前期～後期	8 単位
サブタイトル		演習	
担当者	貝増 匡俊		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究計画作成して研究を進めることができるようになる。</li> <li>・設定した研究テーマ(例えば環境や社会的な課題など)に沿った知識を文献調査やフィールドワークや社会調査を主体的に実施できるようになる。</li> <li>・論理的思考力や多面的なクリティカルな思考力を身につけることができるようになる。</li> </ul> <p>[授業概要]</p> <p>生活プロジェクト論や演習などで身につけた方法論的アプローチ、社会組織論での組織分析、生活環境学など生活の中に密接に関係する環境やエネルギー問題に関する研究テーマを組み合わせながら、テーマは、自らが主体的に設定して研究を進める。研究テーマとしては、①地域の活性化②デザイン思考やロジカルシンキングなどの方法論③生活環境、④家庭におけるエネルギー⑤プロジェクトマネジメント手法などが挙げられる。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>参考文献や課題図書は教員が示す場合もありますが、自らが主体的に文献など調べて下さい。(予習復習を含めて8時間)</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ガイダンス(進め方、評価方法)</li> <li>2. 文献調査準備の説明</li> <li>3. 文献調査実践(1)</li> <li>4. 文献調査実践(2)</li> <li>5. 輪読(1)</li> <li>6. 輪読(2)</li> <li>7. 輪読(3)</li> <li>8. 研究方法、研究計画の検討(全体計画の作成)</li> <li>9. フィールドワーク準備</li> <li>10. フィールドワークの実施</li> <li>11. レポートニング</li> <li>12. 発表</li> <li>13. 研究方法、研究計画の検討(全体計画の作成)</li> <li>14. 研究計画の概要作成</li> <li>15. 研究計画の概要発表(1)</li> <li>16. 研究計画の概要発表(2)</li> <li>17. 卒業論文の構成作成</li> <li>18. 卒業論文の構成発表</li> <li>19. 文献調査及びフィールドワーク調査計画(1)</li> <li>20. フィールドワーク調査計画</li> <li>21. フィールドワーク調査取りまとめ</li> <li>22. 論文執筆(1)</li> <li>23. 論文執筆(2)</li> <li>24. 研究発表の準備(1)</li> <li>25. 研究発表の準備(2)</li> <li>26. 研究発表</li> </ol>			

科目名	卒業研究	前期～後期	8 単位
サブタイトル		演習	
担当者	貝増 匡俊		
<p>[ 成績評価方法 ]  研究に取り組む姿勢(30%)、論文及び要旨(2頁)(60%)、研究発表(10%)  なお、評価基準はルーブリックを参照のこと。(自己評価を含む)</p> <p>週に一度のゼミを休む場合は必ず別の日に来て、1週間に1回は出席すること。主体性やコミュニケーションは重要視します。</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  卒業論文の構成、アンケートなどの調査用紙は必ずコメントします。  卒業論文、梗概集、発表スライドに関しては、初稿提出後、必ずコメントを付して返却します。  卒業論文以外の提出物に関しても必ずコメントを付して返却します。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。  成績評価方法:研究に取り組む姿勢、論文及び要旨(2頁)、研究発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。  成績評価方法:研究に取り組む姿勢、論文及び要旨(2頁)、研究発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-1/社会全体の発展やグローバルな問題について、生活に基盤を置く地道な視点で考察することができる。  成績評価方法:研究に取り組む姿勢、論文及び要旨(2頁)、研究発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的スキルにより解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。  成績評価方法:研究に取り組む姿勢、論文及び要旨(2頁)、研究発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-3/個人、家族、コミュニティ、福祉の視点から、より質の高い生活のありようを提案するためのコミュニケーション能力をもっている。  成績評価方法:研究に取り組む姿勢、論文及び要旨(2頁)、研究発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-1/社会変化に追従して受動的になりがちな生活の問題点を指摘し、個人や家族の価値を堅持し、主体的で創造的な生活の実現を目指す意欲や実践力がある。  成績評価方法:研究に取り組む姿勢、論文及び要旨(2頁)、研究発表</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  成績評価方法:研究に取り組む姿勢、論文及び要旨(2頁)、研究発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢  成績評価方法:研究に取り組む姿勢、論文及び要旨(2頁)、研究発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  成績評価方法:研究に取り組む姿勢、論文及び要旨(2頁)、研究発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力  成績評価方法:研究に取り組む姿勢、論文及び要旨(2頁)、研究発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力  成績評価方法:研究に取り組む姿勢、論文及び要旨(2頁)、研究発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力  成績評価方法:研究に取り組む姿勢、論文及び要旨(2頁)、研究発表</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]</p>			

S79420 [ HHH4-001 ]

科目名	卒業研究	前期～後期	8 単位
サブタイトル	生活経済学研究	演習	
担当者	ガンガ 伸子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

研究課題の設定と分析方法、分析結果の考察、研究報告のとりまとめができるようになる。

[授業概要]

家計を対象とした生活経済学に関わる研究課題に、計量経済学的手法を用いて取り組む。具体的な研究内容は、以下に示すとおりである。

- 1) 食料消費行動に関する課題
- 2) 家計の消費行動に関する課題
- 3) 家計の貯蓄行動に関する課題

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

生活経済学に関する研究論文を読んでおく。

統計学の基礎を習得しておく。

コンピュータの操作に習熟しておく。

各回の授業についての予習・復習5時間以上。

[授業計画]

1. 研究計画の発表①
2. 研究計画の発表②
3. 先行研究の購読①
4. 先行研究の購読②
5. 統計資料からのデータ収集①
6. 統計資料からのデータ収集②
7. 研究の背景(資料分析)をまとめて発表③
8. 研究の背景(資料分析)をまとめて発表③
9. 分析方法の習得②(相関分析)
10. 分析方法の習得③(単回帰分析)
11. 分析方法の習得④(重回帰分析① モデル設定)
12. 分析方法の習得⑤(重回帰分析② モデルの推計)
13. 分析方法の習得⑥(重回帰分析③ 決定係数、検定)
14. 分析方法の習得⑦(重回帰分析④ 結果と考察)
15. 中間発表(研究目的、先行研究、研究の背景等)
16. 分析結果途中報告①
17. 分析結果途中報告②
18. 章立ての報告①
19. 章立ての報告②
20. 分析結果のとりまとめと考察①
21. 分析結果のとりまとめと考察②
22. 分析結果のとりまとめと考察③
23. 卒業論文下書きの提出
24. 卒業論文下書きの再提出
25. 卒業論文の完成
26. 成果発表・梗概集原稿完成

科目名	卒業研究	前期～後期	8 単位
サブタイトル	生活経済学研究	演習	
担当者	ガンガ 伸子		
<p>[ 成績評価方法 ]  研究計画の立て方、先行研究のサーベイ、研究の実施内容、研究結果のまとめ方、考察の内容(論理性、実証性、結論の適格性) 等。  家政学科の卒業研究評価ルーブリックに従い、成績評価する。  週1回のゼミには、必ず出席し、ゼミ内で活発にディスカッションすること。  大学の規則に従い、授業回数の3分の2以上出席していない場合は、無資格とする。</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  演習時にフィードバックする。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 家政1-2/ 家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。  成績評価方法: 卒業論文の内容および成果発表により評価する。</p> <p>学科DP番号/DP内容: 家政1-3/ 人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。  成績評価方法: 卒業論文の内容および成果発表により評価する。</p> <p>学科DP番号/DP内容: 家政2-1/ 社会全体の発展やグローバルな問題について、生活に基盤を置く地道な視点で考察することができる。  成績評価方法: 卒業論文の内容および成果発表により評価する。</p> <p>学科DP番号/DP内容: 家政2-2/ 社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的スキルにより解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。  成績評価方法: 卒業論文の内容および成果発表により評価する。</p> <p>学科DP番号/DP内容: 家政2-3/ 個人、家族、コミュニティ、福祉の視点から、より質の高い生活のありようを提案するためのコミュニケーション能力をもっている。  成績評価方法: 卒業論文の内容および成果発表により評価する。</p> <p>学科DP番号/DP内容: 家政3-1/ 社会変化に追従して受動的になりがちな生活の問題点を指摘し、個人や家族の価値を堅持し、主体的で創造的な生活の実現を目指す意欲や実践力がある。  成績評価方法: 卒業論文の内容および成果発表により評価する。</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  成績評価方法: 卒業論文の内容および成果発表により評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢  成績評価方法: 卒業論文の内容および成果発表により評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  成績評価方法: 卒業論文の内容および成果発表により評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力  成績評価方法: 卒業論文の内容および成果発表により評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力  成績評価方法: 卒業論文の内容および成果発表により評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力  成績評価方法: 卒業論文の内容および成果発表により評価する。</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ]</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ]</p>			

S79430 [ HHH4-001 ]

科目名	卒業研究	前期～後期	8 単位
サブタイトル		演習	
担当者	梶木 典子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 卒業研究のテーマの設定、研究の目的、方法、考察を経て結果を導き出すことができる。 研究で得られた知見を卒業論文としてまとめ、発表することができる。</p> <p>[授業概要] 1)～5)の研究テーマについて優先して取り組むこととするが、学生との対話を通して決定する。 1)子どもの遊び環境に関する研究(冒険遊び場、児童館など大人が関わる遊び場の利用実態と評価、およびまちづくりの視点からみた子どもの遊び環境のあり方の検討) 2)安心・安全なまちづくりに関する研究 3)ニュータウンの暮らしに関する研究 4)人間の生活空間における快適性に関する研究 5)様々な地域居住に関する研究</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回の授業についての予習・復習2時間程度。 日々、新聞を読む習慣をつけるとともに、様々な文献を読み、講演会やシンポジウムなどに積極的に参加すること。</p> <p>[授業計画] 1. ガイダンス 2. 文献収集の方法① 3. 文献収集の方法② 4. 文献の読み方① 5. 文献の読み方② 6. 研究テーマの選定① 7. 研究テーマの選定② 8. 研究方法の検討① 9. 研究方法の検討② 10. 研究指導① 11. 研究指導② 12. 研究指導③ 13. 研究指導④ 14. 研究指導⑤ 15. 研究指導⑥ 16. 研究指導⑦ 17. 研究指導⑧ 18. 研究指導⑨ 19. 研究指導⑩ 20. 論文執筆指導① 21. 論文執筆指導② 22. 論文執筆指導③ 23. 論文執筆指導④ 24. 論文執筆指導⑤ 25. 研究発表指導① 26. 研究発表指導②</p>			

科目名	卒業研究	前期～後期	8 単位
サブタイトル		演習	
担当者	梶木 典子		
<p>[ 成績評価方法 ] ルーブリック評価に基づき卒業論文および口頭試問の評価を行う(100%)。</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 卒業論文執筆時、口頭発表準備時に指導を行い、毎回、解説を付す。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。 成績評価方法:ルーブリック評価に基づき卒業論文および口頭試問の評価を行う(100%)。</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法:ルーブリック評価に基づき卒業論文および口頭試問の評価を行う(100%)。</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-1/社会全体の発展やグローバルな問題について、生活に基盤を置く地道な視点で考察することができる。 成績評価方法:ルーブリック評価に基づき卒業論文および口頭試問の評価を行う(100%)。</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的スキルにより解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。 成績評価方法:ルーブリック評価に基づき卒業論文および口頭試問の評価を行う(100%)。</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-3/個人、家族、コミュニティ、福祉の視点から、より質の高い生活のありようを提案するためのコミュニケーション能力をもっている。 成績評価方法:ルーブリック評価に基づき卒業論文および口頭試問の評価を行う(100%)。</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-1/社会変化に追隨して受動的になりがちな生活の問題点を指摘し、個人や家族の価値を堅持し、主体的で創造的な生活の実現を目指す意欲や実践力がある。 成績評価方法:ルーブリック評価に基づき卒業論文および口頭試問の評価を行う(100%)。</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:ルーブリック評価に基づき卒業論文および口頭試問の評価を行う(100%)。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:ルーブリック評価に基づき卒業論文および口頭試問の評価を行う(100%)。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:ルーブリック評価に基づき卒業論文および口頭試問の評価を行う(100%)。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:ルーブリック評価に基づき卒業論文および口頭試問の評価を行う(100%)。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:ルーブリック評価に基づき卒業論文および口頭試問の評価を行う(100%)。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:ルーブリック評価に基づき卒業論文および口頭試問の評価を行う(100%)。</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]</p>			

S79440 [ HHH4-001 ]

科目名	卒業研究	前期～後期	8 単位
サブタイトル		演習	
担当者	佐藤 佐織		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] 卒業論文を提出し、卒業研究発表会で口頭発表をする。</p> <p>[授業概要] 学校現場における教員経験がある者が、その経験を活かして、学校教育・家庭科教育に関連する問題についてより課題意識を持って研究に取り組むことができるように指導する。 家庭科教育・家庭生活に関連する問題を設定し、調査・研究する。研究内容および成果を卒業論文として完成させる。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] ・研究テーマに関係する先行研究の整理しておく。 ・教養科目、専門科目、教職科目の中で取り上げられた文献や資料を整理しておく。 ・研究のための読書ノートを作成する。 ・毎日の学修時間は前期は1時間、後期は3時間を目安に取り組む。</p> <p>[授業計画] 1.問題関心の確認と研究テーマの設定について 2.研究テーマと研究方法について 3.先行研究の収集と分析① 4.先行研究の収集と分析② 5.研究テーマの選定① 6.研究テーマの選定② 7.研究計画の作成① 8.研究計画の作成② 9.研究テーマ・計画にそって、適切な方法で研究を進める① 10. 研究テーマ・計画にそって、適切な方法で研究を進める② 11. 研究テーマ・計画にそって、適切な方法で研究を進める③ 12. 研究テーマ・計画にそって、適切な方法で研究を進める④ 13. 研究テーマ・計画にそって、適切な方法で研究を進める⑤ 14. 研究テーマ・計画にそって、適切な方法で研究を進める⑥ 15. 研究テーマ・計画にそって、適切な方法で研究を進める⑦ 16. 研究テーマ・計画にそって、適切な方法で研究を進める⑧ 17. 論文の執筆① 18. 論文の執筆② 19. 論文の執筆③ 20. 論文の執筆④ 21. 論文の執筆⑤ 22. 論文の執筆⑥ 23. 提出 24. 修正 25. 卒業論文の提出 26. 卒業研究発表</p>			

科目名	卒業研究	前期～後期	8 単位
サブタイトル		演習	
担当者	佐藤 佐織		
<p>[ 成績評価方法 ] 卒業論文80%、卒論研究発表20%</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 収集した資料や執筆に関するレポートについて、授業時間内でコメントする。 論文については、随時添削し返却する。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。 成績評価方法:卒業論文</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法:卒業論文</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-1/社会全体の発展やグローバルな問題について、生活に基盤を置く地道な視点で考察することができる。 成績評価方法:卒業論文</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的スキルにより解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。 成績評価方法:卒業論文</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-3/個人、家族、コミュニティ、福祉の視点から、より質の高い生活のありようを提案するためのコミュニケーション能力をもっている。 成績評価方法:卒業論文</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-1/社会変化に追従して受動的になりがちな生活の問題点を指摘し、個人や家族の価値を堅持し、主体的で創造的な生活の実現を目指す意欲や実践力がある。 成績評価方法:卒業論文</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:研究発表、卒業論文</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:研究発表、卒業論文</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:研究発表、卒業論文</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:研究発表、卒業論文</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:研究発表、卒業論文</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:研究発表、卒業論文</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] 書籍名:なし 著者名:なし 出版社名:なし ISBN:なし</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] 書籍名:必要に応じて紹介する 著者名:なし 出版社名:なし ISBN:なし</p>			

S79450 [ HHH4-001 ]

科目名	卒業研究	前期～後期	8 単位
サブタイトル		演習	
担当者	十一 玲子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]          被服に関する知識や技術をさらに向上させるために、各自が課題を見つけ情報を収集し、計画をたてて進めていく。文献および資料を収集し、卒業論文としてまとめ、発表する。</p> <p>[授業概要]          被服構成の立場から捉える。          1)衣装に関する研究          2)ファストファッションに関する研究          3)高齢者の衣服調査          4)子供服の研究          5)作品製作</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]          1～3回生で履修した被服立体構成の知識や技術をさらに積み上げるため、自分自身で製作する作品の構成などを調べ、製作工程についても考える。          論文を書くために必要な文献や資料をできるだけ多く集め、読み、整理しておくこと。          予習復習合わせて8時間程度。</p> <p>[授業計画]          1.オリエンテーション          2.研究テーマの検討          3.研究テーマの選定①          4.研究テーマの選定②          5.文献の収集①          6.文献の収集②          7.計画書の作成①          8.計画書の作成②          9.文献および資料の収集①          10.文献および資料の収集②          11.研究テーマにそって、研究を進める①          12.研究テーマにそって、研究を進める②          13.研究テーマにそって、研究を進める③          14.研究テーマにそって、研究を進める④          15.研究テーマにそって、研究を進める⑤          16.論文の執筆①          17.論文の執筆②          18.論文の執筆③          19.論文の執筆④          20.論文の執筆⑤          21.論文の執筆⑥          22.提出          23.修正①          24.修正②          25.卒業論文の提出          26.卒論研究発表</p>			

科目名	卒業研究	前期～後期	8 単位
サブタイトル		演習	
担当者	十一 玲子		
<p>[ 成績評価方法 ]  授業に取り組む姿勢(20%)、論文(60%)、発表(20%)</p> <p>家政学科の卒業研究評価ルーブリックに従い、成績を評価する。  週1回のゼミには必ず出席し、自身のテーマについて調べた内容をまとめ発表する。  大学の規則に従い、授業回数の3分の2以上出席していない場合は、無資格となる。</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  卒業論文や梗概集の作成を行い、それについて個別指導を行う。また、卒業研究発表会への準備も同様に指導する。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。  成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。  成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 家政2-1/社会全体の発展やグローバルな問題について、生活に基盤を置く地道な視点で考察することができる。  成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的スキルにより解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。  成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 家政2-3/個人、家族、コミュニティ、福祉の視点から、より質の高い生活のありようを提案するためのコミュニケーション能力をもっている。  成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 家政3-1/社会変化に追従して受動的になりがちな生活の問題点を指摘し、個人や家族の価値を堅持し、主体的で創造的な生活の実現を目指す意欲や実践力がある。  成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢  成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力  成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力  成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力  成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]</p>			

S79460 [ HHH4-001 ]

科目名	卒業研究	前期～後期	8 単位
サブタイトル		演習	
担当者	砂本 文彦		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 自身の調査研究に基づき、学術的な研究成果を論文にすることができる。またこれについて発表ができる。</p> <p>[授業概要] 住空間に関わる関連研究の文献調査、自身の研究テーマの設定、調査の立案・実施、成果のまとめと公表を行う。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 客観的な調査・考察に基づいた研究活動が行えるよう、日々関心の幅を広げておくこと。住生活文化にかかわる文献を常日頃から参照し、ノートに整理をしておくこと。調査内容についてはすべて記録を残し、1年間、研究ノートを作成すること。一週間あたり8時間程度自習をする。</p> <p>[授業計画] 随時、調査研究に関する打ち合わせを行う。主な内容は次である。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 先行研究の調査1</li> <li>2. 先行研究の調査2</li> <li>3. 先行研究の調査3</li> <li>4. 論文輪読1</li> <li>5. 論文輪読2</li> <li>6. 論文輪読3</li> <li>7. テーマ設定1</li> <li>6. テーマ設定①</li> <li>7. 文献調査1</li> <li>8. 文献調査2</li> <li>9. 文献調査3</li> <li>10. 現地調査1</li> <li>11. 現地調査2</li> <li>12. 現地調査3</li> <li>13. 現地調査4</li> <li>14. 論文執筆1</li> <li>15. 論文執筆2</li> <li>16. 論文執筆3</li> <li>17. 論文執筆4</li> <li>18. 論文執筆5</li> <li>19. 論文執筆6</li> <li>20. 論文執筆7</li> <li>21. 論文執筆8</li> <li>22. 論文執筆9</li> <li>23. 論文執筆10</li> </ol>			

科目名	卒業研究	前期～後期	8 単位
サブタイトル		演習	
担当者	砂本 文彦		
<p>[ 成績評価方法 ]  課題の設定(10%)、論理性(10%)、文章の構成(10%)、文章表現(10%)、引用の方法(10%)、計画の設定と実行(10%)、取り組み姿勢(10%)、教員の指導を受けた改善(10%)、口頭説明(10%)、質疑応答(10%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  逐次、グループ別に、個人別にフィードバックを行い、自身の研究計画を再検討して研究を前進します。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。  成績評価方法:研究に取り組む姿勢、論文及び要旨、研究発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。  成績評価方法:研究に取り組む姿勢、論文及び要旨、研究発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-1/社会全体の発展やグローバルな問題について、生活に基盤を置く地道な視点で考察することができる。  成績評価方法:研究に取り組む姿勢、論文及び要旨、研究発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的スキルにより解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。  成績評価方法:研究に取り組む姿勢、論文及び要旨、研究発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-3/個人、家族、コミュニティ、福祉の視点から、より質の高い生活のありようを提案するためのコミュニケーション能力をもっている。  成績評価方法:研究に取り組む姿勢、論文及び要旨、研究発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-1/社会変化に追従して受動的になりがちな生活の問題点を指摘し、個人や家族の価値を堅持し、主体的で創造的な生活の実現を目指す意欲や実践力がある。  成績評価方法:研究に取り組む姿勢、論文及び要旨、研究発表</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]</p>			

S79470 [ HHH4-001 ]

科目名	卒業研究	前期～後期	8 単位
サブタイトル		演習	
担当者	中西 正恵		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ]  衣服に関する課題を発見しそれを解決するために、情報収集、素材選定、デザイン、パターン設計、実験、制作など計画を立て研究できる力、研究成果を制作物や卒業論文としてまとめ、口頭発表する力を身につける。</p> <p>[ 授業概要 ]  CAD/CGソフトを活用して布や衣服等のデザインやパターンを作成し、適切な材料で、縫製手順、使用する道具なども検討しながら、意図した衣服等を制作し、人のために役立つように研究成果としてまとめ、発表します。この研究過程においては、社会のニーズ、材料・デザイン・技法などの情報収集や、布地、縫製、パターンなどに関連した実験なども含みます。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]  被服関連科目の内容を復習し、アパレルCAD入門、卒研基礎演習等で習得したデザインやパターン作成、各種縫製機器等に使い慣れておく。  通年で計90時間以上、卒業研究、制作のためCAD室での自己学修が必要。</p> <p>[ 授業計画 ]  1.卒業研究の説明  2.CAD/パターンメイキング演習(1)  3.CAD/パターンメイキング演習(2)  4.CAD/パターンメイキング演習(3)  5.CAD/パターンメイキング演習(4)  6.縫製演習(1)  7.縫製演習(2)  8.縫製演習(3)  9.縫製演習(4)  10.アパレルCAD/CG演習(1)  11.アパレルCAD/CG演習(2)  12.アパレルCAD/CG演習(3)  13.研究課題の構想、資料収集、予備実験・試作  14.研究課題の構想、資料収集、予備実験・試作  15.卒業研究(制作・実験等)  16.卒業研究(制作・実験等)  17.卒業研究(制作・実験等)  18.卒業研究(制作・実験等)  19.卒業研究(制作・実験等)  20.卒業研究(制作・実験等)  21.卒業研究(制作・実験等)  22.卒業研究(制作・実験等)  23.卒業研究(制作・実験等)  24.卒業研究(制作・実験等)  25.卒業研究発表準備  26.卒業研究発表、まとめ</p>			

科目名	卒業研究	前期～後期	8 単位
サブタイトル		演習	
担当者	中西 正恵		
<p>[ 成績評価方法 ] 卒業研究ルーブリックに基づく評価(研究課題設定、研究プロセス、研究成果・制作物、卒業論文・梗概集、研究発表)(70%)、指定の課題(20%)、授業態度(10%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 指定課題等は授業内でコメントします。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。 成績評価方法: 卒業研究ルーブリック、指定の課題</p> <p>学科DP番号/DP内容: 家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法: 卒業研究ルーブリック</p> <p>学科DP番号/DP内容: 家政2-1/社会全体の発展やグローバルな問題について、生活に基盤を置く地道な視点で考察することができる。 成績評価方法: 卒業研究ルーブリック</p> <p>学科DP番号/DP内容: 家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的技能により解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。 成績評価方法: 卒業研究ルーブリック</p> <p>学科DP番号/DP内容: 家政2-3/個人、家族、コミュニティ、福祉の視点から、より質の高い生活のありようを提案するためのコミュニケーション能力をもっている。 成績評価方法: 卒業研究ルーブリック</p> <p>学科DP番号/DP内容: 家政3-1/社会変化に追隨して受動的になりがちな生活の問題点を指摘し、個人や家族の価値を堅持し、主体的で創造的な生活の実現を目指す意欲や実践力がある。 成績評価方法: 卒業研究ルーブリック</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 卒業研究ルーブリック、指定の課題、授業態度</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 卒業研究ルーブリック、指定の課題、授業態度</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 卒業研究ルーブリック、プレゼン</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 卒業研究ルーブリック、指定の課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 卒業研究ルーブリック</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: 卒業研究ルーブリック、指定の課題、授業態度</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ]</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ]</p>			

S79490 [ HHH4-001 ]

科目名	卒業研究	前期～後期	8 単位
サブタイトル	住空間の研究	演習	
担当者	田中 栄治		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標]</p> <p>目標1: 文献調査とフィールド調査から自分の研究テーマを設定し、研究計画をまとめることができる。  目標2: 研究テーマに沿った調査計画をまとめ、調査を実施することができる。  目標3: 調査結果の分析・考察を行い、結論を導き出すことができる。  目標4: 研究で得られた知見を論文にまとめることができる。  目標5: 研究で得られた知見を発表し、質疑に答えることができる。</p> <p>[授業概要]</p> <p>一級建築士・インテリアプランナー・福祉住環境コーディネーターの資格を持ち、建築設計・インテリアデザインの実務経験のある教員が、その基礎となる建築計画学を中心として建築・インテリアの研究方法を解説し、研究指導をする授業です。人間生活の基本となる住まいの建築、インテリア、庭園などの具体的な研究対象を設定し、文献・現地・聞き取りなどの調査を通して情報を収集し、分析・考察を行い論文にまとめて発表します。  特に田中栄治ゼミでは須磨周辺をフィールドとした「須磨の住まい研究(通称:すますま研究)」を継続的に行います。  【須磨の住まい研究(通称:すますま研究)】  ・近世以前の須磨の住まいに関する研究  ・近代の須磨の住宅地・住まいの発展に関する研究  ・現代の須磨の住宅地・住まいの特徴と課題に関する研究  ・須磨の歴史文化遺産の保全と活用に関する研究  その他に、  ・近現代の建築家・デザイナーによる住宅設計・インテリアデザインの特質と変遷に関する研究  ・実際のまち・建築・インテリアなどの生活空間の利用実態に関する研究  なども対象となります。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>各回の授業についての予習・復習2時間程度。  日々、新聞を読む習慣をつけるとともに、様々な文献を読み、講演会やシンポジウムなどに積極的に参加すること。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>3年次に立てた研究計画の見直し</li> <li>研究テーマの選定①</li> <li>研究テーマの選定②</li> <li>研究方法の検討①</li> <li>研究方法の検討②</li> <li>調査計画を立てる①</li> <li>調査計画を立てる②</li> <li>予備調査①</li> <li>予備調査②</li> <li>調査計画の見直し①</li> <li>調査計画の見直し②</li> <li>調査の実施①</li> <li>調査の実施②</li> <li>中間発表①(研究の進捗状況報告)</li> <li>データの分析・考察①</li> <li>データの分析・考察②</li> <li>中間発表②(考察の方向性決定)</li> <li>論文執筆①</li> <li>論文執筆②</li> <li>論文執筆③</li> <li>中間発表③(論文のゼミ内提出)</li> <li>論文修正①</li> <li>論文修正②</li> <li>論文修正③および卒業論文提出</li> <li>研究発表準備①</li> <li>研究発表準備②</li> </ol>			

科目名	卒業研究	前期～後期	8 単位
サブタイトル	住空間の研究	演習	
担当者	田中 栄治		
<p>[ 成績評価方法 ]</p> <p>課題1(研究計画):目標1に対応(10%)          課題2(調査の実施):目標2に対応(10%)          課題3(分析・考察):目標3に対応(10%)          課題4(論文執筆):目標4に対応(50%)          課題5(発表):目標5に対応(20%)          ルーブリック評価に基づき卒業論文および口頭試問の評価を行う。</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]</p> <p>卒業論文執筆時、口頭発表準備時に指導を行う。          口頭発表終了時に、評価説明を行う。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。          成績評価方法:課題1～5</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。          成績評価方法:課題1～5</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-1/社会全体の発展やグローバルな問題について、生活に基盤を置く地道な視点で考察することができる。          成績評価方法:課題1～5</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的スキルにより解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。          成績評価方法:課題1～5</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-3/個人、家族、コミュニティ、福祉の視点から、より質の高い生活のありようを提案するためのコミュニケーション能力をもっている。          成績評価方法:課題1～5</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-1/社会変化に追従して受動的になりがちな生活の問題点を指摘し、個人や家族の価値を堅持し、主体的で創造的な生活の実現を目指す意欲や実践力がある。          成績評価方法:課題1～5</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢          成績評価方法:課題1～5</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢          成績評価方法:課題1～5</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢          成績評価方法:課題1～5</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力          成績評価方法:課題1～5</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力          成績評価方法:課題1～5</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力          成績評価方法:課題1～5</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]</p> <p>書籍名:資料を適宜配布します。著者名:出版社名:ISBN:</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]</p> <p>書籍名:授業で適宜紹介します。著者名:出版社名:ISBN:</p>			

S79520 [ HHH4-001 ]

科目名	卒業研究基礎演習		後期	1 単位
サブタイトル			演習	
担当者	梶木 典子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業		
<p>[到達目標] 家政学を学び、研究する上で必要な方法論を演習ゼミ形式で体得し、4年次の卒業研究に繋げることを目標とする。</p> <p>[授業概要] 卒業研究につながるゼミへの導入のための授業である。ゼミのテーマにそって、研究の企画・構想、文献などの利用、予備実験、制作実習、調査の方法やデータの整理、まとめ方、プレゼンテーションの手法など演習を通して、研究の方法を学ぶとともに、教員の専門領域を知る。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回授業についての予習・復習2時間程度。 住まい・暮らし・まちづくりに関する書籍、雑誌、新聞などを読む。美術館・博物館などを積極的に訪れる。日本各地のまちを訪れ、可能であれば地元の人々と交流する体験を積んでおく。</p> <p>[授業計画] 1. オリエンテーション(授業の進め方、心構え、自分をイメージする) 2. 新聞から学ぼう: 住まい・暮らしに関わるニュースについて議論する_1 3. 新聞から学ぼう: 住まい・暮らしに関わるニュースについて議論する_2 4. キャリアデザイン 5. 見学会を企画しよう_1 6. 見学会を企画しよう_2 7. 見学会を実施する: 5~6回で企画した見学会を実施_1 8. 見学会を実施する: 5~6回で企画した見学会を実施_2 9. 空間づくりをプロデュースしよう_1 10. 空間づくりをプロデュースしよう_2 11. 空間づくりをプロデュースしよう_3 12. 空間づくりをプロデュースしよう_4 13. 卒業研究発表会を聴講</p>				

科目名	卒業研究基礎演習	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	梶木 典子		
<p>[ 成績評価方法 ] 毎回の議論の様子、参加態度(50%)、口頭試問(50%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 議論後、見学会後の振り返りの会にて、フィードバックを行う。 口頭試問において、全体のフィードバックを行う。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法:毎回の議論の様子、参加態度(50%)、口頭試問(50%)</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的スキルにより解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。 成績評価方法:毎回の議論の様子、参加態度(50%)、口頭試問(50%)</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-3/個人、家族、コミュニティ、福祉の視点から、より質の高い生活のありようを提案するためのコミュニケーション能力をもっている。 成績評価方法:毎回の議論の様子、参加態度(50%)、口頭試問(50%)</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-2/よりよい生活の実現に向けて、他者の多様な価値観を理解して尊重し、円満な人間関係を基盤に人々と協調・協働できる。 成績評価方法:毎回の議論の様子、参加態度(50%)、口頭試問(50%)</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:毎回の議論の様子、参加態度(50%)、口頭試問(50%)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:毎回の議論の様子、参加態度(50%)、口頭試問(50%)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:毎回の議論の様子、参加態度(50%)、口頭試問(50%)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:毎回の議論の様子、参加態度(50%)、口頭試問(50%)</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]</p>			

S70151 [ HHI4-001 ]

科目名	卒業研究基礎演習	後期	1 単位
サブタイトル	生活経済学研究	演習	
担当者	ガンガ 伸子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[ 到達目標 ]

生活経済学を学び、研究する上で必要な方法論を演習ゼミ形式で体得し、4年次の卒業研究に繋げることができるようになる。

[ 授業概要 ]

生活経済学領域での卒業研究につながるゼミへの導入のための授業である。研究の企画・構想、文献などの利用、データ収集方法と解析方法、分析結果のまとめ方と考察、プレゼンテーションなど、演習を通して、生活経済学領域の研究の方法を学ぶ。

[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]

「生活経済学」を履修していること。  
夏休み中の課題をしてから、1回目の授業に臨むこと。  
研究テーマに関心をもち、論文、白書、資料等を読んでおくこと。  
予習・復習2時間程度。

[ 授業計画 ]

1. オリエンテーション(授業の概要と進め方)、プレゼンテーション(夏休みの課題発表)
2. 資料・文献の探し方
3. 生活経済に関する文献購読①
4. 生活経済に関する文献購読②
5. 統計指標の基礎①(比率と比、構成比など)
6. 統計指標の基礎②(寄与率と寄与度など)
7. データ解析①(実数と比率、代表値と散布度など)
8. データ解析②(量的データの区分)
9. データ解析③(ジニ係数と分布)
10. データ解析④(相関分析)
11. データ解析⑤(回帰分析:単回帰)
12. データ解析⑥(回帰分析:重回帰)
13. プレゼンテーション

科目名	卒業研究基礎演習	後期	1 単位
サブタイトル	生活経済学研究	演習	
担当者	ガンガ 伸子		

[ 成績評価方法 ]

10回以上出席していなければ、到達目標を達成していないと判断し、不合格とする。  
30分以上の遅刻は欠席とみなす。  
授業時に課す課題(70%)、ディスカッション・プレゼンテーション(30%)

[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]

演習時にフィードバックする。

[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ メールアドレス ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]

学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。

成績評価方法:授業時に課す課題、ディスカッション・プレゼンテーションより総合的に評価する。

学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的スキルにより解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。

成績評価方法:授業時に課す課題、ディスカッション・プレゼンテーションより総合的に評価する。

学科DP番号/DP内容:家政2-3/個人、家族、コミュニティ、福祉の視点から、より質の高い生活のありようを提案するためのコミュニケーション能力をもっている。

成績評価方法:授業時に課す課題、ディスカッション・プレゼンテーションより総合的に評価する。

学科DP番号/DP内容:家政3-2/よりよい生活の実現に向けて、他者の多様な価値観を理解して尊重し、円満な人間関係を基盤に人々と協調・協働できる。

成績評価方法:授業時に課す課題、ディスカッション・プレゼンテーションより総合的に評価する。

[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容\_:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢

成績評価方法:授業時に課す課題、ディスカッション・プレゼンテーションより総合的に評価する。

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容\_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力

成績評価方法:授業時に課す課題、ディスカッション・プレゼンテーションより総合的に評価する。

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容\_:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力

成績評価方法:授業時に課す課題、ディスカッション・プレゼンテーションより総合的に評価する。

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容\_:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力

成績評価方法:授業時に課す課題、ディスカッション・プレゼンテーションより総合的に評価する。

[ 教科書(ISBN) ]

[ 参考書(ISBN) ]

科目名	卒業研究基礎演習		後期	1 単位
サブタイトル			演習	
担当者	大淵 裕美			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	
ディスカッション・ディベート	○		グループワーク	
プレゼンテーション	○		実習、フィールドワーク	○
その他			実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ]  家政学を学び、研究する上で必要な方法論を演習形式で体得し、4年次の卒業研究につなげることを目標とする。</p> <p>[ 授業概要 ]  卒業研究に向けて、研究の基礎を実践を交えて学習する授業である。ゼミのテーマに沿って、研究の企画・構想、文献などの利用、調査の方法やデータのまとめ方、プレゼンテーションの手法など演習を通して、研究の方法を学ぶ。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]  研究テーマに関心を持ち、論文、資料等読んでおくこと。  予習・復習合わせて2時間程度行うこと。</p> <p>[ 授業計画 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.オリエンテーション(授業の概要と進め方・研究テーマの見つけ方)</li> <li>2.興味・関心に関する発表とブレイン・ストーミング①</li> <li>3.興味・関心に関する発表とブレイン・ストーミング②</li> <li>4.資料・文献の探し方(図書館等での検索方法)</li> <li>5.資料・文献の検討①記述内容を批判的に検討する方法</li> <li>6.資料・文献の検討②論文・文献の内容を要約し文章化する方法</li> <li>7.先行研究を踏まえた問いの立て方、実証方法の検討</li> <li>8.中間発表</li> <li>9.データ収集</li> <li>10.集めたデータの分析方法</li> <li>11.分析の実際</li> <li>12.データの考察</li> <li>13.最終プレゼンテーション</li> </ol>				

科目名	卒業研究基礎演習	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	大淵 裕美		
<p>[ 成績評価方法 ]  授業課題・プレゼンテーション(50%)、レポート課題(50%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  レポート提出後、プレゼンテーション後にフィードバックします。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。  成績評価方法:授業課題・プレゼンテーション・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的スキルにより解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。  成績評価方法:授業課題・プレゼンテーション・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-3/個人、家族、コミュニティ、福祉の視点から、より質の高い生活のありようを提案するためのコミュニケーション能力をもっている。  成績評価方法:授業課題・プレゼンテーション・レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-2/よりよい生活の実現に向けて、他者の多様な価値観を理解して尊重し、円満な人間関係を基盤に人々と協調・協働できる。  成績評価方法:授業課題・プレゼンテーション・レポート</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  成績評価方法:授業課題・プレゼンテーション・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力  成績評価方法:授業課題・プレゼンテーション・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力  成績評価方法:授業課題・プレゼンテーション・レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力  成績評価方法:授業課題・プレゼンテーション・レポート</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]</p>			

S70153 [ HHI4-001 ]

科目名	卒業研究基礎演習		後期	1 単位
サブタイトル			演習	
担当者	大森 正子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業		
<p>[到達目標] 家政学を学び、研究する上で必要な方法論を演習ゼミ形式で体得し、4年次の卒業研究に繋げることを目標とする。</p> <p>[授業概要] 卒業研究につながるゼミへの導入のための授業である。ゼミのテーマにそって、研究の企画・構想、文献などの利用、予備実験、制作実習、調査の方法やデータの整理、まとめ方、プレゼンテーションの手法など演習を通して、研究の方法を学ぶとともに、教員の専門領域を知る。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 研究テーマに関心を持ち、論文、資料等読んでおくこと。</p> <p>[授業計画] 1. 講義オリエンテーション 2. 人間工学に関する文献検索オリエンテーション 3. 実験方法、解析方法 4. 予備調査・実験 5. データの解析 6. 考察、まとめ 7. Photoshopによる画像処理1 8. Photoshopによる画像処理2 9. Photoshopによる画像処理3 10. Illustratorによる作画1 11. Illustratorによる作画2 12. Illustratorによる作画3 13. 課題作品提出</p>				

科目名	卒業研究基礎演習	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	大森 正子		
<p>[ 成績評価方法 ] 課題の提出で評価する。</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的スキルにより解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-3/個人、家族、コミュニティ、福祉の視点から、より質の高い生活のありようを提案するためのコミュニケーション能力をもっている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-2/よりよい生活の実現に向けて、他者の多様な価値観を理解して尊重し、円満な人間関係を基盤に人々と協調・協働できる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]</p>			

S70154 [ HHI4-001 ]

科目名	卒業研究基礎演習	後期	1 単位
サブタイトル	多様性について学んでいこう	演習	
担当者	貝増 匡俊		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他	ピアレビューを行います。	実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私たちの身の回りにおいて日々の生活の中における課題や問題などが把握できるようになる。</li> <li>・課題改善のための最適な手法を考えながら、課題設定や分析ができるようになる。</li> <li>・論文などを書くため必要な事項を理解し、使うことができるようになる。</li> </ul> <p>[授業概要]</p> <p>この演習では、2つの次の事柄について学びます。一つ目はテーマに沿って個人ペアワークを組み合わせながら進めます。ゼミの少人数の中で学外講師とのディスカッションを1回から3回程度、また学外での活動も適宜行います。二つ目は、過去の卒業論文などを要約し輪読することで、卒業論文を執筆するために必要となる事項を理解しながら論文の書き方について説明していきます。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>講義で使用するプリントを事前に配布します。配布した資料は、必ず読んでおくこと。また、学んだことをより深く理解するために、さらなる調べものを課すこともあります。学んだことは毎回必ず振り返って下さい。(予習復習や教室外の時間を合せて2時間)</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ガイダンス</li> <li>2. 事前調べ&amp;質問項目作成</li> <li>3. 学外講師とのディスカッション(1)(学外特別講師)</li> <li>4. 4回生就職体験談(家政学科共通)</li> <li>5. 事前調べ&amp;質問項目作成</li> <li>6. 学外講師とのディスカッション(2)(学外特別講師)</li> <li>7. 事前調べ&amp;質問項目作成</li> <li>8. 学外学習</li> <li>9. 2~6回目までのまとめと振り返り</li> <li>10. 卒業論文に関する概要説明</li> <li>11. ピアレビュー(1)</li> <li>12. ピアレビュー(2)</li> <li>13. 卒論発表会</li> </ol>			

科目名	卒業研究基礎演習	後期	1 単位
サブタイトル	多様性について学んでいこう	演習	
担当者	貝増 匡俊		

[ 成績評価方法 ]

課題(70%)、ゼミでの発言などの貢献度(30%)

[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]

課題の解説は行います。また返却も行います。

[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ メールアドレス ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]

学科DP番号/DP内容: 家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。

成績評価方法: 課題、ゼミでの発言などの貢献度

学科DP番号/DP内容: 家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的スキルにより解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。

成績評価方法: 課題、ゼミでの発言などの貢献度

学科DP番号/DP内容: 家政2-3/個人、家族、コミュニティ、福祉の視点から、より質の高い生活のありようを提案するためのコミュニケーション能力をもっている。

成績評価方法: 課題、ゼミでの発言などの貢献度

学科DP番号/DP内容: 家政3-2/よりよい生活の実現に向けて、他者の多様な価値観を理解して尊重し、円満な人間関係を基盤に人々と協調・協働できる。

成績評価方法: 課題、ゼミでの発言などの貢献度

[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容\_: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢

成績評価方法: 課題、ゼミでの発言などの貢献度

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容\_: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力

成績評価方法: 課題、ゼミでの発言などの貢献度

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容\_: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力

成績評価方法: 課題、ゼミでの発言などの貢献度

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容\_: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力

成績評価方法: 課題、ゼミでの発言などの貢献度

[ 教科書(ISBN) ]

[ 参考書(ISBN) ]

科目名	卒業研究基礎演習	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	佐藤 佐織		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]

中学校家庭科、高等学校家庭総合の教科書の考察を通して、家庭科に関する自分の課題を明確にすることができる。  
家政学ならびに家庭科教育に関する研究論文を読み、先行研究をならびに研究方法論を理解することができる。

[授業概要]

・学校現場における教員経験がある者が、その経験を活かして、学校教育・家庭科教育に関連する問題についてより課題意識を持って研究に取り組むことができるように指導する。  
・中学校家庭科、高等学校家庭総合の教科書、家政学・家庭科教育に関する研究論文を読み、考察する。  
・研究の構想、文献などの利用、調査の方法やデータの整理、まとめ方、プレゼンテーションの手法など演習を通して、研究の方法を学ぶ。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

各時間に取り上げられた論文は必ず授業後、熟読をし、自分の課題を確認する。  
授業の事前の準備や復習においては、先行研究論文を学科専門科目、家庭科指導法等で学んだことに関連付けて考察する。  
ゼミ発表に際しては万全に備えるために2時間の準備学習を必要とする。

[授業計画]

1. ガイダンス、研究の進め方
2. 家政学・家庭科教育における問題発掘と研究問題の検討・設定
3. 論文講読①
4. 論文講読②
5. 論文講読③
6. 研究計画の作成
7. 研究の展開①
8. 研究の展開②
9. 研究の展開③
10. 研究成果のまとめ
11. 研究成果の発表と検討①
12. 研究成果の発表と検討②
13. 卒業研究発表会に参加する

科目名	卒業研究基礎演習	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	佐藤 佐織		
<p>[ 成績評価方法 ]  授業態度(20%)、課題(20%)、研究発表(60%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  課題へのコメント、研究発表への指導講評を行う。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。  成績評価方法:先行研究、教科書研究</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的スキルにより解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。  成績評価方法:先行研究、教科書研究</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-3/個人、家族、コミュニティ、福祉の視点から、より質の高い生活のありようを提案するためのコミュニケーション能力をもっている。  成績評価方法:先行研究、教科書研究</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-2/よりよい生活の実現に向けて、他者の多様な価値観を理解して尊重し、円満な人間関係を基盤に人々と協調・協働できる。  成績評価方法:先行研究、教科書研究</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  成績評価方法:先行研究、教科書研究</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力  成績評価方法:先行研究、教科書研究</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力  成績評価方法:先行研究、教科書研究</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力  成績評価方法:先行研究、教科書研究</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]  書籍名:なし 著者名:なし 出版社名:なし ISBN:なし</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]  書籍名:必要に応じて授業の中で紹介する 著者名:なし 出版社名:なし ISBN:なし</p>			

S70157 [ HHI4-001 ]

科目名	卒業研究基礎演習		後期	1 単位
サブタイトル			演習	
担当者	中西 正恵			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク		
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業		
<p>[ 到達目標 ]  4年次の卒業研究に繋げるために、参考となる研究論文等を検索できる。  特に卒業研究制作を行ううえで必要な知識、デザインや縫製技術などを身につける。</p> <p>[ 授業概要 ]  これまでに学んだCAD、繊維材料や縫製に関する知識や技術を活かして、デザインや衣服製作の実習、実験をします。また、文献検索の方法や、テーマに関連した論文なども読みます。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]  研究テーマに関心を持ち、学術雑誌(日本家政学会誌、日本繊維製品消費科学会誌、繊維学会誌他)、織研新聞、服飾関係の本を見たり、できるだけ実物を展覧会などで見たりしてください。  各回、予習復習合わせて1時間程度。</p> <p>[ 授業計画 ]  1.ゼミのオリエンテーション、夏休み課題のプレゼン  2.各種縫製機器や材料実験装置などの概要  3.各種情報収集、文献検索の方法、研究論文紹介  4.キャリアガイダンス(学科全体授業)  5.縫製の基礎(本縫い・環縫いミシンの特徴、縫製条件)  6.ニット縫製演習Ⅰ(パターン、裁断、縫製)  7.ニット縫製演習Ⅱ(縫製、仕上げ)  8.コンピュータデザイン演習Ⅰ(刺繍図案の作成)  9.コンピュータデザイン演習Ⅱ(刺繍ミシン用データの作成と刺繍作業)  10.糸と布を使った作品制作(デザイン構想)  11.糸と布を使った作品制作(縫製)  12.まとめ、プレゼン  13.4回生の卒業研究発表会に参加</p>				

科目名	卒業研究基礎演習	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	中西 正恵		
<p>[ 成績評価方法 ] レポート・課題作品とそのプレゼン(50%)、授業態度(30%)、理解度確認試験(20%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 試験は答案回収後に解説。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法:レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的スキルにより解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。 成績評価方法:理解度確認試験、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-3/個人、家族、コミュニティ、福祉の視点から、より質の高い生活のありようを提案するためのコミュニケーション能力をもっている。 成績評価方法:課題作品とそのプレゼン</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-2/よりよい生活の実現に向けて、他者の多様な価値観を理解して尊重し、円満な人間関係を基盤に人々と協調・協働できる。 成績評価方法:授業態度</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:レポート・課題作品とそのプレゼン</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:レポート・課題作品とそのプレゼン</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:レポート・課題作品とそのプレゼン</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:レポート・課題作品とそのプレゼン、授業態度</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]</p>			

S70158 [ HHI4-001 ]

科目名	卒業研究基礎演習	後期	1 単位
サブタイトル	被服、計画、製作、プレゼンテーション	演習	
担当者	十一 玲子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

家政学を学び、研究する上で必要な方法論を演習ゼミ形式で体得し、4年次の卒業研究に繋げることを目標とする。

[授業概要]

卒業研究に結びつけ、ゼミへの導入のための授業である。ゼミのテーマにそって、研究の企画・構想、文献などの利用、製作実習、調査の方法やデータの整理、まとめ方、プレゼンテーションの手法など演習を通して、研究の方法を学ぶ。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

研究テーマに関心をもち、論文、資料などを収集し、読んでおくこと。

作品制作などに必要なことを図書館・美術館に行き、調べる。

予習復習合わせて2時間程度。

[授業計画]

- 1.オリエンテーション
- 2.卒論の進め方について
- 3.テーマについて説明
- 4.テーマの選択
- 5.文献の収集
- 6.文献の整理
- 7.個人指導
- 8.個人指導
- 9.各自実習
- 10.各自実習
- 11.各自実習
- 12.まとめ
- 13.発表

科目名	卒業研究基礎演習	後期	1 単位
サブタイトル	被服、計画、製作、プレゼンテーション	演習	
担当者	十一 玲子		

[ 成績評価方法 ]  
課題(70%)、提出物(30%)

[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  
行なった内容に対して、毎回、個別にコメントする。

[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ メールアドレス ]  
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]

学科DP番号/DP内容: 家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。  
成績評価方法: 上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容: 家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的スキルにより解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。  
成績評価方法: 上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容: 家政2-3/個人、家族、コミュニティ、福祉の視点から、より質の高い生活のありようを提案するためのコミュニケーション能力をもっている。  
成績評価方法: 上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容: 家政3-2/よりよい生活の実現に向けて、他者の多様な価値観を理解して尊重し、円満な人間関係を基盤に人々と協調・協働できる。  
成績評価方法: 上記、成績評価方法による

[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容\_: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  
成績評価方法: 上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容\_: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力  
成績評価方法: 上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容\_: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力  
成績評価方法: 上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容\_: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力  
成績評価方法: 上記、成績評価方法による

[ 教科書(ISBN) ]

[ 参考書(ISBN) ]

科目名	卒業研究基礎演習		後期	1 単位
サブタイトル	研究の方法を学ぶ		演習	
担当者	田中 栄治			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	
ディスカッション・ディベート	○		グループワーク	○
プレゼンテーション	○		実習、フィールドワーク	○
その他			実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標]</p> <p>目標1: 既往研究や参考文献の調査方法を理解し検索できる。  目標2: フィールド調査を行い他の受講生と情報を共有できる。  目標3: 文献調査とフィールド調査から自分の研究テーマを設定できる。  目標4: 研究計画をまとめることができる。</p> <p>[授業概要]</p> <p>一級建築士・インテリアプランナー・福祉住環境コーディネーターの資格を持ち、建築設計・インテリアデザインの実務経験のある教員が、その基礎となる建築計画学を中心として建築・インテリアの研究方法を解説する、卒業研究への導入のための授業です。ゼミのテーマに沿って、研究の企画・構想、既往研究や文献などの利用、研究テーマの見つけ方、調査の方法やデータ分析の手法など、演習を通して研究の方法を学ぶとともに、教員の専門領域の知識を深めます。  特に田中栄治ゼミでは須磨周辺をフィールドとした「須磨の住まい研究(通称:すますま研究)」を継続的に行います。  【須磨の住まい研究(通称:すますま研究)】  ・近世以前の須磨の住まいに関する研究  ・近代の須磨の住宅地・住まいの発展に関する研究  ・現代の須磨の住宅地・住まいの特徴と課題に関する研究  ・須磨の歴史文化遺産の保全と活用に関する研究  その他に、  ・近現代の建築家・デザイナーによる住宅設計・インテリアデザインの特徴と変遷に関する研究  ・実際のまち・建築・インテリアなどの生活空間の利用実態に関する研究  なども対象となります。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>研究のテーマや問いは文献とフィールド(現場)の往復から見つけ出します。  普段から住まいやインテリアに関心を持ち、関連雑誌や書籍を読んでください。また、自分が良いと思うインテリアの施設やショップを訪れ、気づいた点をメモやスケッチしておきましょう。  各回、予習復習合わせて2時間程度行ってください。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション、情報の集め方</li> <li>2. 文献調査1: 集めた情報を他の受講生と共有しよう</li> <li>3. 文献調査2: 自分の関心のあるテーマを見つけよう</li> <li>4. 研究テーマの見つけ方</li> <li>5. フィールド調査の方法</li> <li>6. フィールド調査1: 気づきカードを活用しよう</li> <li>7. フィールド調査2: 気づきについて話し合ってみよう</li> <li>8. 文献調査3: これまでにわかっていることを調べよう</li> <li>9・10. フィールド調査3: 研究対象を見つけよう ※土曜補講日に実施予定</li> <li>11. 調査と分析の方法</li> <li>12. 研究計画のまとめ方</li> <li>13. 研究計画まとめ</li> </ol>				

科目名	卒業研究基礎演習	後期	1 単位
サブタイトル	研究の方法を学ぶ	演習	
担当者	田中 栄治		
<p>[ 成績評価方法 ]          課題1(既往研究調査ワークシート):目標1に対応(20%)          課題2(フィールド調査グループワーク):目標2に対応(20%)          課題3(研究計画ワークシート):目標3に対応(20%)          課題4(研究計画まとめ):目標4に対応(40%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]          ワークシート・レポート提出後、プレゼンテーション後に評価コメントをフィードバックします。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]          詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]          詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。          成績評価方法:課題1~4</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的スキルにより解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。          成績評価方法:課題1~4</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-3/個人、家族、コミュニティ、福祉の視点から、より質の高い生活のありようを提案するためのコミュニケーション能力をもっている。          成績評価方法:課題1~4</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-2/よりよい生活の実現に向けて、他者の多様な価値観を理解して尊重し、円満な人間関係を基盤に人々と協調・協働できる。          成績評価方法:課題1~4</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢          成績評価方法:課題1~4</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力          成績評価方法:課題1~4</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力          成績評価方法:課題1~4</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力          成績評価方法:課題1~4</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]          書籍名:資料を適宜配布します。著者名: 出版社名: ISBN:</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]          書籍名:授業で適宜紹介します。著者名: 出版社名: ISBN:</p>			

科目名	テキスタイルCAD演習	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	中西 正恵		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ] CAD(Computer Aided Design)を活用して、各種織物や編物、刺繍加工などテキスタイルデザインができる。 布素材を使って、アパレル製品、服飾雑貨などのシミュレーションができる。</p> <p>[ 授業概要 ] 糸や布の種類や製造法など基礎的事項を踏まえたうえで、テキスタイルCADを用いて織物や編物などの素材設計を演習する。 さらに、刺繍やプリント柄の作成、衣服のアイテム画の作成、製品イメージの作成、試作等をする。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ] これまでに学修した布や被服の授業内容は復習しておいてください。 テキスタイルや被服関連の情報、テレビ番組、展覧会などを見る機会を積極的にもって下さい。 各回、予習・復習・課題を合わせて1時間程度。</p> <p>[ 授業計画 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業概要説明、デザインソフトの基本操作</li> <li>2. 織物デザイン(組織と色系効果、糸の画像登録等)</li> <li>3. 織物デザイン(格子柄のデザイン～衣服シミュレーション)</li> <li>4. 織物デザイン(紋織物のデザイン)</li> <li>5. スタイル画、マップ作成</li> <li>6. ニットデザイン(編組織、ニット図案、配色展開)</li> <li>7. ニットデザイン(靴下のデザイン・製品イメージ)</li> <li>8. パイル織物のデザイン、絨のデザインと着物シミュレーション</li> <li>9. 仮想縫製システムを使った衣服のシミュレーション</li> <li>10. プリント柄のデザイン(柄作成・製品(バッグ等)イメージ)</li> <li>11. 刺繍のデザインと刺繍データ作成</li> <li>12. デジタルプリント・コンピューターミシン刺繍の作品制作</li> <li>13. マップ作成、プレゼン、まとめ</li> </ol>			

科目名	テキスタイルCAD演習	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	中西 正恵		
<p>[ 成績評価方法 ] 課題提出物(65%)・プレゼン(10%)・授業態度(25%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 基本的に授業時間内や manabaで行います。実物作品の返却についてはKISSで連絡します。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。 成績評価方法:課題提出物</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:課題提出物、授業態度</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:課題提出物、プレゼン</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:課題提出物、プレゼン、授業態度</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]</p>			

科目名	都市デザイン演習	後期	1 単位
サブタイトル		講義	
担当者	梶木 典子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 自ら考え、動き、振り返るという作業を通して、都市への多様な関わり方やその結果もたらされる生活の質から、今後の都市のあり方を考え、発信する力をつけること。</p> <p>[授業概要] 都市への関わり方は様々である。都市の課題が複雑かつ多様化していることは、その解決が容易ではなくなってきている。また、課題に対するアプローチも多様化している。すでにある空間やコミュニティに向き合って、これからの時代の都市のあり方や使い方を考え、都市とそこに暮らす人々の生活を魅力あるものにするための実践を積み重ねる。具体的にはテーマ(例:安全なまちづくり)を取り上げ、その問題の構造をグループで討議しながら明らかにし、研究方法の検討、調査・実験・実習の実施、結果分析・考察、プレゼンテーション、研究レポートをまとめるといった一連の流れに従い取り組む。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回の授業について予習・復習2時間程度。 アンケート方法や、インタビュー方法など、基本的な調査研究方法について学んでいること。 類似施設やまちづくりの視察等。調査実施後は、記録を行う。</p> <p>[授業計画] 1. ガイダンス:都市デザインとは? 2. テーマの設定 3. 研究方法の検討 1(先行事例から学ぶ) 4. 研究方法の検討 2(研究方法の種類) 5. フィールド調査 1(現地調査) 6. フィールド調査 2(現地調査) 7. 研究結果の分析 8. 研究結果の考察 9. 研究成果の発表準備、報告書まとめ 10. 研究成果の発表 11. 地域の課題を解決するための住宅設計 1(エスキス) 12. 地域の課題を解決するための住宅設計 2(作図) 13. 地域の課題を解決するための住宅設計の発表</p>			

科目名	都市デザイン演習	後期	1 単位
サブタイトル		講義	
担当者	梶木 典子		
<p>[ 成績評価方法 ]          演習への取組態度、成果物、発表(80%)、レポート(20%)など総合的に評価する。          毎回の発表内容について、課題と考えられる点や評価できる点についてコメントする。</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]          授業内で、コメント・解説を行う。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]          詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]          詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。          成績評価方法:演習への取組態度、成果物、発表(80%)、レポート(20%)など総合的に評価する。</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。          成績評価方法:演習への取組態度、成果物、発表(80%)、レポート(20%)など総合的に評価する。</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-1/社会全体の発展やグローバルな問題について、生活に基盤を置く地道な視点で考察することができる。          成績評価方法:演習への取組態度、成果物、発表(80%)、レポート(20%)など総合的に評価する。</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的スキルにより解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。          成績評価方法:演習への取組態度、成果物、発表(80%)、レポート(20%)など総合的に評価する。</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-3/個人、家族、コミュニティ、福祉の視点から、より質の高い生活のありようを提案するためのコミュニケーション能力をもっている。          成績評価方法:演習への取組態度、成果物、発表(80%)、レポート(20%)など総合的に評価する。</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-1/社会変化に追従して受動的になりがちな生活の問題点を指摘し、個人や家族の価値を堅持し、主体的で創造的な生活の実現を目指す意欲や実践力がある。          成績評価方法:演習への取組態度、成果物、発表(80%)、レポート(20%)など総合的に評価する。</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-2/よりよい生活の実現に向けて、他者の多様な価値観を理解して尊重し、円満な人間関係を基盤に人々と協調・協働できる。          成績評価方法:演習への取組態度、成果物、発表(80%)、レポート(20%)など総合的に評価する。</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢          成績評価方法:演習への取組態度、成果物、発表(80%)、レポート(20%)など総合的に評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢          成績評価方法:演習への取組態度、成果物、発表(80%)、レポート(20%)など総合的に評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢          成績評価方法:演習への取組態度、成果物、発表(80%)、レポート(20%)など総合的に評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢          成績評価方法:演習への取組態度、成果物、発表(80%)、レポート(20%)など総合的に評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢          成績評価方法:演習への取組態度、成果物、発表(80%)、レポート(20%)など総合的に評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力          成績評価方法:演習への取組態度、成果物、発表(80%)、レポート(20%)など総合的に評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力          成績評価方法:演習への取組態度、成果物、発表(80%)、レポート(20%)など総合的に評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力          成績評価方法:演習への取組態度、成果物、発表(80%)、レポート(20%)など総合的に評価する。</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]</p>			

科目名	都市デザイン論		前期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	梶木 典子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業		
<p>[到達目標]</p> <p>都市計画の基本的事項とまちづくりにおける住民参加の重要性について理解できる。</p> <p>[授業概要]</p> <p>われわれの生活は、地域と切り離して考えることができない。しかし、地域というものは、身近でありながら、地域住民として主体的に関わっていこうとする人は少ないのが現状である。まちづくりは、多様な主体が協働して、時間をかけて成果を生み出していくものである。簡単そうにみえて大変凝縮されたノウハウと技術が求められるものである。</p> <p>本講では、まちづくりのプロセスを実践できるような知識と技術を習得するために、都市計画の変遷、都市のデザイン、まちづくりデザイン、コミュニティデザイン、都市景観、法規制の理解等を学ぶとともに、ワークショップの進め方や合意形成の技術を実践を通して学ぶこととする。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>各回の授業についての予習・復習4時間程度。 国内外の様々なまちへ関心を持つこと。都市デザインに関わる図書を読んでおくこと。 まちあるきを習慣的に行い、まちの課題を発見し、それらの背景について自分で調べて明らかにできるようにする。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 都市デザインとは、本講のガイダンス</li> <li>2. 都市デザインの系譜1(世界のまちづくり)</li> <li>3. 都市デザインの系譜2(日本のまちづくり)</li> <li>4. 子どもの遊び環境1(遊びとは)</li> <li>5. 子どもの遊び環境2(外遊び)</li> <li>6. 子どもの遊び環境3(遊び場づくり)</li> <li>7. 緑と公園のデザイン1(公園緑地の歴史・制度)</li> <li>8. 緑と公園のデザイン2(神戸市の公園)</li> <li>9. 緑と公園のデザイン3(住民参加の公園づくり)</li> <li>10. 都市計画法1(都市計画の仕組み)</li> <li>11. 都市計画法2(土地利用コントロール)</li> <li>12. まちづくりにおける住民参画1(住民とまちづくり)</li> <li>13. まちづくりにおける住民参画2(コミュニティを支えるマネジメント)、まとめ</li> </ol>				

科目名	都市デザイン論	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	梶木 典子		
<p>[ 成績評価方法 ] 試験(85%)と提出課題(15%)により評価する。</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 試験後、結果について解説する。 提出された課題については適宜、フィードバックを行う。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。 成績評価方法:試験(85%)と提出課題(15%)</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法:試験(85%)と提出課題(15%)</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-1/社会全体の発展やグローバルな問題について、生活に基盤を置く地道な視点で考察することができる。 成績評価方法:試験(85%)と提出課題(15%)</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-1/社会変化に追隨して受動的になりがちな生活の問題点を指摘し、個人や家族の価値を堅持し、主体的で創造的な生活の実現を目指す意欲や実践力がある。 成績評価方法:試験(85%)と提出課題(15%)</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:試験(85%)と提出課題(15%)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:試験(85%)と提出課題(15%)</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] 書籍名:【新版】アメリカ大都市の死と生 著者名:ジェイン・ジェイコブズ/著 山形浩生/訳 出版社名:鹿島出版会 ISBN:9784306072749 書籍名:生活の視点でとく 都市計画 第2版 著者名:葉袋 奈美子 出版社名:彰国社 ISBN:9784395321995</p>			

S72150 [ HHI3-010 ]

科目名	人間生活工学	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	大森 正子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[ 到達目標 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人の暮らしを学ぶ家政学の基礎として人間のいろいろな機能について、生活行動を通して生理学的な調節作用を理解できるようになる</li> <li>・デザインと日常的な生活行動を理解する</li> <li>・人の暮らしについて考えられる応用力と発信力を身につける</li> </ul> <p>[ 授業概要 ]</p> <p>ヒトの体に備わっている数々の調節作用を理解することは、衣・食・住を総合的に考え、健康的なライフスタイルを考える上で重要であり、家政学を学ぶための基礎である。この講義では、生活行動を通して、人体の機能を理解することを目的とする。立っているときには、どうして足がむくむのか。それを防ぐにはどのようなことが重要かとも考えてみる。また、日常、人が普通に行なっている生活行動に対してデザインについて疑問をもって眺めてみると、新しい発見がある。それぞれの行動によって起こる身体の変化には生理学的な意味がある。本講では家政学を考える基礎について人間の生理機能とデザインの側から概説する。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]</p> <p>教科書、参考書等をよく読み、前回の授業内容を復習し理解して、次回の授業の予習をしておくこと。(予習復習合わせて4時間程度)</p> <p>[ 授業計画 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人間工学とは(ガイダンス)</li> <li>2. 人体寸法とデザイン</li> <li>3. 運動機能と身体負担</li> <li>4. 感覚の種類と視覚機能</li> <li>5. 視覚の生理と心理</li> <li>6. 認知人間工学</li> <li>7. ヒューマンエラーと安全設計</li> <li>8. 疲労・ストレスと快適性デザイン</li> <li>9. ユニバーサルデザインと人間工学</li> <li>10. 機器と人間工学</li> <li>11. 住空間と設備設機器の人間工学設計</li> <li>12. 人間工学的改善</li> <li>13. まとめ</li> </ol>			

科目名	人間生活工学	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	大森 正子		
<p>[ 成績評価方法 ]  試験(60%)、授業毎のミニ・ペーパー(20%)、授業中に課すレポート(20%)を総合的に評価する。</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  課題提出物は授業中に返却します。試験の問題回収後に、解答の解説をします。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]  学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]  教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]  書籍名:初めて学ぶ人間工学 著者名: 出版社名:理工図書 ISBN:9784844608417</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]</p>			

科目名	人間生活工学演習	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	大森 正子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 人が着用する衣服によって身体にどのような生理的变化が生じるのか、実験を通して理解し、講義で得た知識を基に体系的に結びつけて理解できるようになることを目標とする。</p> <p>[授業概要] 人間－衣服－環境系の関わりについて、総合的に考えて理解することをめざして、実際に各種の生理学的実験を行い、結果について討議し、内容をまとめてレポートする。期間中には前半と後半の2回に分けてパワーポイントを用いた実習成果の発表会を行う。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 教科書、参考書、実習書等をよく読み、前回の授業実験内容を復習し理解してレポートを作成し、次回の実験授業に関する予習を十分にしておくこと。(予習復習合わせて2時間程度)</p> <p>[授業計画] 1. 利用機器の取扱い法や実習上の安全および履修・レポート提出に関する説明 2. 身体の高さを測る 3. 疲労・作業能率を測る 4. ストレスを測る 5. 目の働き・反応を測る 6. 交感神経活動を測る 7. 実習成果のまとめ(パワーポイントによるプレゼンテーション用スライド作成) 8. 前半成果発表会(各班2テーマずつ:パワーポイントによる発表) 9. 皮膚の感受性を測る 10. 皮膚の温度・湿度を測る 11. 発汗計測演習 12. 実習成果のまとめ(パワーポイントによるプレゼンテーション用スライド作成) 13. 後半成果発表会(各班2テーマずつ:パワーポイントによる発表)</p>			

科目名	人間生活工学演習	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	大森 正子		
<p>[ 成績評価方法 ]  演習中の取組み・毎回の演習後に提出するレポート内容および提出状況(70%)、2回実施するpptによる発表の出来ばえ(20%)、最後に行なう口頭試問試験の結果(10%)を総合的に評価する。</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  課題提出物は授業中に返却します。プレゼンテーション、口頭試問等のフィードバックは適宜行います。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]  学科DP番号/DP内容:家政3-2/よりよい生活の実現に向けて、他者の多様な価値観を理解して尊重し、円満な人間関係を基盤に人々と協調・協働できる。  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]  教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力  成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]</p>			

科目名	パーソナルファイナンス論	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	ガンガ 伸子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]          これからの若者は、親の世代とは異なる社会環境の中で、必ずしもモデルのない人生設計において、ライフデザイン、マネジメントが必須となる。そのためには、金融に関する知識と判断する能力(金融リテラシーのエンパワメントが必要となる。この授業では、変動する社会のなかで、各自のライフスタイルを見直し、自らの生活をデザインするために必要なパーソナルファイナンスの知識を習得することができるようになる。</p> <p>[授業概要]          はじめに、生活者の側から金融リテラシーによるエンパワメントについて考える。次に、家計管理・生活設計についての知識について学ぶ。さらに、多様なライフスタイルやライフサイクルとともに変化する家計の実態を解析するための分析方法について学ぶ。また、実際の家計管理や生活設計の方法については、家計簿診断、ライフイベント表やキャッシュフロー表の作成から、体験的に学んでいく。最後に、生活困難者の問題等、これからの社会のあり方について考えてみる。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]          「くらしの経済学」「生活経営学」「生活経済学」を履修していること。          各回の授業についての予習・復習4時間程度。          生活の各場面において金融との関わりがある。日ごろから、身の回りの金融のさまざまなことに関心をもつこと。          FP検定取得希望者は、授業の他にFP検定用の問題集で勉強すること。</p> <p>[授業計画]          1. イントロダクション・生活から金融を考える、お金と経済          2. 家計管理と生活設計(人生とお金)          3. 家計管理と生活設計(稼ぐ・使う)          4. 家計管理と生活設計(生活を設計する①:生活設計の重要性、枠組み)          5. 家計管理と生活設計(生活を設計する②:金融ケイパビリティ、人生の3大資金)          6. 家計管理と生活設計(キャッシュフロー表の作成)          7. 家計管理と生活設計(貯める・遣す)          8. 金融と生活(お金を借りる)          9. 金融と生活(生活者のリスクについて考える①:生活者をとりまくリスク、社会保険と生命保険)          10. 金融と生活(生活者のリスクについて考える②:損害に関する保険)          11. 金融と生活(お金をふやす①②)「学外特別講師」(予定)          12. 社会とつながる(お金について相談する、持続可能な社会を創る)          13. まとめ</p>			

科目名	パーソナルファイナンス論	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	ガンガ 伸子		
<p>[ 成績評価方法 ] 30分以上の遅刻は欠席とみなす。 小テストと授業時における課題評価(50%)、定期試験(50%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 授業時に、小テストおよび課題のポイントを解説する。 定期試験は授業時の解説をもとに、自己採点すること。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-1/生活の質の向上と人類の福祉に貢献するための家政学の目的と意義を理解している。 成績評価方法:授業時における小テスト・課題および定期試験により総合的に評価する。</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。 成績評価方法:授業時における小テスト・課題および定期試験により総合的に評価する。</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法:授業時における小テスト・課題および定期試験により総合的に評価する。</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-1/社会全体の発展やグローバルな問題について、生活に基盤を置く地道な視点で考察することができる。 成績評価方法:授業時における小テスト・課題および定期試験により総合的に評価する。</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的スキルにより解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。 成績評価方法:授業時における小テスト・課題および定期試験により総合的に評価する。</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-1/社会変化に追従して受動的になりがちな生活の問題点を指摘し、個人や家族の価値を堅持し、主体的で創造的な生活の実現を目指す意欲や実践力がある。 成績評価方法:授業時における小テスト・課題および定期試験により総合的に評価する。</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-3/責任ある消費者市民として環境問題や人権問題に配慮した消費者行動ができ、啓発活動や企業活動に参画することができる。 成績評価方法:授業時における小テスト・課題および定期試験により総合的に評価する。</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:授業時における小テスト・課題および定期試験により総合的に評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:授業時における小テスト・課題および定期試験により総合的に評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:授業時における小テスト・課題および定期試験により総合的に評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:授業時における小テスト・課題および定期試験により総合的に評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:授業時における小テスト・課題および定期試験により総合的に評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:授業時における小テスト・課題および定期試験により総合的に評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:授業時における小テスト・課題および定期試験により総合的に評価する。</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] 書籍名:生活者の金融リテラシー 著者名:吉野直行監修 出版社名:朝倉書店 ISBN:978-4-254-50031-8</p>			

S73180 [ HHS3-004 ]

科目名	被服衛生学	前期	2 単位
サブタイトル	衣服の快適性と健康	講義	
担当者	深沢 太香子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他	生理的データの分析・評価	実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

環境に応じた被服の選択、着衣方法について、ヒトの衛生・生理的な観点から基礎的な概念を理解・修得する。そして、快適かつ健康・安全な衣服の着方を日常生活に反映・応用する力を修得する。

[授業概要]

乳幼児から高齢者など、様々な特徴を示すヒトが、健康・安全で快適な衣生活を送るために、望ましい着衣を正しく理解することは重要である。そこで、本授業では、人体の生理機能を確認し、それらが着衣によって受ける影響について解説する。さらに、被服の持つ多様な機能や様々な生活環境や生活シーンとの相互関係についても解説する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

- ・授業内容を復習しながら理解するために、ミニペーパー課題を提出することがある。
- ・次回講義での教科書範囲を指示するので予習を4時間程度行う。
- ・講義に関連するニュースや情報を積極的に収集するように日頃から心掛ける。各自で収集した情報をテーマとしたレポートを課題として提出することがある。

[授業計画]

1. オリエンテーション、衣服の快適性と健康
2. 衣服に関する人体生理I:体温調節
3. 衣服に関する人体生理II:体熱平衡
4. ヒトと温熱環境
5. 衣服による気候調節I:熱移動
6. 衣服による気候調節II:水分移動
7. 衣服による圧迫
8. 衣服と身体の動き
9. 衣服の汚れと皮膚障害
10. 乳幼児・子どもと衣服
11. 高齢者と衣服
12. 各種の被服と機能
13. まとめ

科目名	被服衛生学	前期	2 単位
サブタイトル	衣服の快適性と健康	講義	
担当者	深沢 太香子		

[ 成績評価方法 ]

試験(60%)、課題(レポートなど)(40%)により総合評価します。

[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]

提出課題にコメントを付して返却する。

[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ メールアドレス ]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]

学科DP番号/DP内容: 家政2-1/社会全体の発展やグローバルな問題について、生活に基盤を置く地道な視点で考察することができる。

成績評価方法: 試験と課題(レポートなど)より評価。

学科DP番号/DP内容: 家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的スキルにより解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。

成績評価方法: 試験と課題(レポートなど)より評価。

学科DP番号/DP内容: 家政3-3/責任ある消費者市民として環境問題や人権問題に配慮した消費者行動ができ、啓発活動や企業活動に参画することができる。

成績評価方法: 課題(レポートなど)より評価。

[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢

成績評価方法: 授業への積極性、試験と課題(レポートなど)から評価。

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢

成績評価方法: 試験と課題(レポートなど)より評価。

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力

成績評価方法: 授業への積極性、試験と課題(レポートなど)から評価。

[ 教科書(ISBN) ]

書籍名:衣環境の科学 著者名:田村照子 出版社名:建帛社 ISBN:9784767910475

[ 参考書(ISBN) ]

書籍名:アパレルと健康 基礎から進化する衣服まで 著者名:日本家政学会被服衛生学部会/編 出版社名:井上書院 ISBN:9784753023226

科目名	被服科学実験	前期	1 単位
サブタイトル		実験	
担当者	春元 隆		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[ 到達目標 ]

生活材料及び被服管理に関する知識、すなわち生活材料学、生活科学基礎実験、被服管理学などで学習した知識を、実験を通じた体験により深く理解することを目標とします。

[ 授業概要 ]

生活材料学、繊維材料学、被服管理学で学んだ知識をこの実験を通して強化します。机上での理論から実験を通して、体感する事でより深くこれらの知識をより深めます。

実験では基本的には4～6名程度のグループで実験を進めます。実験は一回で完結しますが、それに関するレポートを提出してもらいます。また実験の内容に関する筆記テスト(試験)も実施します。

[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]

生活材料学、繊維材料学、被服管理学の知識を基に授業を進めますので、これらの授業の復習が必要です。

実験の指示書を事前に配布します。十分に予習して実験の内容を理解しておいてください。またレポートを作成し、実験の内容を復習しておいてください。

[ 授業計画 ]

1. 実験の進め方、概要、安全上の注意
2. (実験1)樹脂加工と熱処理による織物の形態保持
3. (実験2)織物の呈色反応と繊維の鑑別
4. (実験3)繊維の形態
5. (実験4)糸の太さ、より数、など糸の構成
6. (実験5)様々な布の水に対する影響
7. (実験6)布の硬さ、ドレープ性
8. (実験7)織物の防しわ、表面摩擦
9. (実験8)縫い目強さ
10. (実験9)縫い縮み、縫いズレ評価
11. 実験内容の解説1(実験1～4)
12. 実験内容の解説2(実験5～9)
13. まとめ(実験結果と繊維製品の品質、品質管理)

科目名	被服科学実験	前期	1 単位
サブタイトル		実験	
担当者	春元 隆		
<p>[ 成績評価方法 ] レポート(80%)、試験(20%)で評価します。</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] レポート提出後にコメントを返却します。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法:レポート・試験と、授業での質疑で評価します。</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的スキルにより解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。 成績評価方法:レポート・試験と、授業での質疑で評価します。</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-3/責任ある消費者市民として環境問題や人権問題に配慮した消費者行動ができ、啓発活動や企業活動に参画することができる。 成績評価方法:レポート・試験と、授業での質疑で評価します。</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:レポート・試験と、授業での質疑で評価します。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:レポート・試験と、授業での質疑で評価します。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:レポート・試験と、授業での質疑で評価します。</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] 書籍名:なし。実験テキスト(指示書)を第1回目の授業で配布します。著者名:- 出版社名:- ISBN:-</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] 書籍名:被服材料実験書 著者名:石川欣造/編 出版社名:同文書院 ISBN:9784810311044 書籍名:衣服材料の科学 著者名:島崎 恒蔵 出版社名:建帛社 ISBN:9784767910499 書籍名:新改訂版 繊維製品の基礎知識 著者名:(一社)日本衣料管理協会編 出版社名:(一社)日本衣料管理協会 ISBN:-</p>			

S71150 [ HHI2-009 ]

科目名	被服管理学	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	花田 美和子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他	授業内小テスト・課題	実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・被服の洗浄理論を理解し、素材に応じた適切な管理方法を選択することができる。</li> <li>・染料と染着機構を理解し、変退色と染色堅ろう度について説明することができる。</li> <li>・着用と管理によって生じたトラブルの原因と対処方法を考えることができる。</li> </ul> <p>[授業概要]</p> <p>日常の被服の手入れや季節ごとの保管から最終的な廃棄に至るまでを取り扱います。特に、被服管理の中心となる洗濯について科学的な視点から解説します。また、被服の染色と繊維の加工についても学びます。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>テキストの当該箇所を読んで予習し、配布資料等で復習をしてください。課題を出すこともあります。合計4時間程度</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 衣服の汚れと洗濯用水</li> <li>2. 洗剤の種類と変遷、環境問題</li> <li>3. 洗剤の成分と界面活性剤のはたらき</li> <li>4. ビルダール、家庭洗濯と洗濯機</li> <li>5. 漂白と増白、しみぬき</li> <li>6. 陽イオン界面活性剤と柔軟剤</li> <li>7. 保管、商業クリーニング</li> <li>8. 取り扱い表示とリサイクル</li> <li>9. 染色と染料</li> <li>10. 染色の方法、伝統染色</li> <li>11. 変退色と染色堅ろう度</li> <li>12. 色に関わるトラブル、繊維加工</li> <li>13. まとめ</li> </ol>			

科目名	被服管理学	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	花田 美和子		
<p>[ 成績評価方法 ] 試験(60%)小テスト・課題(40%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 授業時またはmanabaにておこないます。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的スキルにより解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-1/社会変化に追従して受動的になりがちな生活の問題点を指摘し、個人や家族の価値を堅持し、主体的で創造的な生活の実現を目指す意欲や実践力がある。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] 書籍名:改訂被服整理学 著者名:牛田智ほか 出版社名:一般社団法人日本衣料管理協会 ISBN:なし</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] 書籍名:染色加工学 著者名:牛田智 出版社名:一般社団法人衣料管理協会 ISBN:なし</p>			

科目名	ファッションデザイン演習	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	福西 由美子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標]  デザインの基本論理を理解し、ファッションにおいてデザインの機能性と審美性について理解を深め、アイデアの発想、デザイン表現できる能力を養うことを目標とする。</p> <p>[授業概要]  アパレル企業にて婦人服企画及びフリーランスのファッションイラストレーター、デザイン活動経験を有する者が、デザインを具体的に表現できるよう指導する。  服飾デザインの役割や価値を理解し、デザインの構成要素である色彩、形態、素材の基礎知識を課題を通じて身につける。  ファッションデザインの基本的な考え方、ファッション・ドローイングで具体的な描写テクニックを習得し、アイデアの発想からファッションデザインへ展開するプロセスを学ぶ。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]  各回、予習復習合わせて2時間程度。ファッション分野だけでなくアートやカルチャー、建築、店頭ディスプレイ等を観察し幅広い視野でデザインを捉える意識をもつこと。  授業毎の課題は、期日に提出するよう心がけること。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ファッションデザイン概論 I デザインの定義、デザインの目的と役割</li> <li>2. ファッションデザイン概論 II 服飾デザインの歩み</li> <li>3. デザインの基礎 I 形とシルエット、構成について</li> <li>4. デザインの基礎 II 素材の特性と造形性、トレンド感性について</li> <li>5. ファッションドローイング I 基本プロポーションを描く</li> <li>6. ファッションドローイング II 応用プロポーションを描く</li> <li>7. ファッションドローイング III 顔・ヘアスタイル、着装スタイルを描く</li> <li>8. ファッションドローイング IV ハンガーイラストを描く</li> <li>9. ファッションスタイル表現 I アイテム別スタイリング表現</li> <li>10. ファッションスタイル表現 II 画材の使い方・テキスタイル表現</li> <li>11. ファッションデザイン展開 I アイデアの発想</li> <li>12. ファッションデザイン展開 II アイデアからオリジナルデザイン表現へ</li> <li>13. ファッションデザイン展開 III オリジナルデザイン作品・プレゼンテーション</li> </ol>			

科目名	ファッションデザイン演習	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	福西 由美子		
<p>[ 成績評価方法 ]  授業内課題 (80%)  課題への取り組み姿勢・プレゼンテーション (20%) で評価する。</p> <p>[ 課題 (試験やレポート等) に対するフィードバックの方法 ]  課題は、後日添削して返却する。</p> <p>[ オフィスアワー (質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー (DP) ]</p> <p>学科DP番号 / DP内容: 家政1-2 / 家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。  成績評価方法: 授業内課題の内容、完成度を総合的に評価する。</p> <p>学科DP番号 / DP内容: 家政2-1 / 社会全体の発展やグローバルな問題について、生活に基盤を置く地道な視点で考察することができる。  成績評価方法: 授業内課題において、基礎的な考え方や知識を活用し、自己の考え方、考察ができているかを評価する。</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等 / 資質・能力等の内容: 問題発見力 / 現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力  成績評価方法: 課題のテーマがワークシートや作品に反映されているか等を評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等 / 資質・能力等の内容: 計画・実行力 / 課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力  成績評価方法: 課題へ取り組む姿勢、内容、提出状況を総合的に評価する。</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ]</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ]</p>			

科目名	ファッションビジネス論	後期	2 単位
サブタイトル	ファッションブランドを学ぶ	講義	
担当者	田中 健一		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[ 到達目標 ]  ファッションビジネスの基礎知識とマーケティング戦略について認識し、理解を深める。  ファッションビジネスにおけるのビジネスパーソンとしての基礎知識を習得する。</p> <p>[ 授業概要 ]  授業概要四ヶセサリ販売の実務に携わる教員がファッションビジネスについて指導します。ファッションビジネスは、生活者のライフスタイルの中から生まれるニーズやウォンツを素早く察知し、魅力的・創造的・機能的・合理的な要素を付加し、さらに価値ある商品に仕上げ、生活者に提供する最先端のビジネスです。つまり、ファッション生活を楽しむ生活者のためのビジネスと言えます。現在、ファッションは、「衣・食・住」など広範囲に定義づけられており、そのため、幅広い知識を学んでいきます。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]  ファッション情報や世の中の出来事に関心を持つこと。(予習2時間、復習2時間)</p> <p>[ 授業計画 ]  授業計画□ 授業計画について  2. ファッションビジネスの定義と主な専門分野内容  3. ファッション産業の分類、構造、特性  4. ファッションビジネスの変遷  5. ブランド戦略とマーケット  6. ファッション消費と消費者行動  7. ファッションマーケティング1(プロモーションの実践)  8. ファッションマーケティング2(価格のつけ方)  9. ファッションマーチャンダイジング1(商品企画と仕入れ計画の基礎)  10. ファッションマーチャンダイジング2(販売計画と在庫管理の応用)  11. ビジネス基礎知識1(経営の基本理論)  12. ビジネス基礎知識2(会計・財務の基礎と企業分析)  13. ビジネス基礎知識3(ビジネスコミュニケーションの基礎)</p>			

科目名	ファッションビジネス論	後期	2 単位
サブタイトル	ファッションブランドを学ぶ	講義	
担当者	田中 健一		
<p>[ 成績評価方法 ]  授業内レポート・ミニテスト50% 定期試験50%  レポートは期限厳守のこと。</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  授業内でレポートテーマ、ミニテストの解答を解説します。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]  学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的技能により解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。  成績評価方法:授業内レポート・ミニテスト50% 定期試験50%</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]  教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力  成績評価方法:授業内レポート・ミニテスト50% 定期試験50%</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]</p>			

科目名	フィールドワーク	前期	2 単位
サブタイトル	豊かな暮らしを創造するための課題解決型フィールドワーク	実習	
担当者	十一 玲子、大森 正子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

- ・家政学に関連する実践的な取り組みを企業や諸施設で実感し、これに関するテーマで調査・研究、制作や実践活動ができるようになる。
- ・キャンパスから離れて、フィールド(研究の現地)で多様な価値観や考え方・ものの見方に出会い、自分自身の成長につなげていく。
- ・この授業で取り上げたテーマの成果は、報告書やポスターとしてまとめるとともに、口頭発表も行い、第三者に伝えられるようになる。

[授業概要]

フィールドワークとは、「フィールド」として選択した場所に行き、テーマに即して体験や聞き取り、調査・研究活動を行なうことを意味する。本授業では、班ごとに設定したテーマに関連する企業や美術館・工房等の施設の訪問・見学・オンラインインタビューにより、聞き取りなどの調査研究や、テーマに関連したものを制作して提案するなど、実践的な創意工夫のある有意義な時間を得る。そして、研究の成果をポスターや報告書にまとめ、発表し、意見交換を行う。

\* 毎週の授業の他、事前打ち合わせや学外見学や実践活動等は、各班のメンバーと班担当教員の空き時間、週末や授業のない日、夏季休業期間中等に設定するため、このことを了解しておくこと。また、自己負担が適当と認められる学外見学時の飲食費、交通費、体験費用等が発生することも了解しておくこと。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

設定したテーマに関心をもち関連する分野・領域の内容に関して資料を収集し他者に説明ができるように学修しておく。調べた資料は報告書や発表時に参考資料として必要となるため整理し出典を必ず記録しておくこと。

[授業計画]

1. イントロダクション(フィールドワークについて)(十一・大森)
2. 事前学習(テーマ設定1)(十一・大森)
3. 事前学習(テーマ設定2)(十一・大森)
4. 事前学習(テーマ設定3)(十一・大森)
5. 事前学習(データ解析1)(十一・大森)
6. 事前学習(データ解析2)(十一・大森)
7. 事前学習(データ解析3)(十一・大森)
8. 事前学習(文献調査1)(十一・大森)
9. 事前学習(文献調査2)(十一・大森)
10. 事前学習(文献調査3)(十一・大森)
11. 事前学習(事前資料作成1)(十一・大森)
12. 事前学習(事前資料作成2)(十一・大森)
13. 事前学習(事前質問票の作成)(十一・大森)
14. フィールドワーク(学外研修1)(十一・大森)
15. フィールドワーク(学外研修1)(十一・大森)
16. フィールドワーク(学外研修2)(十一・大森)
17. フィールドワーク(学外研修2)(十一・大森)
18. フィールドワーク(学外研修2)(十一・大森)
19. フィールドワーク(学外研修2)(十一・大森)
20. 事後学習(ふりかえり)(十一・大森)
21. 事後学習(レポート、パネルポスター作成)(十一・大森)
22. 事後学習(レポート、パネルポスター作成)(十一・大森)
23. 事後学習(レポート、パネルポスター作成)(十一・大森)
24. 事後学習(レポート、パネルポスター作成)(十一・大森)
25. 事後学習(レポート、パネルポスター作成)(十一・大森)
26. 発表(十一・大森)

科目名	フィールドワーク	前期	2 単位
サブタイトル	豊かな暮らしを創造するための課題解決型フィールドワーク	実習	
担当者	十一 玲子、大森 正子		
<p>[ 成績評価方法 ]  授業への取り組み姿勢や研究・実践活動の成果(40%)、報告書・ポスター・発表等(30%)、個人レポート(30%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  報告書、ポスター、発表原稿等のフィードバックは適宜行う。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。  成績評価方法:上記、成績評価による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-1/社会全体の発展やグローバルな問題について、生活に基盤を置く地道な視点で考察することができる。  成績評価方法:上記、成績評価による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的スキルにより解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。  成績評価方法:上記、成績評価による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-3/個人、家族、コミュニティ、福祉の視点から、より質の高い生活のありようを提案するためのコミュニケーション能力をもっている。  成績評価方法:上記、成績評価による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-1/社会変化に追従して受動的になりがちな生活の問題点を指摘し、個人や家族の価値を堅持し、主体的で創造的な生活の実現を目指す意欲や実践力がある。  成績評価方法:上記、成績評価による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-2/よりよい生活の実現に向けて、他者の多様な価値観を理解して尊重し、円満な人間関係を基盤に人々と協調・協働できる。  成績評価方法:上記、成績評価による</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-3/責任ある消費者市民として環境問題や人権問題に配慮した消費者行動ができ、啓発活動や企業活動に参画することができる。  成績評価方法:上記、成績評価による</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  成績評価方法:上記、成績評価による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力  成績評価方法:上記、成績評価による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力  成績評価方法:上記、成績評価による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力  成績評価方法:上記、成績評価による</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ]</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ]</p>			

S70230 [ HHI3-001 ]

科目名	福祉住環境学	後期	2 単位
サブタイトル	居住福祉	講義	
担当者	田中 栄治		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[ 到達目標 ]

- 目標1:福祉住環境を取り巻く社会状況や諸制度について理解し説明できる。  
 目標2:福祉住環境整備の考え方および福祉用具の活用法について理解し説明できる。  
 目標3:高齢者・障害者の心身特性ならびに福祉住環境整備の基本的技術や整備手法について理解し説明できる。

[ 授業概要 ]

一級建築士・インテリアプランナー・福祉住環境コーディネーターの資格を持ち、建築設計・インテリアデザインの実務経験のある教員が、高齢者や障害者の肢体不自由について知るとともに、これに対処する福祉住環境の考え方を学ぶ科目を指導します。具体的には、高齢者・障害者の心身特性の多様性と実際について理解し、生活活動をサポートする個別の福祉用具の活用法を知るとともに、高齢者や障害者のQOLを高める福祉住環境整備の設計技術を学びます。また、福祉住環境をとりまく法規と行政サポートを知ること、福祉住環境整備における自助・共助・公助の効果的な設定についても理解します。

[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]

高齢者や障害者がおかれている肢体不自由の状況について思いを巡らす習慣をつけてください。また、高齢者福祉、障害者福祉にかかわる時事問題が理解できるように関心の幅を広げ、普段の生活のなかでまちや建築・住まいにどのような配慮が行われているか意識して観察してください。各回、予習復習合わせて4時間程度行ってください。

[ 授業計画 ]

- 1.福祉住環境を取り巻く社会状況
- 2.福祉住環境に関連する理論や考え方
- 3.福祉住環境に関する諸制度
- 4.生活機能と基本動作の理解
- 5.福祉用具の内容とその選択
- 6.福祉住環境整備の考え方
- 7.福祉用具の活用
- 8.福祉住環境整備の基本技術(技術基準、段差、手すり、動作空間)
- 9.福祉住環境整備の基本技術(建具、仕上げ材、家具、室内環境)
- 10.生活行為別に見た空間整備手法(就寝、整容、排泄、入浴)
- 11.生活行為別に見た空間整備手法(移動、食事、家事、外出)
- 12.障害に配慮して計画された住まい
- 13.ライフステージに配慮した住まいと福祉住環境学のまとめ

科目名	福祉住環境学	後期	2 単位
サブタイトル	居住福祉	講義	
担当者	田中 栄治		
<p>[ 成績評価方法 ]  小レポート1(福祉住環境を取り巻く社会状況や諸制度):目標1に対応(20%)  小レポート2(福祉住環境整備の考え方および福祉用具の活用法):目標2に対応(20%)  総括試験:目標3に対応(60%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  小レポートは評価コメントのフィードバックを行います。  総括試験は授業時間中に解説を行います。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-1/生活の質の向上と人類の福祉に貢献するための家政学の目的と意義を理解している。  成績評価方法:小レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-1/社会全体の発展やグローバルな問題について、生活に基盤を置く地道な視点で考察することができる。  成績評価方法:小レポート</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢  成績評価方法:小レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢  成績評価方法:小レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢  成績評価方法:総括試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力  成績評価方法:小レポート</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]  書籍名:初めて学ぶ福祉住環境 第3版 著者名:長澤泰監修 出版社名:市ヶ谷出版社 ISBN:9784870710085</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]</p>			

科目名	保育学(実習及び家庭看護学を含む)	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	寺村 ゆかの		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 乳幼児の心身の発達について理解する</li> <li>2. 乳幼児とその養育者との関係性の発達について理解する</li> <li>3. 乳幼児の健康が障害された(病気やケガ)時のケアの方法を理解できる</li> <li>4. 子育てに課題を抱える養育者に対する支援のあり方を考えることができる</li> </ol> <p>[授業概要]</p> <p>助産師・看護師の実務経験のある教員から、保育の対象である胎児期から就学前までの子どもの発達過程を、生涯発達の観点から解説するとともに、「子どもの社会性」などの発達にとって極めて重要な乳幼児期の対人関係のあり方・遊びの意味なども検討する。また、乳幼児の健康(病気と家庭内での看護、予防接種)や安全(家庭内での事故防止など)管理の重要性を説明する。さらに、保育をめぐる現状と課題(マルトリートメント、ひとり親家庭や貧困家庭、育児不安や産後うつ、待機児童、発達障害など)を家庭での養育・保育サービス資源・地域子育て支援という視点から解説する。これらとは別に、乳幼児の観察を通して、現代の子どもを取り巻く社会や環境が、子どもの発達や遊びにどのような影響を与えているのかなどを議論する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>授業前学修: 次回授業のテーマについてキーワードを提示するので、それについて文献で調べたり新聞等の記事を読んだりして自己学習を行う。  授業後学修: 自分で調べたキーワードについて、授業を通して補足し、内容を深める。  (各回、予習復習合わせて、4時間程度)</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 家庭科教育における保育／子どもの成長・発達とは</li> <li>2. 妊娠期の女性(母親)の心身の変化と胎児の成長・発達</li> <li>3. 新生児・乳児期の心身の成長・発達</li> <li>4. 幼児期(1～3歳)の心身の成長・発達</li> <li>5. 幼児期(4～6歳)の心身の成長・発達</li> <li>6. 乳幼児期の遊びと生活(実習またはそれにかわる演習)</li> <li>7. 乳児期の人間関係の発達(愛着 安全基地 分離・個体化理論など)</li> <li>8. 乳幼児の健康①(子どものかかりやすい病気)</li> <li>9. 乳幼児の健康②(子どもの体調不良などに対する家庭看護)</li> <li>10. 乳幼児の健康③(家庭内での子どもの事故の特徴と事故防止)</li> <li>11. 乳用児の健康④(応急処置)</li> <li>12. 家庭保育の現状と課題 ①(育児不安 産後うつ)</li> <li>13. 家庭保育の現状と課題 ②(マルトリートメント)</li> <li>14. 地域の子育て支援の現状と課題(保育施設・地域子育て支援拠点事業)</li> </ol>			

科目名	保育学(実習及び家庭看護学を含む)	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	寺村 ゆかの		
<p>[ 成績評価方法 ]</p> <p>成績評価方法  ① 毎回提出するミニレポート又は小テスト 14回×5点＝70点  ② 最終レポート 30点  ①と②の合計 100点</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  毎回のミニレポート・小テストに関して、次回の授業中に解説・回答を行う。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-3/人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことができる。  成績評価方法:①毎回提出するミニレポート又は小テスト 14回×5点＝70点  ②最終レポート 30点  ①と②の合計 100点</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政2-2/社会の問題を発見し、科学的な知識および専門的スキルにより解決に必要な情報を収集・整理・分析する能力をもっている。  成績評価方法:①毎回提出するミニレポート又は小テスト 14回×5点＝70点  ②最終レポート 30点  ①と②の合計 100点</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-1/社会変化に追従して受動的になりがちな生活の問題点を指摘し、個人や家族の価値を堅持し、主体的で創造的な生活の実現を目指す意欲や実践力がある。  成績評価方法:①毎回提出するミニレポート又は小テスト 14回×5点＝70点  ②最終レポート 30点  ①と②の合計 100点</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢  成績評価方法:①毎回提出するミニレポート又は小テスト 14回×5点＝70点  ②最終レポート 30点  ①と②の合計 100点</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢  成績評価方法:①毎回提出するミニレポート又は小テスト 14回×5点＝70点  ②最終レポート 30点  ①と②の合計 100点</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力  成績評価方法:①毎回提出するミニレポート又は小テスト 14回×5点＝70点  ②最終レポート 30点  ①と②の合計 100点</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]</p>			

科目名	和装文化演習	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	小林 政子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[ 到達目標 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・着物全般について知識を深め、他者に説明することができる。</li> <li>・着物の生地、柄、TPOを踏まえ目的に応じた和の装いができるようになる。</li> <li>・着物の構成や縫製方法を理解し自分で簡単な管理や手入れができるようになる。</li> </ul> <p>[ 授業概要 ]</p> <p>着物は、日本人の美意識が日本人の技術によって見事に表現された民族衣装である。演習では、四季を通して着物を着用するための知恵を知り、さらに、着物のコーディネート、着付け方、および立ち居振る舞いについて学習し、衣生活をより豊かにする。また職業としての和服縫製の実務経験をもとに、実際に着物の手入れなども行う。</p> <p>[ 準備学修(予習・復習)の内容・時間 ]</p> <p>manabaにて指定されたプリントに目を通し、基礎知識として蓄えておくこと。各回、予習復習合わせて1時間程度。</p> <p>[ 授業計画 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.ペーパークラフトによる女物単長着の製作、長着の各部の名称</li> <li>2.着物、帯、小物</li> <li>3.着るときに必要なもの</li> <li>4.素材と夏物、着物の文様</li> <li>5.羽織とコート、ペーパークラフトによる女物単羽織の製作、羽織の各部名称</li> <li>6.着物の主な産地と特徴、紋</li> <li>7.子供物着物、男物着物、収納と手入れ</li> <li>8.浴衣の着付け</li> <li>9.浴衣の着付け、半幅帯で蝶々結び</li> <li>10.浴衣の着付け、半幅帯で文庫結び</li> <li>11.浴衣の着付け、半幅帯で貝ノ口、着物の立ち居振る舞い</li> <li>12.ペーパークラフトによる女物道行コートの製作、道行コートの各部名称</li> <li>13.まとめ・着物の種類についての解説</li> </ol>			

科目名	和装文化演習	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	小林 政子		
<p>[ 成績評価方法 ]  授業態度(20%)、提出物・レポート(40%)、試験(40%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  レポートは、後日添削して返却します。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-1/生活の質の向上と人類の福祉に貢献するための家政学の目的と意義を理解している。  成績評価方法:レポート、試験</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。  成績評価方法:提出物・レポート、試験</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-2/よりよい生活の実現に向けて、他者の多様な価値観を理解して尊重し、円満な人間関係を基盤に人々と協調・協働できる。  成績評価方法:提出物・レポート、試験</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  成績評価方法:授業態度、提出物・レポート、試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢  成績評価方法:授業態度、提出物</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  成績評価方法:授業態度、提出物・レポート、試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力  成績評価方法:授業態度、提出物</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]</p>			

S70270 [ HHI3-005 ]

科目名	和装文化演習	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	小林 政子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・着物全般について知識を深め、他者に説明することができる。</li> <li>・着物の生地、柄、TPOを踏まえ目的に応じた和の装いができるようになる。</li> <li>・着物の構成や縫製方法を理解し自分で簡単な管理や手入れができるようになる。</li> </ul> <p>[授業概要]</p> <p>着物は、日本人の美意識が日本人の技術によって見事に表現された民族衣装である。演習では、四季を通して着物を着用するための知恵を知り、さらに、着物のコーディネート、着付け方、および立ち居振る舞いについて学習し、衣生活をより豊かにする。また職業としての和服縫製の実務経験をもとに、実際に着物の手入れなども行う。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>manabaにて指定されたプリントに目を通し、基礎知識として蓄えておくこと。各回、予習復習合わせて1時間程度。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.ペーパークラフトによる女物単長着の製作、長着の各部の名称</li> <li>2.着物、帯、小物</li> <li>3.着るときに必要なもの</li> <li>4.素材と夏物、着物の文様</li> <li>5.羽織とコート、ペーパークラフトによる女物単羽織の製作、羽織の各部名称</li> <li>6.着物の主な産地と特徴、紋</li> <li>7.子供物着物、男物着物、収納と手入れ</li> <li>8.浴衣の着付け</li> <li>9.浴衣の着付け、半幅帯で蝶々結び</li> <li>10.浴衣の着付け、半幅帯で文庫結び</li> <li>11.浴衣の着付け、半幅帯で貝ノ口、着物の立ち居振る舞い</li> <li>12.ペーパークラフトによる女物道行コートの製作、道行コートの各部名称</li> <li>13.まとめ・着物の種類についての解説</li> </ol>			

科目名	和装文化演習	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	小林 政子		
<p>[ 成績評価方法 ]  授業態度(20%)、提出物・レポート(40%)、試験(40%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  レポートは、後日添削して返却します。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-1/生活の質の向上と人類の福祉に貢献するための家政学の目的と意義を理解している。  成績評価方法:レポート、試験</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政1-2/家政学全般についての基本的知識と理解の上に立ち、被服、住居、生活経営の各領域についての専門的知識・技能をもっている。  成績評価方法:提出物・レポート、試験</p> <p>学科DP番号/DP内容:家政3-2/よりよい生活の実現に向けて、他者の多様な価値観を理解して尊重し、円満な人間関係を基盤に人々と協調・協働できる。  成績評価方法:提出物・レポート、試験</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢  成績評価方法:授業態度、提出物・レポート、試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢  成績評価方法:授業態度、提出物</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  成績評価方法:授業態度、提出物・レポート、試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力  成績評価方法:授業態度、提出物</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]</p>			

S70271 [ HHI3-005 ]